Japanese Language and Japanese Studies Courses for International Students

留学生のための

日本語・日本事情科目

講義概要

2019 April ▶ 2020 March

OITA UNIVERSITY

OITA UNIVERSITY

留学生のための

講義概要

2019-2020

１．日本語・日本事情科目	（留学生向け科目）
２．大分事情科目	（留学生・日本人学生向け科目） （使用言語：日本語／日本語と英語／英語）
３．グローバル科目	（留学生・日本人学生向け科目） （使用言語：日本語／英語）

この小冊子は、留学生のための「日本語・日本事情科目」、「大分事情科目」、「グローバル科目」の概要を説明しています。

・「日本語・日本事情科目」: 日本語科目は日本語習得を目的とした言語ベースの科目です。プレイスメントテストで受講するレベルを決めます。
・「大分事情科目」: 大分について日本語、英語、日本語＆英語で学ぶ授業が開講されます。
・「グローバル科目」: 言語学、ソーシャルメディア、教育、経済、理工、言語学、サステナビリティ、ポピュラー・カルチャー等の科目が、日本語もしくは英語で開講されます。

正規生は「日本語・日本事情科目」、「大分事情科目」、「グローバル科目」を履修することができますが、日本語１～３を履修しても単位認定されませんので注意してください。学位取得のための単位に関する詳細については所属学部に必ず確認を行ってください。

IGLOBE（短期交換留学プログラム）の学生については、レベルに合った日本語科目と、「大分事情科目」から１学期につき１科目が必修となります。

JAPANESE LANGUAGE AND JAPANESE STUDIES COURSES

FOR INTERNATIONAL STUDENTS

(2019-2020)

1. Japanese Language and Japanese Studies Courses for International Students

2. Oita Studies Courses for International and Japanese Students (offered in either English, Japanese, or an integration of both)

3. Global Courses for International and Japanese Students (offered in either English or Japanese)

This booklet provides introductions to the Japanese Language, Japanese Studies, Oita Studies, and Global Studies courses.

- Japanese Language and Japanese Studies Courses: designed to advance Japanese language skills. Students will enroll in the appropriate level of Japanese language courses based on the result of the Japanese language placement exam.
- Oita Studies Courses: designed to deepen the understanding of Oita local cultures. Students will take courses offered either in Japanese, English, or an integration of both.
- Global Studies Courses: designed to acquire international and global perspectives through a variety of courses in the areas of linguistics, social media, education, economics, applied engineering and science, sustainability, and popular culture. Courses are offered in either Japanese, English, or an integration of both.

All Oita Studies and Global Studies courses are available for all international students. However, note that credits for Japanese courses 1~3 are not granted to international students seeking an undergraduate degree. Please contact your faculty regarding the credit-acquisition requirements to complete your degree.

Students in the IGLOBE program are required to take appropriate Japanese language courses and at least one course from Oita Studies Courses per semester.

2019年度　前期

1．日本語・日本事情科目

授業科目名	時間	単位数	学部等	担当教員	レベル（使用言語）	頁
日本語１文法	火1	2	国際教育推進センター	ブルカート香織	入門・初級	1
日本語１会話	水2	2	国際教育推進センター	ブルカート香織	入門・初級	2
日本語１総合	木2	2	国際教育推進センター	ブルカート香織	入門・初級	3
日本語１読解	月2	2	国際教育推進センター	長　池　一　美	入門・初級	4
日本語２文法	火2	2	国際教育推進センター	南　里　敬　三	初級	5
日本語２会話	水1	2	国際教育推進センター	南　里　敬　三	初級	6
日本語２総合	木1	2	国際教育推進センター	南　里　敬　三	初級	7
日本語２読解	月1	2	国際教育推進センター（非常勤講師）	戸　坂　弥寿美	初級	8
日本語３文法	木2	2	国際教育推進センター	坂　井　美恵子	初中級	9
日本語３会話	水2	2	国際教育推進センター	坂　井　美恵子	初中級	10
日本語３読解Ⅱ	火1	2	国際教育推進センター（非常勤講師）	戸　坂　弥寿美	初中級	11
日本語３作文Ⅱ	月2	2	国際教育推進センター（非常勤講師）	戸　坂　弥寿美	初中級	12
多読で学ぶ日本語	月4	2	国際教育推進センター	坂　井　美恵子	中級以上	13
日本語４文法Ⅱ	火2	2	国際教育推進センター（非常勤講師）	大　坪　美奈子	中級	14
日本語４スピーキング	木1	2	国際教育推進センター	坂　井　美恵子	中級	15
日本語４読解Ⅱ	金1	2	国際教育推進センター	金　森　由　美	中級	16
日本語４作文Ⅱ	水1	2	国際教育推進センター	金　森　由　美	中級	17
日本語４応用Ⅱ	月1	2	国際教育推進センター（非常勤講師）	大　坪　美奈子	中級	18
日本語５スピーキング	月2	2	国際教育推進センター（非常勤講師）	大　坪　美奈子	上級	19
日本語５読解・作文Ⅱ	水1	2	国際教育推進センター	坂　井　美恵子	上級	20
日本語５文法Ⅱ	金2	2	国際教育推進センター	金　森　由　美	上級	21
日本語特講11 ポピュラー・カルチャー（1）	水4	2	国際教育推進センター	長　池　一　美	超級	22
Introduction to Japanese History, Culture and Society	金2	2	国際教育推進センター	長　池　一　美	英語	72
Independent Research Project Ⅰ	金5	2	国際教育推進センター	長　池　一　美	英語	73
日本研究Ⅱ（日研生対象）	金5	2	国際教育推進センター	南里・GAIA教員	日本語	23
大学院入学前予備教育日本語初級集中（国費予備教育プログラム留学生対象）			国際教育推進センター	GAIA教員	日本語 初級	24
医学部学生補講（会話）	月1・2	-	国際教育推進センター	GAIA教員	日本語 初級～中級	-

2．大分事情科目

授業科目名	時間	単位数	学部等	担当教員	レベル（使用言語）	頁
狂言で大分を学ぶ	火4	2	国際教育推進センター	南里・金森　他	日本語と英語	36
大分事情	水2	2	国際教育推進センター	金　森　由　美	日本語 超級	37
Project Planning, Volunteering and Internship in Oita 2	金4	2	国際教育推進センター	南里・長池	英語	89

3．グローバル科目

授業科目名	時間	単位数	学部等	担当教員	レベル（使用言語）	頁
Intercultural Communication	月3	2	国際教育推進センター	長　池　一　美	英語	92
ビジネスジャパニーズ演習３	月3	2	国際教育推進センター（非常勤講師）	戸　坂　弥寿美	日本語 超級	40
ビジネスジャパニーズ演習４	金1	2	国際教育推進センター（非常勤講師）	戸　坂　弥寿美	日本語 超級	41
日本語文法分析	火2	2	国際教育推進センター	金　森　由　美	日本語 超級	42
サステナビリティ大分Ⅱ	水3	2	国際教育推進センター	ブルカート香織	日本語 超級	43
Sustainability and Glocal Development in Oita Ⅱ	木4	2	国際教育推進センター	ブルカート香織	英語	96
Japanese Grammar and Discourse	金3	2	国際教育推進センター	南　里　敬　三	英語	97
Japanese Popular Culture C： Anime and Film Studies	水3	2	国際教育推進センター	長　池　一　美	英語	98
Globalization of Japan’s Economy	月4	2	経済学部	柴　田　茂　樹	英語	99
Ethnographic Study on Rural Japan	火3	2	経済学部	久保田　　亮	英語	100
The Politics and Economics of the EU	木3	2	経済学部	DAY Stephen	英語	101

2019年度 日本語・日本事情科目時間割（前期）

	月	火	水	木	金
1 (9:00–10:30)	医学部学生補講 （会話） （GAIA教員）	日本語1文法 （ブルカート）	日本語2会話 （南里）	日本語2総合 （南里）	日本語4読解Ⅱ （金森）
	日本語2読解 （戸坂）	日本語3読解Ⅱ （戸坂）	日本語4作文Ⅱ （金森）	日本語4スピーキング （坂井）	ビジネスジャパニーズ演習4 （戸坂）
	日本語4応用Ⅱ （大坪）		日本語5読解・作文Ⅱ （坂井）		
2 (10:40–12:10)	医学部学生補講 （会話） （GAIA教員）	日本語2文法 （南里）	日本語1会話 （ブルカート）	日本語1総合 （ブルカート）	日本語5文法Ⅱ （金森）
	日本語1読解 （長池）	日本語4文法Ⅱ （大坪）	日本語3会話 （坂井）	日本語3文法 （坂井）	Introduction to Japanese History, Culture and Society (NAGAIKE)
	日本語3作文Ⅱ （戸坂）	日本語文法分析 （金森）	**大分事情 （金森）**		
	日本語5スピーキング （大坪）				
3 (13:10–14:40)	ビジネスジャパニーズ演習3 （戸坂）	Ethnographic Study on Rural Japan (KUBOTA)	Japanese Popular Culture C : Anime and film studies (NAGAIKE)	The Politics and Economics of the EU (DAY)	Japanese Grammar and Discourse (NANRI)
	Intercultural Communication (NAGAIKE)		サステナビリティ大分Ⅱ （ブルカート）		
4 (14:50–16:20)	多読で学ぶ日本語 （坂井）	**狂言で大分を学ぶ （南里・金森）**	日本語特講11ポピュラー・カルチャー(1) （長池）	Sustainability and Glocal Development in Oita II (BURKART)	**Project Planning, Volunteering and Internship in Oita 2 (NAGAIKE, NANRI)**
	Globalization of Japan's Economy (SHIBATA)				
5 (16:30–18:00)					日本研究Ⅱ（日研生） （南里他）
					Independent Research Project Ⅰ (NAGAIKE)

コア科目は　で示しています。

2019年度　後期

1．日本語・日本事情科目

授業科目名	時間	単位数	学部等	担当教員	レベル（使用言語）	頁
日本語１文法	火2	2	国際教育推進センター	ブルカート香織	入門・初級	1
日本語１会話	水2	2	国際教育推進センター	ブルカート香織	入門・初級	2
日本語１総合	木1	2	国際教育推進センター	ブルカート香織	入門・初級	3
日本語１読解	月4	2	国際教育推進センター	長　池　一　美	入門・初級	4
日本語２文法	火1	2	国際教育推進センター	南　里　敬　三	初級	5
日本語２会話	水1	2	国際教育推進センター	南　里　敬　三	初級	6
日本語２総合	金2	2	国際教育推進センター	南　里　敬　三	初級	7
日本語２読解	月1	2	国際教育推進センター（非常勤講師）	戸　坂　弥寿美	初級	8
日本語３文法	火2	2	国際教育推進センター	坂　井　美恵子	初中級	9
日本語３会話	水2	2	国際教育推進センター	坂　井　美恵子	初中級	10
日本語３読解Ⅰ	木1	2	国際教育推進センター（非常勤講師）	戸　坂　弥寿美	初中級	25
日本語３作文Ⅰ	月2	2	国際教育推進センター（非常勤講師）	戸　坂　弥寿美	初中級	26
日本語４文法Ⅰ	月1	2	国際教育推進センター（非常勤講師）	大　坪　美奈子	中級	27
日本語４スピーキング	火1	2	国際教育推進センター	坂　井　美恵子	中級	15
日本語４読解Ⅰ	金1	2	国際教育推進センター	金　森　由　美	中級	28
日本語４作文Ⅰ	木2	2	国際教育推進センター	金　森　由　美	中級	29
日本語４応用Ⅰ	火2	2	国際教育推進センター（非常勤講師）	大　坪　美奈子	中級	30
日本語５スピーキング	月2	2	国際教育推進センター（非常勤講師）	大　坪　美奈子	上級	19
日本語５読解・作文Ⅰ	水1	2	国際教育推進センター	坂　井　美恵子	上級	31
日本語５文法Ⅰ	金2	2	国際教育推進センター	金　森　由　美	上級	32
日本語特講５：レポート作成	木3	2	国際教育推進センター	金　森　由　美	超級	33
日本語特講12 ポピュラー・カルチャー(2)	金3	2	国際教育推進センター	長　池　一　美	超級	34
Introduction to Japanese History, Culture and Society	水4	2	国際教育推進センター	長　池　一　美	英語	72
Independent Research Project Ⅱ	金5	2	国際教育推進センター	長　池　一　美	英語	86
日本研究Ⅰ（日研生対象）	金5	2	国際教育推進センター	南里・GAIA教員	日本語	35
大学院入学前予備教育日本語初級集中（国費予備教育プログラム留学生対象）			国際教育推進センター	GAIA教員	日本語 初級	24
医学部学生補講（会話）	月1・2	-	国際教育推進センター	GAIA教員	日本語 初級～中級	-

2．大分事情科目

授業科目名	時間	単位数	学部等	担当教員	レベル（使用言語）	頁
ソーシャルネットワークと大分からの発信Ⅱ	火3	2	国際教育推進センター	南　里　敬　三	日本語と英語	38
サステナビリティ大分	水3	2	国際教育推進センター	ブルカート香織	日本語 超級	39
Project Planning, Volunteering and Internship in Oita 3	金4	2	国際教育推進センター	南里・長池	英語	91

3．グローバル科目

授業科目名	時間	単位数	学部等	担当教員	レベル（使用言語）	頁
表現技術	火4	2	国際教育推進センター	金　森　由　美	日本語 超級	44
日本語学Ⅰ	木2	2	国際教育推進センター	坂　井　美恵子	日本語 超級	45
ビジネスジャパニーズ演習１	月3	2	国際教育推進センター（非常勤講師）	戸　坂　弥寿美	日本語 超級	46
ビジネスジャパニーズ演習２	火2	2	国際教育推進センター（非常勤講師）	戸　坂　弥寿美	日本語 超級	47
Intercultural Communication	月3	2	国際教育推進センター	長　池　一　美	英語	92
Sustainability and Glocal Development in Oita	火4	2	国際教育推進センター	ブルカート香織	英語	106
Japanese Popular Culture D： Manga Studies	水3	2	国際教育推進センター	長　池　一　美	英語	107
Japanese Grammar and Discourse	金3	2	国際教育推進センター	南　里　敬　三	英語	97
The Politics and Economics of Globalization	木3	2	経済学部	DAY Stephen	英語	108
非線形力学系理論	木4	2	理工学部	加　藤　秀　行	英語	48
Introducation to Japanese Management	金3	2	経済学部	碇　　邦　生	英語	110
認知言語学から見た日英語対照分析	木4	2	教育学部	橋　本　美喜男	英語	49

2019年度 日本語・日本事情科目時間割（後期）

	月	火	水	木	金
1 (9:00–10:30)	医学部学生補講 （会話） （GAIA教員）	日本語2文法 （南里）	日本語2会話 （南里）	日本語1総合 （ブルカート）	日本語4読解Ⅰ （金森）
	日本語2読解 （戸坂）	日本語4スピーキング （坂井）	日本語5読解・作文Ⅰ （坂井）	日本語3読解Ⅰ （戸坂）	
	日本語4文法Ⅰ （大坪）				
2 (10:40–12:10)	医学部学生補講 （会話） （GAIA教員）	日本語1文法 （ブルカート）	日本語1会話 （ブルカート）	日本語4作文Ⅰ （金森）	日本語2総合 （南里）
	日本語3作文Ⅰ （戸坂）	日本語3文法 （坂井）	日本語3会話 （坂井）	日本語学Ⅰ （坂井）	日本語5文法Ⅰ （金森）
	日本語5スピーキング （大坪）	日本語4応用Ⅰ （大坪）			
		ビジネスジャパニーズ演習2 （戸坂）			
3 (13:10–14:40)	ビジネスジャパニーズ演習1 （戸坂）	**ソーシャルネットワークと大分からの発信Ⅱ （南里）**	Japanese Popular Culture D : Manga Studies （NAGAIKE）	日本語特講5 レポート作成 （金森）	Japanese Grammar and Discourse （NANRI）
	Intercultural Communication （NAGAIKE）		**サステナビリティ大分 （ブルカート）**	The Politics and Economics of Globalization （DAY）	日本語特講12ポピュラー・カルチャー（2） （長池）
					Introducation to Japanese Management （IKARI）
4 (14:50–16:20)	日本語1読解 （長池）	表現技術 （金森）	Introduction to Japanese History, Culture and Society （NAGAIKE）	非線形力学系理論 (加藤)	**Project Planning, Volunteering and Internship in Oita 3 (NAGAIKE, NANRI)**
		Sustainability and Glocal Development in Oita (BURKART)		認知言語学から見た日英語対照分析 (橋本)	
5 (16:30–18:00)					日本研究Ⅰ（日研生） （南里他）
					Independent Research Project Ⅱ （NAGAIKE）

コア科目は　で示しています。

Spring Semester, April 2019 - August 2019

1. JAPANESE LANGUAGE AND JAPANESE STUDIES COURSES

SUBJECT	Day and Time	CREDITS	FACULTY	LECTURER	Level (Language)	PAGE
Japanese 1 Grammar	Tue.1	2	GAIA	BURKART Kaori	Novice	50
Japanese 1 Conversation	Wed.2	2	GAIA	BURKART Kaori	Novice	51
Japanese 1 Integrated Activities	Thu.2	2	GAIA	BURKART Kaori	Novice	52
Japanese 1 Reading	Mon.2	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	Novice	53
Japanese 2 Grammar	Tue.2	2	GAIA	NANRI Keizo	Novice-High	54
Japanese 2 Conversation	Wed.1	2	GAIA	NANRI Keizo	Novice-High	55
Japanese 2 Integrated Activities	Thu.1	2	GAIA	NANRI Keizo	Novice-High	56
Japanese 2 Reading	Mon.1	2	GAIA (Part-time)	TOSAKA Yasumi	Novice-High	57
Japanese 3 Grammar	Thu.2	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate-Low	58
Japanese 3 Conversation	Wed.2	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate-Low	59
Japanese 3 Reading II	Tue.1	2	GAIA (Part-time)	TOSAKA Yasumi	Intermediate-Low	60
Japanese 3 Writing II	Mon.2	2	GAIA (Part-time)	TOSAKA Yasumi	Intermediate-Low	61
Extensive Reading in Japanese	Mon.4	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate-Low or higer	62
Japanese 4 Grammar II	Tue.2	2	GAIA (Part-time)	OTSUBO Minako	Intermediate	63
Japanese 4 Speaking	Thu.1	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate	64
Japanese 4 Reading II	Fri.1	2	GAIA	KANAMORI Yumi	Intermediate	65
Japanese 4 Writing II	Wed.1	2	GAIA	KANAMORI Yumi	Intermediate	66
Japanese 4 Contextual Japanese II	Mon.1	2	GAIA (Part-time)	OTSUBO Minako	Intermediate	67
Japanese 5 Speaking	Mon.2	2	GAIA (Part-time)	OTSUBO Minako	Advanced	68
Japanese 5 Reading/ Writing II	Wed.1	2	GAIA	SAKAI Mieko	Advanced	69
Japanese 5 Grammar / Function II	Fri.2	2	GAIA	KANAMORI Yumi	Advanced	70
Special Japanese 11(Japanese Popular Culture 1)	Wed.4	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	Advanced-High	71
Introduction to Japanese History, Culture and Society	Fri.2	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	English	72
Independent Research Project I	Fri.5	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	English	73
Japanese Studies II （for Nikkensei Students）	Fri.5	2	GAIA	Nanri·Instructors of GAIA	Japanese	23
Preparatory Course in Japanese for Pre-Postgraduate Students			GAIA	Instructors of GAIA	Japanese&English	74
Japanese for Medical Students： Conversation	Mon.1・2	—	GAIA	Instructors of GAIA	Japanese (Novice-Intermediate)	—

2. Oita Studies Courses

SUBJECT	Day and Time	CREDITS	FACULTY	LECTURER	Level (Language)	PAGE
Learning OITA Through Kyogen	Tue.4	2	GAIA	NANRI Keizo KANAMORI Yumi	Japanese&English	87
Studies on Oita	Wed.2	2	GAIA	KANAMORI Yumi	Japanese	88
Project Planning, Volunteering and Internship in Oita 2	Fri.4	2	GAIA	NANRI Keizo NAGAIKE Kazumi	English	89

3. Global Courses

SUBJECT	Day and Time	CREDITS	FACULTY	LECTURER	Level (Language)	PAGE
Intercultural Communication	Mon.3	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	English	92
Business Japanese Seminar 3	Mon.3	2	GAIA (Part-time)	TOSAKA Yasumi	Japanese	93
Business Japanese Seminar 4	Fri.1	2	GAIA (Part-time)	TOSAKA Yasumi	Japanese	94
Analysis of Japanese Grammar	Tue.2	2	GAIA	KANAMORI Yumi	Japanese	95
Sustainability Oita II	Wed.3	2	GAIA	BURKART Kaori	Japanese	43
Sustainability and Glocal Development in Oita II	Thu.4	2	GAIA	BURKART Kaori	English	96
Japanese Grammar and Discourse	Fri.3	2	GAIA	NANRI Keizo	English	97
Japanese Popular Culture C： Anime and Film Studies	Wed.3	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	English	98
Globalization of Japan's Economy	Mon.4	2	Economics	SHIBATA Shigeki	English	99
Ethnographic Study on Rural Japan	Tue.3	2	Economics	KUBOTA Ryo	English	100
The Politics and Economics of the EU	Thu.3	2	Economics	DAY Stephen	English	101

※ GAIA ： Global Education and Intercultural Advancement Center

COURSE SCHEDULE (Spring Semester, April 2019 - August 2019)

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	Japanese for Medical Students:Conversation (GAIA)	Japanese 1 Grammar (BURKART)	Japanese 2 Conversation (NANRI)	Japanese 2 Integrated Activities (NANRI)	Japanese 4 Reading Ⅱ (KANAMORI)
(9:00-10:30)	Japanese 2 Reading (TOSAKA)	Japanese 3 Reading Ⅱ (TOSAKA)	Japanese 4 Writing Ⅱ (KANAMORI)	Japanese 4 Speaking (SAKAI)	Business Japanese Seminar 4 (TOSAKA)
	Japanese 4 Contextual Japanese Ⅱ (OTSUBO)		Japanese 5 Reading / Writing Ⅱ (SAKAI)		
2	Japanese for Medical Students:Conversation (GAIA)	Japanese 2 Grammar (NANRI)	Japanese 1 Conversation (BURKART)	Japanese 1 Integrated Activities (BURKART)	Japanese 5 Grammar / Function Ⅱ (KANAMORI)
(10:40-12:10)	Japanese 1 Reading (NAGAIKE)	Japanese 4 Grammar Ⅱ (OTSUBO)	Japanese 3 Conversation (SAKAI)	Japanese 3 Grammar (SAKAI)	Introduction to Japanese History, Culture and Society (NAGAIKE)
	Japanese 3 Writing Ⅱ (TOSAKA)	Analysis of Japanese Grammar (KANAMORI)	**Studies on Oita (KANAMORI)**		
	Japanese 5 Speaking (OTSUBO)				
3	Business Japanese Seminar 3 (TOSAKA)	Ethnographic Study on Rural Japan (KUBOTA)	Japanese Popular Culture C : Anime and Film Studies (NAGAIKE)	The Politics and Economics of the EU (DAY)	Japanese Grammar and Discourse (NANRI)
(13:10-14:40)	Intercultural Communication (NAGAIKE)		Sustainability Oita Ⅱ (BURKART)		
4	Extensive Reading in Japanese (SAKAI)	**Learning Oita Through Kyogen (NANRI, KANAMORI)**	Special Japanese 11 (Japanese Popular Culture 1) (NAGAIKE)	Sustainability and Glocal Development in Oita Ⅱ (BURKART)	**Project Planning, Volunteering and Internship in Oita 2 (NANRI, NAGAIKE)**
(14:50-16:20)	Globalization of Japan's Economy (SHIBATA)				
5					Independent Research Project Ⅰ (NAGAIKE)
(16:30-18:00)					Japanese Studies Ⅱ (for Nikkensei Students) (Nanri・Instructors of GAIA)

IGLOBE Required Courses

Fall Semester, October 2019 - February 2020

1. JAPANESE LANGUAGE AND JAPANESE STUDIES COURSES

SUBJECT	Day and Time	CREDITS	FACULTY	LECTURER	Level (Language)	PAGE
Japanese 1 Grammar	Tue.2	2	GAIA	BURKART Kaori	Novice	50
Japanese 1 Conversation	Wed.2	2	GAIA	BURKART Kaori	Novice	51
Japanese 1 Integrated Activities	Thu.1	2	GAIA	BURKART Kaori	Novice	52
Japanese 1 Reading	Mon.4	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	Novice	53
Japanese 2 Grammar	Tue.1	2	GAIA	NANRI Keizo	Novice-High	54
Japanese 2 Conversation	Wed.1	2	GAIA	NANRI Keizo	Novice-High	55
Japanese 2 Integrated Activities	Fri.2	2	GAIA	NANRI Keizo	Novice-High	56
Japanese 2 Reading	Mon.1	2	GAIA (Part-time)	TOSAKA Yasumi	Novice-High	57
Japanese 3 Grammar	Tue.2	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate-Low	58
Japanese 3 Conversation	Wed.2	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate-Low	59
Japanese 3 Reading I	Thu.1	2	GAIA (Part-time)	TOSAKA Yasumi	Intermediate-Low	75
Japanese 3 Writing I	Mon.2	2	GAIA (Part-time)	TOSAKA Yasumi	Intermediate-Low	76
Japanese 4 Grammar I	Mon.1	2	GAIA (Part-time)	OTSUBO Minako	Intermediate	77
Japanese 4 Speaking	Tue.1	2	GAIA	SAKAI Mieko	Intermediate	78
Japanese 4 Reading I	Fri.1	2	GAIA	KANAMORI Yumi	Intermediate	79
Japanese 4 Writing I	Thu.2	2	GAIA	KANAMORI Yumi	Intermediate	80
Japanese 4 Contextual Japanese I	Tue.2	2	GAIA (Part-time)	OTSUBO Minako	Intermediate	81
Japanese 5 Speaking	Mon.2	2	GAIA (Part-time)	OTSUBO Minako	Advanced	68
Japanese 5 Reading/ Writing I	Wed.1	2	GAIA	SAKAI Mieko	Advanced	82
Japanese 5 Grammar / Function I	Fri.2	2	GAIA	KANAMORI Yumi	Advanced	83
Special Japanese 5 (Academic Writing)	Thu.3	2	GAIA	KANAMORI Yumi	Advanced	84
Special Japanese 12 (Japanese Popular Culture 2)	Fri.3	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	Advanced-High	85
Introduction to Japanese History, Culture and Society	Wed.4	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	English	72
Independent Research Project II	Fri.5	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	English	86
Japanese Studies I （for Nikkensei Students）	Fri.5	2	GAIA	Nanri·Instructors of GAIA	Japanese	35
Preparatory Course in Japanese for Pre-Postgraduate Students			GAIA	Instructors of GAIA	Japanese&English	74
Japanese for Medical Students： Conversation	Mon.1・2	—	GAIA	Instructors of GAIA	Japanese (Novice-Intermediate)	—

2. Oita Studies Courses

SUBJECT	Day and Time	CREDITS	FACULTY	LECTURER	Level (Language)	PAGE
Social Networks and Introduction of Oita to the World II	Tue 3	2	GAIA	NANRI Keizo	Japanese&English	90
Sustainability Oita	Wed.3	2	GAIA	BURKART Kaori	Japanese	39
Project Planning, Volunteering and Internship in Oita 3	Fri.4	2	GAIA	NANRI Keizo NAGAIKE Kazumi	English	91

3. Global Courses

SUBJECT	Day and Time	CREDITS	FACULTY	LECTURER	Level (Language)	PAGE
Presentation Skill	Tue.4	2	GAIA	KANAMORI Yumi	Japanese	102
Japanese Linguistics I	Thu.2	2	GAIA	SAKAI Mieko	Japanese	103
Business Japanese Seminar 1	Mon.3	2	GAIA (Part-time)	TOSAKA Yasumi	Japanese	104
Business Japanese Seminar 2	Tue.2	2	GAIA (Part-time)	TOSAKA Yasumi	Japanese	105
Intercultural Communication	Mon.3	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	English	92
Sustainability and Glocal Development in Oita	Tue.4	2	GAIA	BURKART Kaori	English	106
Japanese Popular Culture D： Manga Studies	Wed.3	2	GAIA	NAGAIKE Kazumi	English	107
Japanese Grammar and Discourse	Fri.3	2	GAIA	NANRI Keizo	English	97
The Politics and Economics of Globalization	Thu.3	2	Economics	DAY Stephen	English	108
Nonlinear Dynamical Theory	Thu.4	2	Science and Technology	KATO Hideyuki	English	109
Introducation to Japanese Management	Fri.3	2	Economics	IKARI Kunio	English	110
Contrastive Analysis of Semantic Structures in English and Japanese within the framework of Cognitive Linguistics	Thu.4	2	Education	HASHIMOTO Mikio	English	111

※ GAIA ： Global Education and Intercultural Advancement Center

COURSE SCHEDULE (Fall Semester, October 2019 - February 2020)

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	Japanese for Medical Students:Conversation (GAIA)	Japanese 2 Grammar (NANRI)	Japanese 2 Conversation (NANRI)	Japanese 1 Integrated Activities (BURKART)	Japanese 4 Reading Ⅰ (KANAMORI)
(9:00-10:30)	Japanese 2 Reading (TOSAKA)	Japanese 4 Speaking (SAKAI)	Japanese 5 Reading / Writing Ⅰ (SAKAI)	Japanese 3 Reading Ⅰ (TOSAKA)	
	Japanese 4 Grammar Ⅰ (OTSUBO)				
2	Japanese for Medical Students:Conversation (GAIA)	Japanese 1 Grammar (BURKART)	Japanese 1 Conversation (BURKART)	Japanese 4 Writing Ⅰ (KANAMORI)	Japanese 2 Integrated Activities (NANRI)
	Japanese 3 Writing Ⅰ (TOSAKA)	Japanese 3 Grammar (SAKAI)	Japanese 3 Conversation (SAKAI)	Japanese Linguistics Ⅰ (SAKAI)	Japanese 5 Grammar / Function Ⅰ (KANAMORI)
(10:40-12:10)	Japanese 5 Speaking (OTSUBO)	Japanese 4 Contextual Japanese Ⅰ (OTSUBO)			
		Business Japanese Seminar 2 (TOSAKAI)			
3	Business Japanese Seminar 1 (TOSAKAI)	**Social Networks and Introduction of Oita to the World Ⅱ (NANRI)**	Japanese Popular Culture D : Manga Studies (NAGAIKE)	Special Japanese 5 (Academic Writing) (KANAMORI)	Japanese Grammar and Discourse (NANRI)
(13:10-14:40)	Intercultural Communication (NAGAIKE)		**Sustainabity Oita (BURKART)**	The Politics and Economics of Globalization (DAY)	Special Japanese 12 (Japanese Popular Culture 2) (NAGAIKE)
					Introducation to Japanese Management (IKARI)
4	Japanese 1 Reading (NAGAIKE)	Presentation Skill (KANAMORI)	Introduction to Japanese History, Culture and Society (NAGAIKE)	Nonlinear Dynamicai Theory(KATO)	**Project Planning, Volunteering and Internship in Oita 3 (NANRI, NAGAIKE)**
(14:50-16:20)		Sustainability and Glocal Development in Oita (BURKART)		Contrastive Analysis of Semantic Structures in English and Japanese within the framework of Cognitive Linguistics (HASHIMOTO)	
5					Independent Research Project Ⅱ (NAGAIKE)
(16:30-18:00)					Japanese Studies Ⅰ (for Nikkensei Students) (Nanri・Instructors of GAIA)

IGLOBE Required Courses

１．日本語・日本事情科目　　（留学生向け科目）

授　　業　　概　　要

授業科目名	日本語１文法		
担当教員	ブルカート香織	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	前期：火曜１限 後期：火曜２限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟　　３階　３番　　097-554-6171　kburkart@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日本語基本文法及び言語機能の習得		
具体的な 到達目標	1. ひらがな、カタカナの習得 2. 自己紹介、依頼、好き・嫌い、理由、欲求等の言語機能を使うのに必要な文法の習得		
授業の内容	教科書に従って、文法、言語機能を導入 第１週：オリエンテーション（ひらがな導入・簡単な挨拶の練習） 第２週：第１課の語彙と文法（カタカナ導入） 第３週：第２課の語彙と文法 第４週：第３課の語彙と文法 第５週：第４課の語彙と文法 第６週：第５課の語彙と文法 第７週：第６課の語彙と文法 第８週：中間テスト 第９週：第７課の語彙と文法 第 10 週：第８課の語彙と文法 第 11 週：第９課の語彙と文法 第 12 週：第 10 課の語彙と文法 第 13 週：第 11 課の語彙と文法 第 14 週：第 12 課の語彙と文法 第 15 週：全課の復習 【学生がより深く学べるための工夫】 語彙と文法の講義ではゲームやアクティビティを用いて基礎を学び、ワークブックでの練習や創作的宿題を通して基本の習得を図る。講義で用いられた配布物や板書は Moodle に掲載。小テストで学生の理解度を確認しながら進行する。		
時間外学習	各課が終了したところで、ワークブックで復習。それ以外に与えられる新出語彙や文法を用いた宿題も完了させる。小テストに備えた勉強は各自の責任でする。予習復習に３時間程度の学習時間が必要。		
教科書	初級日本語（げんき）Ⅰ 第２版（ジャパンタイムズ社） ＊初版の教科書は使用できないので必ず第２版を購入すること。		
参考書	1. 日本語基礎文法辞典（The Japan Times） 2. 日英辞典（研究社）		
成績評価の方法 及び評価割合	1. 小テスト・宿題（３０%） 2. 中間テスト（３０%） 3. 期末テスト（４０%）＊出席率に注意		
備考・注意事項	出席率７０%以下（講義４回欠席）の場合は期末テストが受けられない。全講義に出席することが基礎日本語習得のためには必須。		

授　　業　　概　　要

授業科目名	日本語１会話		
担当教員	ブルカート香織	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	前期・後期：火曜２限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟　　３階　３番　　097-554-6171　kburkart@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日本語の初歩的な会話能力の習得		
具体的な 到達目標	1. 限られた状況で適切な挨拶と簡単な会話ができる。 2. 自己紹介、依頼、好き・嫌い、理由、欲求等を限られた語彙で表現できる。		
授業の内容	教科書に従って、文法、言語機能も取り入れる。 第１週：オリエンテーション・あいさつ表現を使った口頭練習 第２週：第１課 第３週：第２課 第４週：第３課 第５週：第４課 第６週：第５課 第７週：第６課 第８週：中間テスト（文法、語彙、会話を含む。） 第９週：第７課 第 10 週：第８課 第 11 週：第９課 第 12 週：第 10 課 第 13 週：第 11 課 第 14 週：第 12 課 第 15 週：全課の復習 【学生がより深く学べるための工夫】 講義時間内には real-life situation を基盤とした口頭練習を積み重ね、基礎会話力を培う。ワークブックの聴解練習や実践会話を通した宿題で基本の習得を図る。講義で用いられた配布物や板書は Moodle に掲載する。		
時間外学習	各課が終了したところで、ワークブックで復習。それ以外に与えられる実践会話練習の宿題も完了させる。小テストに備えた勉強は各自の責任でする。予習や復習に３時間程度の学習時間が必要。		
教科書	初級日本語（げんき）Ⅰ 第２版（ジャパンタイムズ社） ＊初版の教科書は使用できないので必ず第２版を購入すること。		
参考書	1. 日本語基礎文法辞典（The Japan Times） 2. 日英辞典（研究社）		
成績評価の方法 及び評価割合	1. 小テスト・宿題（３０%） 2. 中間会話テスト（３０%） 3. 期末テスト（４０%）＊出席率に注意		
備考・注意事項	出席率７０%以下（講義４回欠席）の場合は期末テストが受けられない。全講義に出席することが基礎日本語習得のためには必須。		

授　　業　　概　　要

授業科目名	日本語１総合		
担当教員	ブルカート香織	所属部局	国際教育研究センター
単　位	２	学期 曜日・時限	前期：木曜２限 後期：木曜１限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟　　３階　３番　　097-554-6171　kburkart@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日本語基礎文法・言語機能の導入後、日常生活で総合的に活用することができるようになる。		
具体的な 到達目標	基礎的な言語機能、限られた語彙や文法表現を用いて、日常場面で自己紹介、依頼、好き・嫌い、理由、欲求等を表現することができる。		
授業の内容	日本語１で学習した文法・言語機能を活用し、様々なタスク活動練習を行う。 第１週：オリエンテーション（ひらがな練習・かんたんな挨拶の習得） 第２週：第１課の文法会話等を含んだタスク練習　（カタカナ練習を含む。） 第３週：第２課の文法会話等を含んだタスク練習 第４週：第３課の文法会話等を含んだタスク練習 第５週：第４課の文法会話等を含んだタスク練習 第６週：第５課の文法会話等を含んだタスク練習 第７週：第６課の文法会話等を含んだタスク練習 第８週：中間テスト（文法、語彙、会話を含む。） 第９週：第７課の文法会話等を含んだタスク練習 第 10 週：第８課の文法会話等を含んだタスク練習 第 11 週：第９課の文法会話等を含んだタスク練習 第 12 週：第 10 課の文法会話等を含んだタスク練習 第 13 週：第 11 課の文法会話等を含んだタスク練習 第 14 週：第 12 課の文法会話等を含んだタスク練習 第 15 週：全課の復習 【学生がより深く学べるための工夫】 日本語１で学習した文法・言語機能を活用し、様々なタスク活動練習を行う。語彙、文法、会話練習を総括的に復習し基礎日本語の習得を図る。講義で用いられた配布物や板書は Moodle に掲載する。		
時間外学習	各課が終了したところで、ワークブック等で復習。それ以外に与えられる宿題も次週までに完了させる。小テストに備えた勉強は各自の責任でする。予習や復習に３時間程度の学習時間が必要。		
教科書	初級日本語（げんき）Ⅰ 第２版（ジャパンタイムズ社） ＊初版の教科書は使用できないので必ず第２版を購入すること。		
参考書	1. 日本語基礎文法辞典（The Japan Times） 2. 日英辞典（研究社）		
成績評価の方法 及び評価割合	1. 小テスト・宿題（３０%） 2. 中間テスト（３０%） 3. 期末テスト（４０%）＊出席率に注意		
備考・注意事項	出席率７０%以下（講義４回欠席）の場合は期末テストが受けられない。全講義に出席することが基礎日本語習得のためには必須。		

授業科目名	日本語１読解		
担当教員	長池一美	所属部局	国際教育推進センター
単　位	2	学期 曜日・時限	前期：月曜　２限 後期：月曜　４限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 3-4 番 097-554-7953　　nagaike@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	ひらがなとカタカナを習得させ、毎週学習する新出漢字（計 145）の習得とそれを使った基礎的文章の読解力をつけることがねらいである。		
具体的な 到達目標	１．ひらがなとカタカナの読み書きの習熟。 ２．毎週学習する漢字と熟語が読め書けること。 ３．簡単な和文（伝言、手紙、物語等）が読め、また短文が書けること。		
授業の内容	原則として日本語１の教科書「読み書き編」に従って毎週１課ずつ進む。 第 1 週：第 1 課はひらがなの読み書きができるように集中的練習を行う。 第 2 週：第 2 課はカタカナの読み書きができるように集中的練習を行う。 第 3 週：第 2 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 4 週：第 3 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 5 週：第 4 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 6 週：第 5 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 7 週：第 6 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 8 週：第 7 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 9 週：第 3 課から 8 課までの漢字の復習と既習漢字使った文章の読解練習。 第 10 週：第 8 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 11 週：第 9 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 12 週：第 10 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 13 週：第 11 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 14 週：第 12 課の漢字の読み書き練習とそれを使った文章の読解練習。 第 15 週：全課の漢字の復習と既習漢字使った文章の読解練習。 【学生がより深く学べるための工夫】 学生に自身の力を知らせる為、既習漢字の練習を宿題とし毎週テストも行う。		
時間外学習	毎週の新出漢字の習得には時間外の練習が不可欠なので、毎日読み書きの練習をすること。		
教科書	初級日本語（げんき）Ⅰ　**第２版**（ジャパン・タイムズ社）（初版の教科書は使用できないので、必ず第２版の教科書を購入して下さい。）		
参考書	日英辞典（研究社）		
成績評価の方法 及び評価割合	小テスト（毎週）４０%・宿題（毎週）２０%　期末テスト４０% 但し、出席率７０%以下の場合は期末テストが受けられない。		
備考・注意事項	漢字の習得には毎週授業に出て必ずその週に学習した漢字を覚えることが必須である。		

授業科目名	日本語２文法		
担当教員	南里 敬三	所属部局	国際教育推進センター
単　位	2	学期 曜日・時限	前期 火曜２限 後期 火曜１限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 5 番　097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日常の体験を時系列的に順を追って説明できるようになるとともに、若干の主観的表現を学び、過去、現在の出来事にコメントが出来るようになる。また、聞き手との社会関係を配慮した表現が選択できるようになる。		
具体的な 到達目標	一文中での二つの出来事の前後関係の明示方法、意志形を使った予定の報告の仕方、受け身、使役表現を使った出来事の説明の説明方法、敬語を使った丁寧な話し方を習得し、初級レベルの文法習得を完了する。		
授業の内容	第１－２週：テ形、普通体、「～んです」表現の復習 第２週：可能形を使って自分ができることを説明する 第３週：授受表現を使ってプレゼントのやりもらい経験を話す 第４週：連体修飾節を使ってモノにつての詳しい説明を行う 第５－６週：授受表現を使って行為のやりもらい経験を話す 第６－７週：人から聞いた話を伝聞表現を使ってレポートする。「たら」「前に」「てから」などを使って二つの出来事の前後関係を広告する。 第８－９週：復習 第１０週：他動詞と自動詞の違いを知り、構文の正確性を高める 第１１週：尊敬語を学ぶことを通して日本語では話し手と聞き手の社会関係がコード化されていることを学ぶ。「はず」を使って確信できる事柄の説明をする。 第１２週：謙譲語１、謙譲語２を学び、へりくだった表現ができるようになる 第１３週：間接受け身文を使って不可抗力の出来事について話す 第１４－１５週：使役表現を使って、出来事の引き起こしについて言及する 【学生がより深く学べるための工夫】 授業の基本は「文法説明・パターン練習・会話練習」学生の理解度は宿題でチェック。基礎が理解できているかどうかをチェックするために毎週宿題のプリントが受講者に配布される。文法の習得は会話練習を行いその定着が図られる。		
時間外学習	予習・復習それぞれに２時間の学習時間が必要。		
教科書	げんき II（ジャパンタイムズ出版）		
参考書	日本語文法辞典（初級編）、日本語文法辞典（中級編）（ジャパンタイムズ出版）		
成績評価の方法 及び評価割合	語彙聞き取りクイズ（毎週：10%）、エッセイ１、エッセイ２（各5%）、中間テスト（15%）、大分散策（5%）、会話テスト１、会話テスト２（それぞれ10%、15%）、期末テスト（25%）、宿題（10%）		
備考・注意事項	70%以上の出席がないと期末試験は受けられない。この科目は日本２会話、日本語２総合と一緒に受講しなければならない。		

授業科目名	日本語２会話		
担当教員	南里 敬三	所属部局	国際教育推進センター
単　位	2	学期 曜日・時限	前期・後期 水曜１限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 5 番　097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日常の体験を時系列的に順を追って説明できるようになるとともに、若干の主観的表現を学び、過去、現在の出来事にコメントが出来るようになる。また、聞き手との社会関係を配慮した表現が選択できるようになる。		
具体的な 到達目標	自分のスケジュールの説明、不可抗力で発生した出来事の報告、誰かに何かをしてあげた、又は、してもらったことの報告などを取り交ぜて会話が対話形式で最低8分間できるようになる。また、その際、敬語の基本的使用ができるようになる。		
授業の内容	第１－２週：テ形、普通体、「～んです」表現の復習 第２週：可能形を使って自分ができることを説明する 第３週：授受表現を使ってプレゼントのやりもらい経験を話す 第４週：連体修飾節を使ってモノにつての詳しい説明を行う 第５－６週：授受表現を使って行為のやりもらい経験を話す 第６－７週：人から聞いた話を伝聞表現を使ってレポートする。「たら」「前に」「てから」などを使って二つの出来事の前後関係を広告する。 第８－９週：復習 第１０週：他動詞と自動詞の違いを知り、構文の正確性を高める 第１１週：尊敬語を学ぶことを通して日本語では話し手と聞き手の社会関係がコード化されていることを学ぶ。「はず」を使って確信できる事柄の説明をする。 第１２週：謙譲語１、謙譲語２を学び、へりくだった表現ができるようになる 第１３週：間接受け身文を使って不可抗力の出来事について話す 第１４－１５週：使役表現を使って、出来事の引き起こしについて言及する 【学生がより深く学べるための工夫】 授業の基本は「文法説明・パターン練習・会話練習」学生の理解度は宿題でチェック。基礎が理解できているかどうかをチェックするために毎週宿題のプリントが受講者に配布される。文法の習得は会話練習を行いその定着が図られる。		
時間外学習	予習・復習それぞれに２時間の学習時間が必要。		
教科書	げんき II（ジャパンタイムズ出版）		
参考書	日本語文法辞典（初級編）、日本語文法辞典（中級編）（ジャパンタイムズ出版）		
成績評価の方法 及び評価割合	語彙聞き取りクイズ（毎週：10%）、エッセイ１、エッセイ２（各5%）、中間テスト（15%）、大分散策（5%）、会話テスト１、会話テスト２（それぞれ10%、15%）、期末テスト（25%）、宿題（10%）		
備考・注意事項	70%以上の出席がないと期末試験は受けられない。この科目は日本２会話、日本語２総合と一緒に受講しなければならない。		

授業科目名	日本語２総合		
担当教員	南里 敬三	所属部局	国際教育推進センター
単　位	2	学期 曜日・時限	前期　木曜　１限 後期　金曜　２限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 5 番　097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日常の体験を時系列的に順を追って説明できるようになるとともに、若干の主観的表現を学び、過去、現在の出来事にコメントが出来るようになる。また、聞き手との社会関係を配慮した表現が選択できるようになる。		
具体的な 到達目標	自分のスケジュール、不可抗力で発生した出来事、誰かに何かをしてあげた、又は、してもらったことのなどのトピックをテーマにした会話文が読めて理解できるようになる。自分の将来の計画について660 字程度の作文が辞書なしで書けるようになる。		
授業の内容	第１－２週：テ形、普通体、「～んです」表現の復習 第２週：可能形を使って自分ができることを説明する 第３週：授受表現を使ってプレゼントのやりもらい経験を話す 第４週：連体修飾節を使ってモノにつての詳しい説明を行う 第５－６週：授受表現を使って行為のやりもらい経験を話す 第６－７週：人から聞いた話を伝聞表現を使ってレポートする。「たら」「前に」「てから」などを使って二つの出来事の前後関係を広告する。 第８－９週：復習 第１０週：他動詞と自動詞の違いを知り、構文の正確性を高める 第１１週：尊敬語を学ぶことを通して日本語では話し手と聞き手の社会関係がコード化されていることを学ぶ。「はず」を使って確信できる事柄の説明をする。 第１２週：謙譲語１、謙譲語２を学び、へりくだった表現ができるようになる 第１３週：間接受け身文を使って不可抗力の出来事について話す 第１４－１５週：使役表現を使って、出来事の引き起こしについて言及する 【学生がより深く学べるための工夫】 授業の基本は「文法説明・パターン練習・会話練習」学生の理解度は宿題でチェック。基礎が理解できているかどうかをチェックするために毎週宿題のプリントが受講者に配布される。文法の習得は会話練習を行いその定着が図られる。		
時間外学習	予習・復習それぞれに２時間の学習時間が必要。		
教科書	げんき II（ジャパンタイムズ出版）		
参考書	日本語文法辞典（初級編）、日本語文法辞典（中級編）（ジャパンタイムズ出版）		
成績評価の方法 及び評価割合	語彙聞き取りクイズ（毎週：10%）、エッセイ１、エッセイ２（各5%）、中間テスト（15%）、大分散策（5%）、会話テスト１、会話テスト２（それぞれ10%、15%）、期末テスト（25%）、宿題（10%）		
備考・注意事項	70%以上の出席がないと期末試験は受けられない。この科目は日本２会話、日本語２総合と一緒に受講しなければならない。		

授　　業　　概　　要

授業科目名	日本語 2 読解		
担当教員	戸坂　弥寿美	所属部局	国際教育推進センター（非）
単　位	2	学期 曜日・時限	前期・後期 月曜　1 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	tosakayasumi@gmail.com		
授業のねらい	初級前半修了程度の学習者の読解力の向上のための新たな語彙、表現、漢字の習得		
具体的な 到達目標	・約 300 の基本漢字の書き方と読み方 ・基本漢字から派生する語彙の習得 ・短い文章の読解 ・身近な出来事についての作文		
授業の内容	1. オリエンテーション＆初級の復習（１） 2. 初級の復習（２） 3. 日本のおもしろい経験（１） 4. 日本のおもしろい経験（２） 5. 悩みの相談 6. 私が好きな所 7. まんが「ドラえもん」 8. 中間テスト 9. オノ・ヨーコ 10. 大学生活 11. 手紙とメール 12. 猫の皿 13. 厄年 14. 友美さんの日記 15. これはどんな顔？ 16. 期末テスト 【学生がより深く学べるための工夫】 この授業では前回の授業で習った漢字のテストを行う。また、新しく習得した語彙、表現、漢字を使用した読解、作文、会話の練習を行う。		
時間外学習	課題や自主学習に週 4 時間取り組む必要がある。 予習・復習は必須。予習をしている前提で授業を進める。		
教科書	『初級日本語　げんきⅡ　第 2 版』（The Japan Times）		
参考書	『新漢英字典』（研究社） 『日本語基本文法辞典』　（The Japan Times）		
成績評価の方法 及び評価割合	授業への積極的な参加（10%）、宿題（20%）、小テスト（10%）、 中間・期末テスト（60%）		
備考・注意事項	出席率が 70%を割る場合は、期末テストが受けられない。 本授業計画は受講者の理解度・習熟度に応じて、変更される可能性がある。		

授業科目名	日本語３文法		
担当教員	坂井　美恵子	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	前期：　木曜　２限 後期：　火曜　２限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟３階７番　　097-554-7516　　msakai@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	このコースは初級レベルを修了した学習者を対象にしており、初級レベルで学習した基本的な文法を、話題や場面に応じて適切に運用できるようになること、また、日常会話を支障なく行うために必要となる文型や語彙を習得することを目的とする。		
具体的な 到達目標	1. 日常生活の様々な場面において必要とされる文型や語彙を学ぶ。 2. 話題や場面に応じて必要となる文法や文型を自ら選び出し、適切に運用できるようになる。 3. 日常会話が支障なく行えるよう、正確に話せるようになる。 4. さまざまな場面の会話を聞き取り、内容把握ができるようになる。		
授業の内容	以下のトピックを話すときに必要となる文型、語彙、表現を学ぶ。 1. 友人や家族の紹介 2. 子供のころの思い出 3. 性格 4. 状況の説明 5. 自国の紹介 6. 自国を旅行する友だちへのアドバイス 7. 旅行の計画 8. 生活の変化 9. 国民性の比較 10. 日本の生活習慣や印象 11. 将来の希望や夢 12. ３０年後の世界 13. 食と健康 14. ストレス解消法 15. 若者言葉 【学生がより深く学べるための工夫】 コミュニケーション能力の向上のため、毎回ペアワークやロールプレイ、聴解練習を取り入れる。		
時間外学習	聴解練習、各課の予習・復習など毎週 2 時間程度の時間外学習を課す。		
教科書	『J Bridge to Intermediate Japanese』（凡人社）		
参考書	『日本語文法辞典[中級編]』　(The Japan Times)		
成績評価の方法 及び評価割合	レッスンテスト　（30%）、　期末テスト　（30%）、　単語テスト（15%）、 宿題・態度など　（25%） 出席率が 70%以下の場合は、期末テストを受ける資格がなくなる。		
備考・注意事項	日本語２修了、またはプレースメントテストにおいて同等のレベル修了と判定されることを履修の条件とする。 日本語３文法と日本語３会話は同時に受講しなければならない。		

授業科目名	日本語３会話		
担当教員	坂井　美恵子	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	前期・後期 水曜　２限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟３階７番　　097-554-7516　　msakai@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	このコースは初級レベルを修了した学習者を対象にしており、初級レベルで学習した基本的な文法を、話題や場面に応じて適切に運用できるようになること、また、日常会話を支障なく行うために必要となる文型や語彙を習得することを目的とする。		
具体的な 到達目標	1. 日常生活の様々な場面において必要とされる文型や語彙を学ぶ。 2. 話題や場面に応じて必要となる文法や文型を自ら選び出し、適切に運用できるようになる。 3. 日常会話が支障なく行えるよう、正確に話せるようになる。 4. さまざまな場面の会話を聞き取り、内容把握ができるようになる。		
授業の内容	以下のトピックを話すときに必要となる文型、語彙、表現を使い、コミュニケーション能力習得のための会話練習を行う。 1. 友人や家族の紹介 2. 子供のころの思い出 3. 性格 4. 状況の説明 5. 自国の紹介 6. 自国を旅行する友だちへのアドバイス 7. 旅行の計画 8. 生活の変化 9. 国民性の比較 10. 日本の生活習慣や印象 11. 将来の希望や夢 12. ３０年後の世界 13. 食と健康 14. ストレス解消法 15. 若者言葉 【学生がより深く学べるための工夫】 コミュニケーション能力の向上のため、毎回ペアワークやロールプレイ、聴解練習を取り入れる。		
時間外学習	聴解練習、各課の予習・復習など毎週 2 時間程度の時間外学習を課す。		
教科書	『J Bridge to Intermediate Japanese』（凡人社）		
参考書	『日本語文法辞典[中級編]』　(The Japan Times)		
成績評価の方法 及び評価割合	レッスンテスト　（30%）、　期末テスト　（30%）、　単語テスト（15%）、 宿題・態度など　（25%） 出席率が 70%以下の場合は、期末テストを受ける資格がなくなる。		
備考・注意事項	日本語２修了、またはプレースメントテストにおいて同等のレベル修了と判定されることを履修の条件とする。 日本語３文法と日本語３会話は同時に受講しなければならない。		

授　　業　　概　　要

授業科目名	日本語 3 読解Ⅱ		
担当教員	戸坂　弥寿美	所属部局	国際教育推進センター（非）
単　位	2	学期 曜日・時限	前期 火曜　1 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	tosakayasumi@gmail.com		
授業のねらい	身近な日本についての初中級レベルの短い文章を読み、理解できる。		
具体的な 到達目標	・文章の構成を理解する。 ・分からない言葉や漢字があった場合、どのように対処するかを学ぶ。 ・文章の中から必要な情報を速く探す。 ・接続詞や副詞の効果的な使い方を学ぶ。 ・日本人の意識や日本の文化について学ぶ。		
授業の内容	1. ガイダンス 2. 家族 3. ことば 4. 不思議な話 5. 怪談Ⅰ 6. 怪談Ⅱ 7. 落語 8. 中間試験 9. 英雄 10. 鉄道ファン 11. オタク 12. 和食 13. 日本の名所 14. 日本の文化 15. 復習 16. 期末試験 【学生がより深く学べるための工夫】 各授業でペアワークや短い発表をする。		
時間外学習	授業後の復習（毎時間漢字語彙の復習テストを行う）		
教科書	毎時間教師がハンドアウトを配布する。		
参考書	授業で提示する		
成績評価の方法 及び評価割合	授業態度・宿題（10%）、課題（15%）、小テスト（10%）、発表（10%）、試験（55%）		
備考・注意事項	この授業は初級レベルを修了した学生向けで、プレイスメントテストでレベル３以上と判定された学生が対象である。ひらがな、カタカナ、基本漢字 300 字を習得していることが必要である。授業は日本語で行う。出席率が 70%以下の場合は期末試験を受けられない。		

授　　業　　概　　要

授業科目名	日本語３作文Ⅱ		
担当教員	戸坂　弥寿美	所属部局	国際教育推進センター（非）
単　位	2	学期 曜日・時限	前期 月曜　２限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	tosakayasumi@gmail.com		
授業のねらい	初中級レベルの文法、表現、語彙を使用し、身近なトピックについて 600～700 字程度の作文が書けるようになる。		
具体的な 到達目標	・段落を意識した作文が書けるようになる。 ・文の構成を理解し接続詞や副詞を効果的に使った文章を書く。 ・原稿用紙の使用の仕方を学ぶ。		
授業の内容	1. ガイダンス 2. 家族 3. ことば 4. 不思議な話 5. 怪談Ⅰ（紹介） 6. 怪談Ⅱ（比較） 7. 落語（物語の続きを書く） 8. 中間試験 9. 英雄 10. 夢中になっていること 11. オタク 12. 日本のイメージ 13. 日本の名所 14. 将来 15. 復習 16. 期末試験 【学生がより深く学べるための工夫】 各授業でペアワークや短い発表をする。		
時間外学習	授業後の復習 発表の練習		
教科書	毎時間教師がハンドアウトを配布する。		
参考書	授業で提示する		
成績評価の方法 及び評価割合	授業態度・宿題（10%）、課題（20%）、発表（15%）、試験（55%）		
備考・注意事項	この授業は初級レベルを修了した学生向けで、プレイスメントテストでレベル３以上と判定された学生が対象である。ひらがな、カタカナ、基本漢字 300 字を習得していることが必要である。授業は日本語で行う。出席率が 70%以下の場合は期末試験を受けられない。		

授業科目名	多読で学ぶ日本語		
担当教員	坂井　美恵子	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	（前期）月曜　４限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟３階７番　　097-554-7516　　msakai@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	多読とは、辞書を使わないで読めるやさしい本をたくさん、楽しく、速く読むことで、効果的な外国語学習法です。この授業では、やさしく短い読み物を読むことから始め、少しずつ長さと日本語のレベルを上げていくことで、日本語で書かれた本をより速く、より多く読めるようになるだけでなく、話す力、書く力も伸ばすことを目指しています。		
具体的な 到達目標	・日本語で書かれた本や多読図書を、辞書を使うことなく楽しみながら多く読む ・本を読む習慣を身に付け、日本語で読むことに対する自信を身に付ける ・日本語を速く読む力、読解力、語彙力を身に付ける ・話す力と書く力を含む日本語能力を向上させる		
授業の内容	教員が用意する多読図書や、図書館にある本の中から各自で好きなものを選び、それぞれ読み進めていきます。授業中と授業外で、できるだけたくさんの本を読みます。毎週、記録表に読んだ本の内容と感想、読み方について気付いたことを記録し、提出します。また、グループで読んだ本について紹介をします。最後に、読んだ本の中からおすすめの本を一冊選んでブックトレーラーを作成し、クラスで発表します。 各学生が自分で読み進めていくことが中心の授業で、教員は学生のレベルや必要性に応じたアドバイスをします。 第 1 週　オリエンテーション（多読図書の紹介、読み方の紹介） 第 2 週　多読① 第 3 週　グループで本の紹介、多読② 第 4 週　グループで本の紹介、多読③ 第 5 週　グループで本の紹介、多読④ 第 6 週　グループで本の紹介、多読⑤ 第 7 週　グループで本の紹介、多読⑥ 第 8 週　グループで本の紹介、多読⑦ 第 9 週　グループで本の紹介、多読⑧ 第 10 週　グループで本の紹介、多読⑨ 第 11 週　グループで本の紹介、多読⑩ 第 12 週　グループで本の紹介、多読⑪ 第 13 週　発表の準備（ブックトレーラー作成） 第 14 週　おすすめの本の発表 第 15 週　おすすめの本の発表 【学生がより深く学べるための工夫】 一冊読むごとに読書記録を付けるとともに、読んだ本について発表することにより、理解を深める。		
時間外学習	多読を行う		
教科書	『レベル別日本語多読ライブラリー』『日本語多読ブックス』などの多読用教材は教員が用意する。		
参考書	『多読で学ぶ英語』（2006, リチャード・デイ他）		
成績評価の方法 及び評価割合	多読した本の冊数（20%）、読書記録表の内容（20%）、グループ発表（20%）、ブックトレーラーの発表（30%）、授業態度（10%）		
備考・注意事項	プレイスメントテストでレベル３～６と判定された学生を対象とする		

授業科目名	日本語４文法Ⅱ		
担当教員	大坪　美奈子	所属部局	国際教育推進センター (非)
単　位	２	学期 曜日・時限	前期 火曜　２限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
授業のねらい	一年を通じて文法Ｉと文法Ⅱを履修することで、中級レベル文法の理解を深め、正しく使えるようにします。		
具体的な 到達目標	名詞修飾や副詞・接続詞などを理解し、適切に使えるようになることを目指します。		
授業の内容	日本語４文法Ｉと同じ教科書を使いますが、この授業では７課から１６課までをカバーします。 【授業日程】 １．ガイダンス・チェックテスト ２．複文構造 ３．名詞修飾 ４．複文を作る言葉１ ５．複文を作る言葉２ ６．複文を作る言葉２、３ ７．複文を作る言葉３ ８．中間試験 ９．否定の言い方 10．わたしからの発信１ 11．わたしからの発信１、２ 12．わたしからの発信２ 13．決まった使い方の副詞① 14．決まった使い方の副詞②／接続の言葉① 15．接続の言葉② 16．期末試験 【学生がより深く学べるための工夫】 習った文法を使って、その場で実際に例文を作ってみる時間を設けます。		
時間外学習	宿題・復習など毎週２時間程度の時間外学習が必要です。		
教科書	「中級日本語文法要点整理ポイント 20」スリーエーネットワーク社		
参考書	日本語辞書　日本語文法辞典		
成績評価の方法 及び評価割合	授業への取組み・態度、宿題(30%)、中間試験 (30%)、期末試験(40%) 出席率が 70%を割った場合は、期末テストを受ける資格がありません。		
備考・注意事項	この授業は日本語中級レベルの学習者で、プレイスメントテストでレベル４と判定された人が対象です。少なくとも漢字 500 字以上の知識が必要です。 授業は日本語でおこないます。		

授業科目名	日本語４スピーキング		
担当教員	坂井　美恵子	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	前期　　木曜　１限 後期　　火曜　１限
担当教員研究室 電話・e-mail	教養教育棟３階７番　　097-554-7516　　msakai@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	中級後半レベルの学習者を対象に、大学生活をおくる上で必要となる日常の様々な場面に対応できるスピーキング能力と聴解力の向上を目指す。また、自分たちが暮らしている大分県の情報を集め、町に出て取材をすることにより、大分県の特色や魅力を探り、日本について理解を深める。		
具体的な 到達目標	1. クラスメートや日本人との日本語によるコミュニケーションを通じ、適切な表現を使用し、一般的な話題について正確かつ活発に会話ができる。 2. 総合的な日本語の運用能力を高め、ある程度まとまった量の話ができる。 3. フォーマルな場面とインフォーマルな場面での表現の使い分けを習得する。 4. 自然なスピードで話される様々な場面の会話を聞き取り、内容を説明できる。		
授業の内容	前半は以下の各々の場面で必要とされる表現や語彙を学び、ロールプレイによるインターアクティブな会話練習や聴解練習を行う。また、ある程度まとまった内容を話すための口頭発表も行う。 １．　ガイダンス ２．　貸してもらう ３．　勧誘する・断る ４．　許可を求める・与える ５．　予定を変更する ６．　使い方を説明する ７．　口頭発表 ８．　口頭発表 ９．　中間試験 後半はグループ活動を行う。先ず、各グループでテーマを決め、アンケートを作成する。日本人にインタビュー調査を行い、詳しい情報や予備知識を得る。その上で、テーマとした場所を実際に訪問し、調査対象を取材し、提言を考える。調査結果をビデオにまとめてクラスで発表し、提言について話し合う。 １０．　お気に入りの大分（１）会話練習・アンケート作成 １１．　お気に入りの大分（２）アンケート調査・インタビュー １２．　お気に入りの大分（３）調査結果のまとめと分析 １３．　お気に入りの大分（４）取材と撮影 １４．　お気に入りの大分（５）発表準備と字幕付け １５．　お気に入りの大分（６）発表・提言について話し合い 【学生がより深く学べるための工夫】 発表では個別にエラーの修正やフィードバックを行い、各学生が自分の弱点に気付き、自ら修正できる能力を身につけることを目指す。		
時間外学習	聴解練習、日本人へのインタビュー調査、実地調査準備、発表の準備など毎週 2 時間程度の時間外学習を課す。		
教科書	『聞いて覚える話し方　日本語生中継　初中級編１』くろしお出版		
参考書	『にほんご会話上手！』ask 出版		
成績評価の方法 及び評価割合	宿題（10%）、単語クイズ（10%）、中間試験（30%）、アンケート調査（20%）、口頭発表（20%）、クラス参加・態度など（10%）		
備考・注意事項	日本語 3 修了、またはプレースメントテストにおいて同等のレベル修了と判定されることを履修の条件とする。 出席率が 70%以下の場合は、最終プロジェクトの参加は認められない。		

授業科目名	日本語４読解Ⅱ		
担当教員	金森　由美	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	前期 金曜　１限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟３階３ - ６番　　097-554-7667　　kanamori@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日本の有名な人物の物語を通して日本人の価値観や考え方を学び、コミュニケーションに必要な文化的・社会的知識を獲得する。また読解力を中心に語彙や文法の力を向上させる。		
具体的な 到達目標	１．日本語能力試験 N2 レベルの読解力を身に付ける ２．分野別に漢字熟語やコロケーション、さらに関連語を習得する ３．人物と関連のあるテーマについて資料を探して紹介する		
授業の内容	１．授業の概要 ２．聖徳太子 ３．紫式部と清少納言 ４．本田宗一郎 ５．孫正義 ６．千利休 ７．黒澤明 ８．村上春樹 ９．俵万智 10．長谷川町子 11．宮崎駿 12．杉原千畝 13．佐藤栄作 14．山中伸弥 15．石黒浩 【学生がより深く学ぶための工夫】 新出漢字の意味や用法を調べてまとめる。さらに授業で扱った人物に関する追加情報を探し、翌週の授業で発表することを課題としている。		
時間外学習	原則として、毎週課題を提出する。 自分で見つけた資料をまとめ、発表の準備をする。		
教科書	The Great Japanese 30 の物語　－人物で学ぶ日本語－		
参考書	『留学生のための漢字の教科書　中級７００』 『留学生のための漢字の教科書　上級１０００』 『コロケーションが身につく　日本語表現練習帳』		
成績評価の方法 及び評価割合	試験(80%)、毎週提出する課題（20%）		
備考・注意事項	このコースを受講できるかどうかは、プレイスメントテストの結果による。詳しくは、国際教育推進センター掲示板を見ること。 出席率が７０％を割る場合は、期末テストを受ける資格はない。 このコースは中級レベルの日本語学習者を対象とし、漢字 500 字、語彙 3000 語程度の知識があることを前提としている。		

授業科目名	日本語４作文Ⅱ		
担当教員	金森　由美	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	前期 水曜　１限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟３階３ - ６番　　097-554-7667　　kanamori@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	自分の言いたいことを正確に分かりやすく伝えるためにはどうすればいいかということを、常に考える必要がある。また、内容を掘り下げる一方で、日本語に磨きをかける努力を続けることが留学生にとっては重要だ。できる限り多くの時間を作文に費やし、書く楽しみを味わってほしい。		
具体的な 到達目標	１．興味のある身近なテーマについてまとまった文章が書けるようになる。 ２．テーマに関連した語彙や文型を学び、読みやすい文章の作成方法を習得する。 ３．現代社会の諸問題について８００字程度のレポートが書けるようになる。		
授業の内容	１．授業の概要 ２．自己紹介：名前の由来、性格を表す表現 ３．異文化理解：時に関する表現、身振りが意味すること ４．日本語のおもしろさ：擬音語擬態語、数に関する表現 ５．お勧めの観光地：地理や歴史を説明する、郷土料理 ６．お金の話：自国の通貨、ことわざ ７．変な建築物：形を説明する、状態を表す ８．子供の遊び：動きに関する表現、昔を懐かしむ ９．悩み相談：後輩への助言 10．大学で何を学ぶか：教育制度の説明、比較 11．就職活動：職場の敬語、就活の流れ 12．働く女性の問題：結婚、家事、育児 13．食の文化：特別な料理の説明、作り方 14．物語：七夕、縁起に関する表現 15．科学の発達：100 年後の社会 【学生がより深く学ぶための工夫】 授業で学習した文型や語彙を使えるようなテーマを与え、毎週作文を提出させ、添削して返す。		
時間外学習	原則として、毎週課題を提出する		
教科書	教材配布		
参考書	『中級へ行こう 日本語の文型と表現 55 第 2 版』 『新中級から上級への日本語』 『レベルアップ日本語文法中級』		
成績評価の方法 及び評価割合	試験(80%)、毎週提出された課題（20%）		
備考・注意事項	このコースを受講できるかどうかは、プレイスメントテストの結果による。詳しくは、国際教育推進センター掲示板を見ること。 出席率が７０%を割る場合は、期末テストを受ける資格はない。 このコースは中級レベルの日本語学習者を対象とし、漢字 500 字、語彙 3000 語程度の知識があることを前提としている。		

授業科目名	日本語４応用Ⅱ		
担当教員	大坪　美奈子	所属部局	国際教育推進センター (非)
単　位	２	学期 曜日・時限	前期 月曜　１限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
授業のねらい	この授業は中級レベル日本語学習で習得した文法、語彙、そして会話などの知識や能力を実践的な文脈に応用させることを目的としている。また様々なトピックについて日本語で議論や分析を行うことでそのテーマの理解を深めることを目指す。		
具体的な 到達目標	１．日本語でディスカッションを行えるようになること。 ２．日本語で自己表現をスムーズに行えるようになること。 ３．日本文化についての理解を深めること。		
授業の内容	１．オリエンテーション ２．メディアから学ぶ日本語① ３．メディアから学ぶ日本語② ４．メディアから学ぶ日本語③ ５．メディアから学ぶ日本語④ ６．メディアから学ぶ日本語⑤ ７．メディアから学ぶ日本語⑥ ８．メディアから学ぶ日本語⑦ ９．メディアから学ぶ日本語⑧ 10．メディアから学ぶ日本語⑨ 11．プロジェクトの企画 12．プロジェクトの企画・準備 13．プロジェクトの企画・準備 14．プロジェクトの準備 15．プロジェクト発表 16．期末試験 【学生がより深く学べるための工夫】 毎回の授業で学習者同士の簡単なディスカッションをおこないます。		
時間外学習	復習・課題など、毎週２時間程度の学習が必要です。		
教科書	教材配布		
参考書	日本語辞書、慣用表現辞典、等		
成績評価の方法 及び評価割合	授業での積極的な討議参加（20%)、プロジェクト（20%)、 その他課題（30%)、試験（30%)、		
備考・注意事項	この授業を履修する学生は、日本語中級レベル（レベル 4 程度）の他の授業を履修済みであること、または同時に履修することを勧めます。 出席率が 70%に満たない場合は、期末試験を受ける資格はありません。		

授業科目名	日本語５スピーキング		
担当教員	大坪　美奈子	所属部局	国際教育推進センター (非)
単　位	２	学期 曜日・時限	前期・後期 月曜　２限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
授業のねらい	この授業では、上級レベルの学習者に求められる能力の一つとして、まとまった内容の話ができるように、日本語会話力の向上を目指します。		
具体的な 到達目標	・複数の段落で構成されたまとまりのある話が３分間程度できるようになる。 ・詳しい描写や複雑なことの説明、できごとの説明などができるようになる。 ・失礼にならない話し方や話題に適した話し方ができるようになる。 ・異なる考えを認めながら、よい話し手・聞き手になる。		
授業の内容	【授業日程】 １．ガイダンス ２．自己紹介で好印象を与えよう ３．きっかけを語ろう ４．失くした体験を話そう ５．町の様子を話そう ６．動きの順序を説明しよう ７．趣味についてそのおもしろさを伝えよう ８．中間試験 ９．言いかえて説明しよう 10．比べて良さを伝えよう 11．ストーリーを話そう１ 12．ストーリーを話そう２ 13．最近の出来事を話そう 14．健康について話そう 15．将来の夢を語ろう 16．期末試験 【学生がより深く学べるための工夫】 ペアワークやグループワークで会話する時間を設けます。		
時間外学習	単語やフレーズの復習、宿題など毎週２時間程度の時間外学習が必要です。		
教科書	「日本語上級話者への道」スリーエーネットワーク社		
参考書	日本語文法辞典、日本語辞書、慣用表現辞典、等		
成績評価の方法 及び評価割合	授業への取組み・態度、宿題(30%)、中間試験 (30%)、期末試験(40%) 出席率が 70%を割った場合は、期末テストを受ける資格がありません。		
備考・注意事項	この授業は日本語上級レベルの学習者が対象です。日本語４スピーキング修了(成績 B 以上)、あるいはプレイスメントテストでレベル５以上と判定されていることが必要です。 第１回目の授業で受講者を決めるため、履修希望者は必ず出席すること。		

授業科目名	日本語５読解・作文Ⅱ		
担当教員	坂井　美恵子	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	（前期）水曜　１限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟３階７番　　097-554-7516　　msakai@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	この授業は上級レベルの学習者を対象にし、日本語５読解・作文Iでは扱わなかった分野の論説文を読むことにより、専門分野の論文を読むための読解力の基礎をさらに充実させることを目指す。それと同時に、日本語５読解・作文Iとは異なった作家の短編小説を読み、さらに現代の日本文学に親しみ、論説文とは違う分野の語彙や表現の習得を目指す。また、論理的な文章が書けるようになることを目指す。		
具体的な 到達目標	1. 1200字程度の短い論説文から2000字程度の論説文へと段階的にすすみ、内容を把握し、語彙や表現を増やす。 2. 論文を読むための基礎となる文章の論理構造について学び、大意を把握したり、必要な情報を読み取る。 3. 日本語で書かれた小説の内容を理解する。 4. 日本人の物の見方や考え方、日本文化などに触れ、意見を述べることができる。 5. 段落の構成について学び、文章の要約や意見文が書ける。		
授業の内容	I.読解：各週、以下の構造に注目し、現在の日本社会で問題となっている話題に関した論説文を読む。 1. 書き言葉の特徴 2. 段落内の構造 3. アウトラインと複文 4. 文の構造と論の展開方法１ 5. 論の展開方法２（文末表現） 6. 要約 7. 中間試験 II.作文：各週、以下の文章の組み立て方や表現を習得し、作文を書く。 8. 作文の基本（文体と表現）と原稿用紙の使い方 9. 状況説明と意見の述べ方 10. 対比と比較のしかた 11. 文章の要約のしかた III.小説：各週、現代の短編小説を読み、内容を理解し、言葉や表現について学ぶ。 12-15. 小説 【学生がより深く学べるための工夫】 作文はピアリーディングによるフィードバックを行い、学生同士で学び合いができるようにする。ピアと教師両者によるフィードバックを参考にして書き直し、再提出する。		
時間外学習	本文の予習・復習、作文等毎週２時間程度時間外学習を課す。		
教科書	『大学・大学院留学生の日本語３　論文読解編』アルク その他ハンドアウトを配布する。		
参考書	『大学・大学院留学生の日本語４　論文作成編』アルク		
成績評価の方法 及び評価割合	中間試験（30%）、期末試験（30%）、作文（15%）、宿題(15%)、クラス参加・態度など（10%）		
備考・注意事項	受講可能かどうかはプレイスメントテストの結果による。受講者は日本語５読解・作文Iを受講している必要はないが、日本語能力試験Ｎ１程度の日本語能力があることが望ましい。出席率が70%以下の場合は期末試験を受ける資格がなくなる。		

授業科目名	日本語５文法Ⅱ		
担当教員	金森　由美	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	前期 金曜　２限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟３階３ - ６番　　097-554-7667　　kanamori@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日常会話とは異なる大学の講義を理解するために必要とされる日本語能力を身に付けるため、中・上級表現文型と語彙の使い方や意味を正確に理解し、適切に運用する力をつける。		
具体的な 到達目標	１．与えられた選択肢の中から適切な表現を選ぶことができるようになる。 ２．類義表現の意味の違いを説明し使い分けができるようになる。 ３．日本語能力試験 N1 レベルの日本語文法と語彙を習得する。		
授業の内容	１．授業の概要 ２．強調・話題 ３．逆接・譲歩 ４．原因・理由 ５．仮定条件・確定条件・逆接仮定条件 ６．不可能・可能 ７．困難・容易 ８．傾向・状態・様子 ９．経過・結末 10．否定・部分否定 11．伝聞・推量 12．心情の強調・強制 13．誘い・勧め・注意・禁止 14．主張・断定 15．感嘆・願望 【学生がより深く学ぶための工夫】 学習した文型を使って短文を作らせ、学生同士で添削できるように板書させる。誤用があれば、何が問題か、クラス全員で考えるよう促す。		
時間外学習	配布されたプリントを予習しておく。		
教科書	教材配布		
参考書	『どんな時どう使う　日本語表現文型辞典』 『くらべてわかる　日本語表現文型辞典』 『生きた例文で学ぶ　日本語表現文型辞典』		
成績評価の方法 及び評価割合	試験(90%)、予習した内容に基づく授業貢献（10%）		
備考・注意事項	このコースを受講できるかどうかは、プレイスメントテストの結果による。詳しくは、国際教育推進センター掲示板を見ること。 出席率が７０%を割る場合は、期末テストを受ける資格はない。 この授業は上級レベルの学習者を対象とし、日本語能力試験Ｎ２と同等レベルの文法の知識があることを前提としている。		

授業科目名	日本語特講 11：ポピュラー・カルチャー (1)		
担当教員	長池一美	所属部局	国際教育推進センター
単　位	2	学期 曜日・時限	前期：水 4 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 3-4 番 097-554-7953　　nagaike@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	マンガ、アニメなどいわゆる日本のポピュラー･カルチャーに触れることによって、日本へ興味を持った留学生は多い。「ポピュラー」という単語はしばしば「Low=ロウ」(質の低い)というように解釈されたが、ポピュラー・カルチャーは社会･文化を分析する上で欠かすことのできない研究分野として注目されてきている。このコースでは日本のポピュラー･カルチャー（特にアニメと映画）がどのように現代日本社会の特徴と問題を扱っているかについて考察する。そのうえで、日本社会、ならびに海外における日本のポピュラー･カルチャーの受容について議論する。また、アカデミックな日本語の習得（論文の書き方、プレゼンテーションの方法など）も授業開講の目的の一つとする。		
具体的な 到達目標	1. ポピュラー・カルチャーを通して日本社会の在り方に精通する。 2. アカデミックな日本語でレポートを作成し、プレゼンテーションが行えるようにする。		
授業の内容	1) コースの概要について、ポピュラー･カルチャーとは？ 2) アニメの歴史 3-7) アニメ研究（例　『美少女戦士セーラームーン』、『攻殻機動隊』、宮崎アニメ） 8) 邦画の歴史 9)-13) 邦画研究（例　黒澤明、大島渚、北野武） 14-15) グループプロジェクト 【学生がより深く学べるための工夫】 この授業はレクチャー、（グループ）ディスカッション、プロジェクト準備・発表を中心として構成される。		
時間外学習	指定された文献を事前に熟読し、主題や論点について、要約を行っておくこと。課題や自主研究に週 4 時間取り組む必要がある。		
教科書	特に指定しない。		
参考書	第一回授業で配布。		
成績評価の方法 及び評価割合	授業への積極的な参加　20% プロジェクト　30% 期末試験　50%		
備考・注意事項	なし		

授業科目名	日本研究Ⅱ		
担当教員	南里 敬三、GAIA 教員	所属部局	国際教育推進センター
単　位	2	学期 曜日・時限	前期 金曜 ５限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 5 番　097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	このコースは、日本語日本文化研修生を対象としており、（日本語で）論文を書き上げることを目的とする。		
具体的な 到達目標	仮説の微調整とデータの収集の微調整のやり方を習得し論文を書きあげる技術を身につける。論文の長さは1 万字前後。		
授業の内容	第1 週 – 第5 週：仮説の絞り込み。 【学生がより深く学べるための工夫】 抽象的仮説から具体的表現を使用した仮説へと移行していく。その一方でデータ収集も始める。仮説が具体化していくのは通常5 月の初めから中旬にかけて。ステップ・バイ・ステップで論文指導をしていく。また、指導教員、論文支援チューター、日研生と三人がチームを組んで論文作成に当たるので安心して論文が書けるだろう。 第6 週 – 第10 週：仮説の微調整とデータ分析。 【学生がより深く学べるための工夫】 集めたデータの中には実際に仮説の検証に必要なものとそうでないものがある。いらないデータがなんであるのか、それは仮説がしっかりたてられているかによる。自分の立てた仮説をしっかり理解してデータ分析を行う。データ分析の記述については既にテンプレートがあるのでそれに沿ってデータ分析の箇所を書いていく。 第11 週 – 第15 週：論文を完成させる。 【学生がより深く学べるための工夫】 アウトラインが出来上がり、それに沿って論文に文字通り肉付けしていく作業が中心となるが、仮説の採取調節とそれに基づいて論文の「はじめに」の部分などがこの段階で完成し、論文全体の完成となる。すべてステップ・バイ・ステップで進んでいくので安心して論文指導が受けられるだろう。		
時間外学習	3 時間の予習と 1 時間の復習が必要である。		
教科書	なし。		
参考書	学生の研究分野・テーマごとに必要な参考文献リストを配布する。		
成績評価の方法 及び評価割合	論文（100%）		
備考・注意事項	論文の内容は、日研生プログラムの開始時の日研生の日本語力にあわせて設定する。		

授　　業　　概　　要

授業科目名	大学院入学前予備教育日本語初級集中		
担当教員	GAIA 教員	所属部局	国際教育推進センター
単　位	未定	学期 曜日・時限	未定
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟３階		
授業のねらい	このコースは、国費留学生を対象とした初級集中日本語コースで、話す、聞く、書く、読むの四技能を学びます。文法説明は英語で行われるために、簡単な英語力が必要となります。		
具体的な 到達目標	・基礎的な日常会話ができるようになる ・ひらがな、カタカナ、基本漢字の読み書きができるようになる ・短い文章が読め、書けるようになる		
授業の内容	以下の場面で必要となる文法、表現、語彙を学ぶ 1. 挨拶 2. 自己紹介 3. 数・時間を表す 4. 買い物 5. 予定を話す 6. 約束をする 7. 誘う 8. 場所を説明する 9. 過去のことを話す 10. 好き嫌いを表す 11. 理由を話す 12. 依頼する 13. 許可する 14. 禁止する 15. 家族紹介 【学生がより深く学べるための工夫】 学生はターゲットとなる文法について予め文法解説を読み、基礎知識を得た上で、ＣＤで口頭練習を行ってから授業に参加する。授業内では実践に近い状況を設定し、教師対学生、学生対学生による会話練習を行う。		
時間外学習	各課の予習・復習など毎週 2 時間程度の時間外学習を課す。		
教科書	『初級日本語げんき I』(The Japan Times) 『初級日本語げんきⅠ　ワークブック』(The Japan Times)		
参考書	『日本語文法辞典』　(The Japan Times)		
成績評価の方法 及び評価割合	小テスト・宿題　(30%)、　会話テスト (30%)、　期末テスト（40%）		
備考・注意事項	大学院入学前予備教育の国費留学生を対象とする。		

授　　業　　概　　要

授業科目名	日本語 3 読解 I		
担当教員	戸坂　弥寿美	所属部局	国際教育推進センター（非）
単　位	2	学期 曜日・時限	後期 木曜　1 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	tosakayasumi@gmail.com		
授業のねらい	身近な日本についての初中級レベルの短い文章を読み、理解できる。		
具体的な 到達目標	・文章の構成を理解する。 ・分からない言葉や漢字があった場合、どのように対処するかを学ぶ。 ・文章の中から必要な情報を速く探す。 ・接続詞や副詞の効果的な使い方を学ぶ。 ・日本人の意識や日本の文化について学ぶ。		
授業の内容	1. ガイダンス 2. 自己紹介 3. 食文化 4. 昔と今 5. 防災 6. 日本のイメージ 7. 生活習慣 8. 中間試験 9. 発明 10. エコ活動 11. 経験 12. 働き方 13. 丁寧さ 14. ソーシャルメディア 15. 復習 16. 期末試験 【学生がより深く学べるための工夫】 各授業でペアワークや短い発表をする。		
時間外学習	授業後の復習（毎時間漢字語彙の復習テストを行う）		
教科書	毎時間教師がハンドアウトを配布する。		
参考書	授業で提示する		
成績評価の方法 及び評価割合	授業態度・宿題（10%）、課題（15%）、小テスト（10%）、発表（10%）、試験（55%）		
備考・注意事項	この授業は初級レベルを修了した学生向けで、プレイスメントテストでレベル３以上と判定された学生が対象である。ひらがな、カタカナ、基本漢字 300 字を習得していることが必要である。授業は日本語で行う。出席率が 70%以下の場合は期末試験を受けられない。		

授　　業　　概　　要

授業科目名	日本語３作文Ⅰ		
担当教員	戸坂弥寿美	所属部局	国際教育推進センター（非）
単　位	2	学期 曜日・時限	後期 月曜　２限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	tosakayasumi@gmail.com		
授業のねらい	初中級レベルの文法、表現、語彙を使用し、身近なトピックについて 600～700 字程度の作文が書けるようになる。		
具体的な 到達目標	・段落を意識した作文が書けるようになる。 ・文の構成を理解し接続詞や副詞を効果的に使った文章を書く。 ・原稿用紙の使用の仕方を学ぶ。		
授業の内容	1. ガイダンス 2. 自己紹介 3. 食文化 4. 昔と今 5. 防災 6. 日本のイメージ 7. 生活習慣 8. 中間試験 9. 私の国の自慢 10. エコ活動 11. 経験 12. 働き方 13. 丁寧さ 14. ソーシャルメディア 15. 復習 16. 期末試験 【学生がより深く学べるための工夫】 各授業でペアワークや短い発表をする。		
時間外学習	授業後の復習 発表の練習		
教科書	毎時間教師がハンドアウトを配布する。		
参考書	授業で提示する		
成績評価の方法 及び評価割合	授業態度・宿題（10%）、課題（15%）、発表（20%）、試験（55%）		
備考・注意事項	この授業は初級レベルを修了した学生向けで、プレイスメントテストでレベル３以上と判定された学生が対象である。ひらがな、カタカナ、基本漢字 300 字を習得していることが必要である。授業は日本語で行う。出席率が 70%以下の場合は期末試験を受けられない。		

授業科目名	日本語４文法Ⅰ		
担当教員	大坪　美奈子	所属部局	国際教育推進センター (非)
単　位	２	学期 曜日・時限	後期 月曜　１限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
授業のねらい	一年を通じて文法Ⅰと文法Ⅱを履修することで、中級レベル文法の理解を深め、正しく使えるようにします。		
具体的な 到達目標	気持ちを表す助詞や、硬い文章、丁寧な表現などを理解し、適切に使えるようになることを目指します。		
授業の内容	日本語４文法Ⅱと同じ教科書を使いますが、この授業では１課から６課までと、１７課から２０課までをカバーします。 【授業日程】 １．ガイダンス・チェックテスト ２．いろいろな働きをする助詞 ３．話題の取り立て ４．助詞の働きをする言葉１ ５．助詞の働きをする言葉１、２ ６．助詞の働きをする言葉２ ７．助詞の働きをする言葉３ ８．中間試験 ９．名詞化の方法① 10．名詞化の方法②／語彙を広げる① 11．語彙を広げる②む／硬い文章① 12．硬い文章②／ていねいな言い方① 13．ていねいな言い方② 14．会話・文章のまとまり① 15．会話・文章のまとまり② 16．期末試験 【学生がより深く学べるための工夫】 習った文法を使って、その場で実際に例文を作ってみる時間を設けます。		
時間外学習	宿題・復習など毎週２時間程度の時間外学習が必要です。		
教科書	「中級日本語文法要点整理ポイント 20」スリーエーネットワーク社		
参考書	日本語辞書　日本語文法辞典		
成績評価の方法 及び評価割合	授業への取組み・態度、宿題(30%)、中間試験 (30%)、期末試験(40%) 出席率が 70%を割った場合は、期末テストを受ける資格がありません。		
備考・注意事項	この授業は日本語中級レベルの学習者で、プレイスメントテストでレベル４と判定された人が対象です。少なくとも漢字 500 字以上の知識が必要です。 授業は日本語でおこないます。		

授業科目名	日本語４読解Ⅰ		
担当教員	金森　由美	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	後期 金曜　１限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟３階３ - ６番　　097-554-7667　　kanamori@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	新聞を読む習慣を身に付け、日本社会や世界の諸問題への関心を高める。様々な記事を使って、データの読み取りや内容要約の練習をし、それぞれの問題に関する基礎的な知識を獲得すると同時に日本語能力を伸ばす。		
具体的な 到達目標	１．新聞の構成を知り、扱われている話題に関して基本的な知識と語彙を学ぶ ２．速読によって必要な情報を得られるようになる ３．辞書を使いながら新聞を読み、内容を要約することができる		
授業の内容	１．授業の概要 ２．新聞に関する基礎知識：全国紙と地方紙 ３．新聞の構成：複数の新聞の朝刊第一面の比較 ４．内容予測：見出しを手掛かりとして内容を予測しリードを読んで確認する ５．データを読む：グラフや表、図などを参考にしながら記事の内容を理解する ６．情報の読み取り：キーワードを探して必要な情報を読み取る ７．読者の意見：投書を読む ８．日常生活に関する記事 ９．教育に関する記事 10. 文化に関する記事 11. 国際社会に関する記事 12. 科学に関する記事 13. 経済に関する記事 14. 政治や法律に関する記事 15. 社説やコラム 【学生がより深く学ぶための工夫】 授業のテーマに沿った新聞記事の要約を課題としている。つまり、授業で扱ったものとは異なる記事を自分で探して読み、まとめなければならない。		
時間外学習	原則として、毎週課題を提出する。 図書館で新聞を読み、興味を持った記事の内容を毎週報告する。		
教科書	教材配布		
参考書	『留学生のためのジャーナリズムの日本語 -新聞・雑誌で学ぶ重要語彙と表現-』 『構成・特徴・分野から学ぶ　新聞の読解』 『ニュースで増やす　上級への語彙・表現』		
成績評価の方法 及び評価割合	試験(80%)、毎週提出される新聞の要約の課題（20%）		
備考・注意事項	このコースを受講できるかどうかは、プレイスメントテストの結果による。詳しくは、国際教育推進センター掲示板を見ること。 出席率が７０％を割る場合は、期末テストを受ける資格はない。 このコースは中級レベルの日本語学習者を対象とし、漢字 500 字、語彙 3000 語程度の知識があることを前提としている。		

授業科目名	日本語４作文Ⅰ		
担当教員	金森　由美	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	後期 木曜　２限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟３階３ - ６番　　097-554-7667　　kanamori@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	大学生活で必要とされる作文技術を向上させ、大学生らしいレポートやメールが書けるようになることは留学生にとって不可欠である。特に留学生が日本語の文章を書くときに間違えやすい文法や表現に重点を置き、正しい文を作る基本的な練習から始めてまとまった文章へと段階的に進んでいくことが重要である。		
具体的な 到達目標	１．自分のことについて説明することができる。 ２．状況に合ったメールの書き方を習得する。 ３．800 字程度のレポートが書けるようになる。		
授業の内容	１．授業の概要 ２．履歴書の書き方：自己 PR ３．ポスター作成：故郷紹介 ４．メールの書き方①：形式的なメール、基本的表現 ５．メールの書き方②：状況に応じたメール ６．助言：大分での留学生活 ７．説明：慣用句の由来や意味 ８．要約：短い文章を読んでまとめる ９．出来事を伝える：新聞記事を書いてみる 10．文体の違い：話し言葉と書き言葉 11．発表：データを利用した発表原稿を作る 12．意見：感想と意見を区別し、立場や根拠を明確にして主張する 13．文章の構成：段落 14．論理的なつながり：接続詞と指示詞 15．問題提起：現代社会の問題について 【学生がより深く学ぶための工夫】 学習したその日から使えるような実用的な表現を多く学ばせ、場面や条件を設定して、それに合った文章を毎週書いて提出させる。課題は添削して返す。		
時間外学習	原則として、毎週課題を提出する		
教科書	教材配布		
参考書	『留学生のための　ここが大切文章表現のルール』 『大学で学ぶための日本語ライティング』 『小論文への１２のステップ』		
成績評価の方法 及び評価割合	試験(80%)、毎週提出された課題（20%）		
備考・注意事項	このコースを受講できるかどうかは、プレイスメントテストの結果による。詳しくは、国際教育推進センター掲示板を見ること。 出席率が７０%を割る場合は、期末テストを受ける資格はない。 このコースは中級レベルの日本語学習者を対象とし、漢字 500 字、語彙 3000 語程度の知識があることを前提としている。		

授業科目名	日本語４応用Ⅰ		
担当教員	大坪　美奈子	所属部局	国際教育推進センター (非)
単　位	２	学期 曜日・時限	後期 火曜　２限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
授業のねらい	この授業は中級レベル日本語学習で習得した文法、語彙、そして会話などの知識や能力を実践的な文脈に応用させることを目的としている。また様々なトピックについて日本語で議論や分析を行うことでそのテーマの理解を深めることを目指す。		
具体的な 到達目標	１．日本語でディスカッションを行えるようになること。 ２．日本語で自己表現をスムーズに行えるようになること。 ３．日本文化についての理解を深めること。		
授業の内容	１．オリエンテーション ２．メディアから学ぶ日本語① ３．メディアから学ぶ日本語② ４．メディアから学ぶ日本語③ ５．メディアから学ぶ日本語④ ６．メディアから学ぶ日本語⑤ ７．メディアから学ぶ日本語⑥ ８．メディアから学ぶ日本語⑦ ９．メディアから学ぶ日本語⑧ 10．メディアから学ぶ日本語⑨ 11．プロジェクトの企画 12．プロジェクトの企画・準備 13．プロジェクトの企画・準備 14．プロジェクトの準備 15．プロジェクト発表 16．期末試験 【学生がより深く学べるための工夫】 毎回の授業で学習者同士の簡単なディスカッションをおこないます。		
時間外学習	復習・課題など、毎週２時間程度の学習が必要です。		
教科書	教材配布		
参考書	日本語辞書、慣用表現辞典、等		
成績評価の方法 及び評価割合	授業での積極的な討議参加（20%)、プロジェクト（20%)、 その他課題（30%)、試験（30%)、		
備考・注意事項	この授業を履修する学生は、日本語中級レベル（レベル４程度）の他の授業を履修済みであること、または同時に履修することを勧めます。 出席率が 70%に満たない場合は、期末試験を受ける資格はありません。		

授業科目名	日本語５読解・作文Ⅰ		
担当教員	坂井　美恵子	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	（後期）木曜　１限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟３階７番　　097-554-7516　　msakai@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	1. 上級レベルの学習者を対象に、レポートや学術論文などを読むために必要な文法知識や文章構造に関する知識を学びながら、論文を独力で読めるようになるための基礎的読解力を養成する。 2. 短編小説を読み、現代の日本文学に親しむことと、論説文とは異なった分野の語彙や表現の習得を目指す。 3. 専門的な文章を書くために必要な作文の基礎知識も学ぶ。		
具体的な 到達目標	1. 1200字程度の短い論説文から、2000字程度の論説文へと段階的に進み、内容を理解するとともに、論文を読むために必要な文法知識や語彙、表現を増やす。 2. 文章の論理構造について学び、大意を把握したり、必要な情報を素早く読み取る。 3. 日本語で書かれた小説を読み、内容を説明できる。 4. 日本人のものの見方や考え方、日本文化に触れ、意見を述べることができる。 5. 段落の構成について学び、説明文が書ける。		
授業の内容	Ⅰ. 読解：各週、以下の文章の論理構造に注目し、現在の日本社会で問題となっている話題に関した論説文を読む。 1. 書き言葉の特徴 2. トピックとメインアイデア、助詞相当語 3. 中心文と支持文、指示表現 4. 引用、接続表現と予測 5. 論の方向を示す表現、事実と筆者の考え 6. 段落構成 7. 中間試験 Ⅱ. 作文：各週、以下の文章の組み立て方や表現を習得し、作文を書く。 8. 作文の基本と原稿用紙の使い方 9. 書き言葉の使い方 10. 課題の提示のしかた 11. 定義と分類のしかた Ⅲ. 小説：各週、現代の短編小説を読み、内容を理解し、言葉や表現について学ぶ。 12-15. 小説 【学生がより深く学べるための工夫】 作文はピアリーディングによるフィードバックを行い、学生同士で学び合いができるようにする。ピアと教師両者によるフィードバックを参考にして書き直し、再提出する。		
時間外学習	本文の予習・復習、作文等毎週 2 時間程度時間外学習を課す。		
教科書	『大学・大学院留学生の日本語３　論文読解編』アルク その他ハンドアウトを配布する。		
参考書	『大学・大学院留学生の日本語４　論文作成編』アルク		
成績評価の方法 及び評価割合	中間試験（30%）、期末試験（30%）、作文（15%）、宿題(15%)、クラス参加・態度など（10%）		
備考・注意事項	受講可能かどうかはプレイスメントテストの結果による。また、受講者は日本語能力試験Ｎ１程度の日本語能力が必要である。 出席率が 70%以下の場合は期末試験を受ける資格がなくなる。		

授業科目名	日本語５文法Ⅰ		
担当教員	金森　由美	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	後期 金曜　２限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟３階３０６番　　097-554-7667　　kanamori@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日常会話とは異なる大学の講義を理解するために必要とされる日本語能力を身に付けるため、中・上級表現文型と語彙の使い方や意味を正確に理解し、適切に運用する力をつける。		
具体的な 到達目標	１．与えられた選択肢の中から適切な表現を選ぶことができるようになる。 ２．類義表現の意味の違いを説明し使い分けができるようになる。 ３．日本語能力試験 N1 レベルの日本語文法と語彙を習得する。		
授業の内容	１．授業の概要 ２．動作の対象 ３．目的・手段・媒介 ４．起点・終点・限界・範囲 ５．時点・場面 ６．時間的同時性 ７．時間的前後関係 ８．進行・相関関係 ９．付帯・非付帯 10．限定・非限定・付加 11．比較・最上級・対比 12．判断の立場・評価の視点 13．基準・関連・対応 14．無関係・無視 15．例外・例示 【学生がより深く学ぶための工夫】 学習した文型を使って短文を作らせ、学生同士で添削できるように板書させる。誤用があれば、何が問題か、クラス全員で考えるよう促す。		
時間外学習	配布されたプリントを予習しておく。		
教科書	教材配布		
参考書	『どんな時どう使う　日本語表現文型辞典』 『くらべてわかる　日本語表現文型辞典』 『生きた例文で学ぶ　日本語表現文型辞典』		
成績評価の方法 及び評価割合	試験(90%)、予習した内容に基づく授業貢献（10%）		
備考・注意事項	このコースを受講できるかどうかは、プレイスメントテストの結果による。詳しくは、国際教育推進センター掲示板を見ること。 出席率が７０%を割る場合は、期末テストを受ける資格はない。 この授業は上級レベルの学習者を対象とし、日本語能力試験Ｎ２と同等レベルの文法の知識があることを前提としている。		

授業科目名	日本語特講５（レポート作成）		
担当教員	金森　由美	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	後期 木曜　３限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟３階３ - ６番　　097-554-7667　　kanamori@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	この授業の目標は大学生らしいレポートが書けるようになることである。そのために、まず大学の授業で課されるレポートとエッセイや感想文との違いを知り、さらにもっと硬い文体を使う論文の特徴を学ぶ。また、テーマの選び方や文章の構成にも目を向け、興味深くて説得力のあるレポートについて考える。		
具体的な 到達目標	１．話し言葉と書き言葉の文体的な違いを認識する。 ２．レポートを書くのに必要な表現文型を習得する。 ３．序論・本論・結論という構成を踏まえた５０００字以上のレポートを書く。		
授業の内容	１．文章の種類と構成：パラグラフ／アウトライン ２．誤用分析：間違いやすい表現 ３．レポートの文体：敬体から常体へ ４．語彙：コロケーションとインターネットの活用方法 ５．紹介記事：主観と客観 ６．賛否型レポート：ブレーンストーミング／思考ツール ７．データに基づく説明：グラフの概略／数値／変化や推移 ８．序論：背景説明／問題提起 ９．本論：意見表示 10．結論：研究結果／今後の課題 11．研究計画書：課題／動機／目的／意義 12．発表原稿：ＰＰＴを使った発表 13．論理的な文章①：簡潔な表現／呼応 14．論理的な文章②：接続詞／指示詞 15．レポートの評価 【学生がより深く学ぶための工夫】 提出された課題について、最初は誤用や問題のある個所を指摘するにとどめ、学生自身に誤用分析および添削をさせてもう一度提出するよう促す。再提出された課題は添削しコメントを加えて返却する。		
時間外学習	毎月課題を与えるので、授業で学んだことを家で復習しレポートを作成すること。		
教科書	教材配布		
参考書	『Good Writing へのパスポート』 『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』 『論文ワークブック』		
成績評価の方法 及び評価割合	試験（60%）、提出されたレポート(40%)		
備考・注意事項	このコースを受講できるかどうかは、プレイスメントテストの結果による。詳しくは、国際教育推進センター掲示板を見ること。 出席率が７０%を割る場合は、期末テストを受ける資格はない。 超級レベルの日本語学習者を対象に、大学の演習で必要とされるレポートを書く技術の向上を目指す。受講者数は 20 名程度とする。		

授業科目名	日本語特講 12：ポピュラー・カルチャー (2)		
担当教員	長池一美	所属部局	国際教育推進センター
単　位	2	学期・曜日・時限	後期：金 3 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 3-4 番 097-554-7953　　nagaike@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	マンガ、アニメなどいわゆる日本のポピュラー･カルチャーに触れることによって、日本へ興味を持った留学生は多い。「ポピュラー」という単語はしばしば「Low=ロウ」(質の低い)というように解釈されたが、ポピュラー・カルチャーは社会･文化を分析する上で欠かすことのできない研究分野として注目されてきている。このコースでは日本のポピュラー･カルチャー（特にマンガ）がどのように現代日本社会の特徴と問題を扱っているかについて考察する。そのうえで、日本社会、ならびに海外における日本のポピュラー･カルチャーの受容について議論する。また、アカデミックな日本語の習得（論文の書き方、プレゼンテーションの方法など）も授業開講の目的の一つとする。		
具体的な 到達目標	1. ポピュラー・カルチャーを通して日本社会の在り方に精通する。 2. アカデミックな日本語でレポートを作成し､プレゼンテーションが行えるようにする。		
授業の内容	1)　コースの概要について、ポピュラー・カルチャーとは？ 2)　ソフトパワー研究　　3)-5)マンガの「描き方」分析 6)　少年マンガ研究　　7) 少女マンガ研究 8)　レディース・コミックス研究　　9) BL 研究 10) マンガとデータベース消費論　　11) マンガと規制問題 12) マンガと人種問題　　13) ゆりマンガ研究 14) マンガとグローバライゼーション 15) 復習 【学生がより深く学べるための工夫】 この授業はレクチャー､（グループ）ディスカッション、プロジェクト準備・発表を中心として構成される。		
時間外学習	指定された文献を事前に熟読し、主題や論点について、要約を行っておくこと。課題や自主研究に週 4 時間取り組む必要がある。		
教科書	特に指定しない。		
参考書	第一回授業で配布。		
成績評価の方法 及び評価割合	授業への積極的な参加　20% プロジェクト　30% 期末試験　50%		

授業科目名	日本研究Ⅰ		
担当教員	南里 敬三、CIER 教員	所属部局	国際教育推進センター
単　位	2	学期 曜日・時限	後期 金曜 ５限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 5 番　097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	このコースは、日本語日本文化研修生を対象としており、（日本語で）論文を書くにあたっての下準備を行うことにある。		
具体的な 到達目標	論文を作成する上にあって最も重要な仮説の設定と仮説の検証に当たってどのようなデータを収集すべきなのかという2 点において明確な計画を立てることにある。		
授業の内容	第1週 － 第5週：研究分野の絞り込み。 【学生がより深く学べるための工夫】 日研生が本当に研究したい分野とは何なのか、ディスカッションしながら絞り込んでいく。日研生自身が選んだトピックは最初は漠然としていているので、そのトピックを選んでどのようなことが論文に書けるのか、データは実際に集まるのか、等をテーマに論文書きのプロセスをシミュレーションしながらディスカッションをしていく。 第6週 － 第12週：論文の構造も視野に入れた研究テーマの絞り込み。 【学生がより深く学べるための工夫】 研究分野が絞りこめてきたら今度は研究テーマを明確化していく。そのプロセスで一番大切なのは仮説の設定である。論文書きで最も大変なのはこの仮説の設定であるが、これも、シミュレーションをしながらおこなう。仮説を立ては少量のデータを集め分析を行い、仮説が実際に証明されそうであるかを考えてみる。そうやって仮説の修正とデータ収集の修正を行いながら、どんな仮説を立ててどのようなデータを集めれば学問的貢献が行えるのかを徹底してディスカッションする。 第13 週 － 第15 週：アウトライン作成。 【学生がより深く学べるための工夫】 これまでのディスカッションを踏まえ、論文のアウトラインを作成する。（これに基づいて次の学期で論文を書いていく。）		
時間外学習	3 時間の予習と 1 時間の復習が必要である。		
教科書	なし。		
参考書	学生の研究分野・テーマごとに必要な参考文献リストを配布する。		
成績評価の方法 及び評価割合	論文のアウトラインの提出（50%）、アウトラインの口頭説明（50%）。		
備考・注意事項			

２．大分事情科目　　（留学生・日本人学生向け科目）
（使用言語：日本語／日本語と英語／英語）

授業科目名	狂言で大分を学ぶ		
担当教員	南里敬三　金森由美	所属部局	国際教育推進センター
単　位	2	学期 曜日・時限	前期　火曜　４限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 5 番　097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp 教養教育棟 3 階 6 番　097-554-7667 kanamori@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日本の伝統芸能である狂言の基本をマスターし、大分地域を題材とするシナリオを作成しそれを実際に能の舞台で演じることで、伝統的日本と現代の大分を深く理解できる人材を育てる。		
具体的な 到達目標	狂言の歴史が語れるようになる。狂言の発声・動作の基礎を理解し、実際に能楽堂の舞台で演じることで日本の伝統芸能を体験する。大分地域の特定の文化・社会的特徴に精通し、リサーチに基づいた狂言のシナリオが書けるようになる。		
授業の内容	第1週：オリエンテーションと狂言の歴史・プロット 第2-5週：小舞・謡 第4-6週：シナリオ作成 第7-9週：シナリオ修正 第9週：狂言ワークショップ（6月14日、能楽堂） 第10-14週：シナリオ修正・演技指導 第14週：演技審査（7月14日、能楽堂） 【学生がより深く学べるための工夫】 座学で知識を得るだけではなく、プロの狂言師の指導を受けつつ実演するという機会を与える。オリジナルのシナリオ作成のために大分に関する情報を積極的に探索させる。		
時間外学習	狂言の発声・基本動作・演技については週２～４時間の練習時間が必要。シナリオ作成のための取材、及び、シナリオ作成は週 3 時間程度課外活動が必要。		
教科書	授業中にプリントを配布する。		
参考書	授業中に参考図書のリストを配布する。		
成績評価の方法 及び評価割合	レポート１：狂言とは（10%）、レポート２:発声・小舞について（10%）、レポート３：現代社会で狂言を演じる意義（10%）、パフォーマンス（3%×15分の授業;第14週の授業は授業２回分）、最終演技（25%）、ワークショップ参加は特別に5%加算。		
備考・注意事項	70%以上の出席がない場合は不合格とし第14週の演技審査は受けられない。正規生の参加は10名を上限とし、受講者全員の制限を30名とする。授業でのパフォーマンスを毎回3%とし、最終演技の日は二回分の授業を行うので6%を配分する。		

授業科目名	大分事情		
担当教員	金森　由美	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	前期 水曜　２限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟３階３ - ６番　　097-554-7667　　kanamori@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	自分たちが暮らしている大分について文献・新聞・雑誌・テレビ等から情報を集め、大分の特色を学び、より積極的に大分に関わっていこうとする姿勢を培う。さらに２回の研修旅行を通じて、現在の大分を実際に目にし、大分の魅力を発信していく。		
具体的な 到達目標	１．大分について基本的な知識を獲得し、簡単な解説ができる。 ２．研修旅行で訪れた土地の紹介をＰＰＴで作成する。 ３．歴史、地理、文化、経済などの観点から大分を活性化させるための提言をする。		
授業の内容	１．大分の地理；日本の都道府県／大分の主要都市 ２．大分の誕生；豊後国風土記／豊前と豊後／廃藩置県 ３．宇佐神宮；八幡神／神仏習合／神託事件 ４．国東半島；六郷満山／世界農業遺産 ５．大分の方言；吉四六さん／夕方なしか／文法的特徴 ６．研修旅行① ７．大分の魅力；大分紹介のＰＰＴを作成し発表する ８．大分の伝説；熊野磨崖仏／姫島／青の洞門 ９．大友宗麟；戦国時代／南蛮貿易／キリシタン大名 10．福澤諭吉；学問のすすめ／慶應義塾／脱亜論 11．物語の舞台：映画のロケ地 12．一村一品運動；平松知事／三つの理念／アジアへの影響 13．温泉と観光；別府の歴史／由布院の挑戦 14．研修旅行② 15．大分への提言；問題点を発見し解決策を提案する 【学生がより深く学ぶための工夫】 グループを作り、二つの発表（大分紹介と大分への提言）をさせる。		
時間外学習	大分の歴史や方言や産業などについてレポートを書く。 研修旅行の事前調査と旅行先での体験に基づきＰＰＴを作成する。 大分の活性化を促す提言に関する発表の準備をする。		
教科書	教材配布		
参考書	『大分学・大分楽／大分学・大分楽Ⅱ／大分学・大分楽Ⅲ／大分学／大分学Ⅱ』 『大分県謎解き散歩』 『親子で読む大分偉人伝』		
成績評価の方法 及び評価割合	試験（60%）、発表（20%）、課題(20%) 課題はトピックに関連したもの４つである。		
備考・注意事項	出席率が 70%を割る場合は、期末テストを受ける資格はない。 学期中に２回、土曜日に研修旅行があるので参加すること。 研修旅行の行き先は授業で伝える。受講者数は 40 名までとする。		

授業科目名	ソーシャルネットワークと大分からの発信Ⅱ		
担当教員	南里 敬三	所属部局	国際教育推進センター
単　位	2	学期 曜日・時限	後期 火曜 ３限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟 3 階 5 番　097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	この科目は大分のストリートの魅力をブログとホームページを通じて発信し、インターネット上における効果的な情報発信力を身に着けることを目的とするが、それと同時にグループワークができる人材養成も念頭においた科目でもある。		
具体的な 到達目標	具体的なコースの目的は次の通り。（１）ネチケットを学び、守る。（２）ブログ記事・ホームページ記事の特徴を知る。（３）柴北川流域の特徴を知る。（４）里山と過疎の関係を知る。授業はグループワークを基本として進めていく。		
授業の内容	第1回：オリエンテーション、仲間を見つける、授業まとめ１ 第2回：インターネットの基礎知識１、ブログの立て方、授業まとめ２ 第3回：インターネットの基礎知識２、授業まとめ３ 第4回：過疎地ってどんなところ？ 第5回：研修旅行(豊後大野市長谷地区を予定；授業2回分) 第6回：ブログ発表。 第7回：里山を知る、授業まとめ４ 第8回：Wix でホームページを始めてみる。授業のまとめ５ 第9回：取材準備。 第10回：研修旅行（由布院を予定、授業2回分）。 第11回：ホームページを編集する。 第12回：過疎問題まとめ。 第13回：ホームページ発表 【学生がより深く学べるための工夫】 授業はグループディスカッションの形をとる。各グループには議長と書記がおり、この両者がグループのまとめ役となり、グループ全員が授業内容を理解しているかを確認する（授業の最後の10 分ないし15 分をまとめタイムとする。）授業内容のまとめは翌週に宿題として提出。各グループは自分たちが調査したとことがらをブログ及びホームページで発表。この発表を通して調査した事柄をクラス全体で共有する。		
時間外学習	予習1 時間、復習2 時間が必要。参考文献は授業で使用しているブログに掲載する。研修旅行1回は2回分の授業に相当。		
教科書	プリントを授業で配布する。		
参考書	ブログに掲載する。		
成績評価の方法 及び評価割合	授業のまとめ（10 点）、フィールドワーク（研修旅行）（第一回10点、第二回15点）、ブログ作成・発表（20点）、ホームページ作成・発表（20点）。最終報告書（25 点）。ブログとホームページ作成はグループワーク。70%以上の出席がない場合は不合格とし、フィールドワークと最終報告書の点数を合計点から除外する。無断欠席一回につき２点減点。		
備考・注意事項	この科目は本学正規生が留学生と一緒に学ぶ授業である。本学正規生の上限は18名とする。受講学生の上限は 58 名とする。**グループディスカッションへの参加は必須**。		

授　　業　　概　　要

授業科目名	サステナビリティ大分		
担当教員	ブルカート香織	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	後期　　水曜３限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟　　３階　３番　　097-541-6171　　kburkart@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	このクラスの主な目的は、主に自然界や環境に関連する身近なテーマを通じて世界の持続可能な開発問題を考える。持続可能な未来を創造するために不可欠な知識を４つのテーマから積み上げ、学生自身の価値観をと向き合う。グローカルな視点で、持続可能な発展を支援する姿勢を育み、自ら考え行動する Critical Thinking Skills を培う。		
具体的な 到達目標	• より深い知識を構築するための独自の調査を行う。 • 地方都市が抱える問題がいかに国際的問題でありうるかを知る。 • 異なる文化とその価値感に触れ、自己の考えを振り返ってまとめる。		
授業の内容	第１週: オリエンテーション（プロジェクトやクラスアクティビティの説明） 第２週: 自然界のサステナビリティ～発展と環境破壊１ 第３週: 自然界のサステナビリティ～発展と環境破壊２ 第４週: 天ぷらうどんと世界の関係 第５週: ブルーベリーと地球温暖化 第６週: 特別講義　大分市環境対策課 第７週: グループ　ディスカッション　中間レポート 第８週: ポテトチップスと象の運命１ 第９週: ポテトチップスと象の運命２ 第 10 週: 牛肉１ 第 11 週: 牛肉２ 第 12 週: 特別講義　ゲストスピーカー 第 13 週: 研修・見学 第 14 週: 期末プレゼンテーション 第 15 週: ディスカッション（期末プレゼンテーション予備） 【学生がより深く学べるための工夫】 学生は、講義時間中外で計画されたラーニングアクティビティ（ロールプレイ、オンラインディスカッション、クイズゲーム、時事ニュース）を通して critical thinking skills を実践する。学外への研修・見学へいく場合、スケジュールが前後する場合がある。期末試験は実施せず、プレゼンテーションとレポートのみ。		
時間外学習	テーマごとにオンラインディスカッションを設ける。インタビュー、フィールドワークや研修・見学に参加するなどの時間外学習も重要な一部とみなす。		
教科書	教材・資料は担当教員が配布する。		
参考書	参考資料は随時クラスのウェブサイト Moodle に掲載する。		
成績評価の方法 及び評価割合	中間レポート　30% オンラインディスカッション　20% 期末プレゼンテーション　20% 期末レポート　30%		
備考・注意事項	このクラスは本学正規生徒と留学生とが一緒に学ぶための融合クラスである。出席率７０%以下（講義５回欠席）の場合は不可となる。		

３．グローバル科目　　（留学生・日本人学生向け科目）
（使用言語：日本語／英語）

授　　業　　概　　要

授業科目名	ビジネスジャパニーズ演習 3		
担当教員	戸坂弥寿美	所属部局	国際教育推進センター（非）
単　位	2	学期 曜日・時限	前期 月曜　3 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	tosakayasumi@gmail.com		
授業のねらい	このコースは、江漢大学「3+1」プログラムの留学生を対象とし、主に経済に関するニュースを聞き取り、新聞記事を読み解く能力の習得を目指すものである。さらに、それらの情報を用いて意見を述べる能力の習得も目指す。		
具体的な 到達目標	・経済に関するニュース、新聞記事の内容を理解することができるようになる。 ・ニュース、新聞記事の内容を整理し、要点をまとめることができるようになる。 ・ニュース、新聞記事の内容を正確に分かりやすく伝え、さらに議論することができるようになる。		
授業の内容	1.コースの概要説明 2.情報選択の重要性 3.新聞記事を読む 4.新聞記事の要約 5.新聞記事の批評 6.ニュースを聞く 7.ニュースの要約 8.ニュースの批評 9-13.チームで情報を選び、意見を述べる 14.発表 15.まとめ、振り返り 【学生がより深く学ぶための工夫】 インターネットニュースなどから適切な情報を選択し、調査する。 チームによるディスカッション及びディベートの実施。 発表を録画し、ルーブリックを用いた自己評価、フィードバックを行う。		
時間外学習	日本の様々な社会・経済問題に関心を持ち、ニュース、新聞等に触れる習慣を身に付けること。		
教科書	経済問題を扱ったニュースなどの動画、新聞記事、ハンドアウト		
参考書	日本語辞書など（その他授業で提示）		
成績評価の方法 及び評価割合	授業態度・宿題（15%）、聴解（10%）、読解作文（15%）発表（15%）、期末試験（45%）		
備考・注意事項	本コースは上記以外の留学生も受講可能とする。		

授　　業　　概　　要

授業科目名	ビジネスジャパニーズ演習 4		
担当教員	戸坂弥寿美	所属部局	国際教育推進センター（非）
単　位	2	学期 曜日・時限	前期 金曜　1 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	tosakayasumi@gmail.com		
授業のねらい	このコースは、江漢大学「3+1」プログラムの留学生を対象とし、企業分析を通して、ビジネス場面に必要な会話能力やライティング能力の習得を目指すものである。		
具体的な 到達目標	・企業について客観的に分析し、丁寧に伝えることができるようになる。 ・様々なリソースを用いて必要な情報を集め、まとめることができるようになる。 ・ビジネス場面におけるマナー、会話、ライティングスキルを身に付ける。		
授業の内容	1.コースの概要説明 2.3.産業・職種・企業について 4.調査対象（企業）の選択 5.チームによる企画書の作成 6.情報収集 7.敬語とマナー 8.ビジネスメールを書く 9.メール交渉 10.情報のまとめと報告書の作成 11.中間報告 12.発表の準備、発表の仕方 13.情報整理 14.プレゼンテーション 15.まとめ、振り返り 【学生がより深く学ぶための工夫】 チームによる企業調査、交渉、企業訪問とインタビューの実施。 チームでの報告書作成に加え、個人レポートも作成する。		
時間外学習	日本の社会や企業に関心を持ち、情報を集める。 また、改まった場面でのコミュニケーションスキルを身に付け、積極的に実践する。		
教科書	ハンドアウト		
参考書	日本語辞書など（その他授業で提示）		
成績評価の方法 及び評価割合	授業態度（10%）、課題（20%）、プレゼンテーション（25%）、期末試験（45%）		
備考・注意事項	本コースは上記以外の留学生も受講可能とする。		

授業科目名	日本語文法分析		
担当教員	金森　由美	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	前期 火曜　２限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟３階３ - ６番　　097-554-7667　　kanamori@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日本語に限らず言語一般の特徴を観察し、分析する力を養う。そして日常接している日本語を様々な観点から眺め、自分で問いを立て、検討する。そのような作業を通じて、日本語に対する表面的ではない深い理解を得る。		
具体的な 到達目標	１．認知言語学の基本的な考え方を学び、単語の意味分析に応用する。 ２．日本語と他の言語を比べ、共通点と相違点を説明する。 ３．外国語としての日本語を効果的に教える方法を提案する。		
授業の内容	１．導入：授業の概要とグループ活動 ２．辞書の話：国語辞典、類語辞典、舟を編む ３．言葉と思考：言語は世界を切り分ける ４．認知言語学入門①：経験とスキーマ ５．認知言語学入門②：意味とメタファー ６．日本語の語彙①：擬音語擬態語 ７．日本語の語彙②：コロケーション ８．文法体系①：基本文型と助詞 ９．文法体系②：述語の構成と機能 10. 対照研究①：他の言語と日本語の類似点と相違点 11. 対照研究②：日本語学習者の誤用分析 12. 言語と文化：文学や Jpop における日本語 13. コミュニケーション：言語と非言語 14. 日本語教授法：教材分析と開発 15. 模擬授業：もしも私が日本語教師だったら 【学生がより深く学ぶための工夫】 日本人学生と留学生でグループを作らせ、日本語を様々な観点から分析させる。その結果を発表させたり、留学生に日本語を教えるという模擬授業を実施したりする。		
時間外学習	新聞記事や小説等から日本語の例文を収集する。 アンケートやインタビューを行って現在の日本語の使い方を調査する。 グループで発表や模擬授業の準備をする。		
教科書	教材配布		
参考書	『日本語教師のための応用認知言語学』 『新ここからはじまる日本語学』 『日本語教育のスタートライン』		
成績評価の方法 及び評価割合	試験(80%)、模擬授業(20%)		
備考・注意事項	出席率が７０％を割る場合は、期末テストを受ける資格はない。 留学生は日本語能力試験 N1 と同等レベルの文法の知識があることを前提としている。		

授　　業　　概　　要

授業科目名	サステナビリティ大分Ⅱ		
担当教員	ブルカート香織	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	前期　　水曜３限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟　　３階　３番　　097-541-6171　　kburkart@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	このクラスの主な目的は、主に人間社会に関連する身近なテーマを通じて、世界や大分の持続可能な人間社会の発展を考える。持続可能な未来を創造するために不可欠な知識を４つのテーマから積み上げ、学生自身の価値観をと向き合う。グローカルな視点で、持続可能な発展を支援する姿勢を育み、自ら考え行動する Critical Thinking Skills を培う。		
具体的な 到達目標	• より深い知識を構築するための独自の調査を行う。 • 地方都市が抱える問題がいかに国際的問題でありうるかを知る。 • 異なる文化とその価値感に触れ、自己の考えを振り返ってまとめる。		
授業の内容	第１週: オリエンテーション（プロジェクトやクラスアクティビティの説明） 第２週: １００円ショップ１ 第３週: １００円ショップ２ 第４週: コンビニ１ 第４週: コンビニ２ 第６週: 特別講義　ゲストスピーカー 第７週: 大分環境展　見学 第８週: グループ　ディスカッション　中間レポート 第９週: ケータイが引き起こす戦争１ 第 10 週: ケータイが引き起こす戦争２ 第 11 週: 貧困１ 第 12 週: 貧困２ 第 13 週: 特別講義・研修・見学 第 14 週: 期末プレゼンテーション 第 15 週:ディスカッション（期末プレゼンテーション予備） 【学生がより深く学べるための工夫】 学生は、講義時間中外で計画されたラーニングアクティビティ（ロールプレイ、オンラインディスカッション、クイズゲーム、時事ニュース）を通して critical thinking skills を実践する。学外への研修・見学へいく場合、スケジュールが前後する場合がある。期末試験は実施せず、プレゼンテーションとレポートのみ。		
時間外学習	テーマごとにオンラインディスカッションを設ける。インタビュー、フィールドワークや研修・見学に参加するなどの時間外学習も重要な一部とみなす。		
教科書	教材・資料は担当教員が配布する。		
参考書	参考資料は随時クラスのウェブサイト Moodole に掲載する。		
成績評価の方法 及び評価割合	中間レポート　30% オンラインディスカッション　20% 期末プレゼンテーション　20% 期末レポート　30%		
備考・注意事項	このクラスは本学正規生徒と留学生とが一緒に学ぶための融合クラスである。出席率７０%以下（講義４回欠席）の場合は不可となる。		

授業科目名	表現技術		
担当教員	金森　由美	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	後期 火曜　４限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟３階３ - ６番　　097-554-7667　　kanamori@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	この授業の目標は、積極的な聞き方の基礎を築き、伝えたいことを的確に伝えられるように工夫したり内容をよく吟味したりして効果的な発表ができるようになることである。また留学生と日本人学生がグループを作って発表の準備をすることで、共に問題に取り組み率直に意見を交換する機会を提供する。		
具体的な 到達目標	１．目的に応じてパワーポイント等を活用し適切なスピーチができる。 ２．異文化を背景とする人と協力し合い、まとまった発表をすることができる。 ３．発表内容や発表方法について建設的な意見を述べることができる。		
授業の内容	１．授業の概要 ２．口頭発表の基本的技術 ３．説明や紹介のスピーチ ４．問題提起のスピーチ ５．パワーポイントの作成とプレゼンテーションの基本 ６．プレゼンテーション① ７．プレゼンテーション② ８．プレゼンテーション③ ９．パネルディスカッションの基本 １０．パネルディスカッション① １１．パネルディスカッション② １２．パネルディスカッション③ １３．グループ別自由課題の準備 １４．自由課題発表 １５．まとめ 【学生がより深く学ぶための工夫】 発表の後には必ず何か質問や意見を出すよう促す。またハンドアウトの作り方やパワーポイントの使い方等を学生同士で評価し学び合うための振り返りの時間を設け、良かった点と改善すべき点を話し合わせる。		
時間外学習	スピーチやプレゼンテーションでは、発表原稿を必ず準備すること。 討論では、トピックを早い段階で決めておき、資料を集めて分析し、討論の際にはハンドアウトを作成すること。		
教科書	教材配布		
参考書	『口頭発表と討論の技術』 『論理的で正しい日本語を使うための技術とトレーニング』 『英語のプレゼンテーション〈スキルアップ術〉』		
成績評価の方法 及び評価割合	スピーチ（20%）プレゼンテーション（20%）パネルディスカッション（20%）自由課題（20%）発表原稿やハンドアウト（20%)		
備考・注意事項	グループでの発表においては、準備のための時間を十分確保すること。 積極的に課題に取り組む学生を対象とし、より多くの発表時間を確保するため、受講者数は 30 名を上限とする。		

授業科目名	日本語学Ⅰ		
担当教員	坂井　美恵子	所属部局	国際教育推進センター
単　位	２	学期 曜日・時限	（後期）木曜　２限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教養教育棟３階７番　　097-554-7516　　msakai@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	日本語の音声、語彙、文法、方言などの各分野について、基本的なしくみを理解し、自ら分析できる力を養い、日本語に対する知識と興味を深めることを目的とする。日本語超級レベルの留学生と、日本語を客観的に学びたい日本人学生を対象とした授業である。		
具体的な 到達目標	１．日本語の音声、語彙、文法、方言などについて、詳しく観察を進め、規則や特徴について考えられるようになる。 ２．興味のある分野について、自ら調査し、結果について考察できるようになる。		
授業の内容	１　概略　　「日本語学」とはどんなもの？ ２　世界の言語と日本語　日本語は特殊な言語？ ３　文法　「ラ抜き言葉」は間違った日本語？ ４　音声　　なぜ「な゛」はないか。 ５　音声　　「大型」は「オオガタ」。では「大風」は「オオガゼ」じゃない？ ６　アクセント　「このハシを渡るべからず」 ７　語彙　「マツジュン」はなぜ「マツジュ」と呼ばれない？ ８　方言　「一回生」って何？ ９　中間試験 10　語彙　「哲学」と「ナイター」の共通点？ 11　コーパスと言語研究 12　位相　「わしは博士じゃ。」 13　文法　「あっ、電車が来た。」の「来た」は過去？ 14　グループ発表 15　グループ発表とまとめ 16　レポート提出 【学生がより深く学べるための工夫】 ・各テーマに関連した読み物を配布し、内容についてグループで教え合い、意見交換を行うようにする。 ・各テーマに関連した学習者自身の見解や体験について書く宿題を課し、グループでシェアし、優れたものは全体に紹介する。 ・学習者自身で事例を集め、言語規則や特徴を見つけられるような課題を扱う。		
時間外学習	・授業では留学生と日本人学生とのグループディスカッションを行うため、予習と毎週出される課題に取り組むことが前提となる。 ・興味のある分野について、自ら調査した結果をレポートにまとめ、発表する。		
教科書	ハンドアウトを配布する。		
参考書	庵功雄（2012）『新しい日本語学入門ことばのしくみを考える』スリーエーネットワーク 黒田龍之介（2011）『ことばは変わる』白水社		
成績評価の方法 及び評価割合	中間試験（30%）、グループプロジェクト（20%）、レポート（20%）、 課題と発表（20%）、クラス参加、態度など（10%）		
備考・注意事項	日本語能力試験Ｎ１合格レベル以上の留学生と、日本人学生を対象とした授業である。日本語に興味があり、積極的に課題に取り組む学生が受講できる。受講者数は40名を上限とする。		

授　　業　　概　　要

授業科目名	ビジネスジャパニーズ演習 1		
担当教員	戸坂弥寿美	所属部局	国際教育推進センター（非）
単　位	2	学期 曜日・時限	後期 月曜　3 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	tosakayasumi@gmail.com		
授業のねらい	このコースは、江漢大学「3+1」プログラムの留学生を対象とし、主に経済に関する新聞記事を読み解く能力の習得を目指すものである。さらに、それらの情報を用いて意見を述べる能力の習得も目指す。		
具体的な 到達目標	・経済に関する新聞記事の内容を理解することができるようになる。 ・新聞記事の内容を整理し、要点をまとめることができるようになる。 ・新聞記事の内容を正確に分かりやすく伝え、情報と意見を区別しながら文章化することができるようになる。		
授業の内容	1.コースの概要説明 2-4.新聞記事を読む練習Ⅰ 　　内容理解と要約 5-6.新聞記事を読む練習Ⅱ 　　情報の整理、アウトラインの作成 7.情報検索 8.引用と参考文献 9-10.新聞記事を読む練習Ⅲ 　　意見を述べる 11-14.発表 15.まとめ、振り返り 【学生がより深く学ぶための工夫】 インターネットニュースなどから適切な情報を選択し、調査する。 チームによるディスカッション及びディベートの実施。 発表を録画し、ルーブリックを用いた自己評価、フィードバックを行う。		
時間外学習	日本の様々な社会・経済問題に関心を持ち、新聞等に触れる習慣を身に付けること。		
教科書	経済問題を扱った新聞記事、ハンドアウト		
参考書	日本語辞書など（その他授業で提示）		
成績評価の方法 及び評価割合	授業態度・宿題（15%）、聴解（10%）、読解作文（15%）発表（15%）、期末試験（45%）		
備考・注意事項	本コースは上記以外の留学生も受講可能とする。		

授　　業　　概　　要

授業科目名	ビジネスジャパニーズ演習 2		
担当教員	戸坂弥寿美	所属部局	国際教育推進センター（非）
単　位	2	学期 曜日・時限	後期 火曜　2 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	tosakayasumi@gmail.com		
授業のねらい	このコースは、江漢大学「3+1」プログラムの留学生を対象とし、自己分析を通して、ビジネス場面に必要な会話能力やライティング能力の習得を目指すものである。		
具体的な 到達目標	・自己について客観的に分析し、丁寧に伝えることができるようになる。 ・ビジネス場面における会話能力を中心に、ライティング能力、マナーなども身に付ける。 ・日本人の就職事情や仕事に関する考え方などを知る。		
授業の内容	1.コースの概要説明 2.日本の就職事情 3.日本人の仕事観 4-7.調査の準備 テーマの選択、調査方法（インタビュー/アンケート）、発表の仕方 8-9.発表の準備 10.発表 11.自己分析 12.履歴書・エントリーシートの作成 13.面接の準備、敬語の練習 14.模擬面接 15.まとめ、振り返り 【学生がより深く学ぶための工夫】 チームによる調査（アンケート或いはインタビュー）の実施。 模擬面接では相互評価を行う。 チームでの報告書作成に加え、個人レポートも作成する。		
時間外学習	自己の性格や歴史について振り返り、自己アピール力を身に付ける。また、日本の大学生の就職活動や仕事への考え方などにも関心を持つ。さらに、改まった場面でのコミュニケーションスキルを身に付け、積極的に実践する。		
教科書	ハンドアウト		
参考書	日本語辞書など（その他授業で提示）		
成績評価の方法 及び評価割合	授業態度（10%）、課題（20%）、プレゼンテーション（25%）、期末試験（45%）		
備考・注意事項	本コースは上記以外の留学生も受講可能とする。		

授　　業　　概　　要

授業科目名	非線形力学系理論		
担当教員	加藤　秀行	所属部局	理工学部
単　位	2	学期 曜日・時限	後学期 木曜　　4 限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	理工 9 号棟　3 階　3－ 1 番　　097-554-7799　h-kato@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	非線形力学系は振る舞いが興味深いが，システムの解析解を得ることは困難であり，多くの場合，数値計算により振る舞いを調べる．しかし，位相平面解析などの手法を用いることで，力学系が低次元であれば，系の幾何学的構造や定性的振る舞いをある程度知ることができる．本講義では，これら手法を学び，具体例に適用することで，非線形力学系に関する理解を深める．		
具体的な 到達目標	• 微分方程式や差分方程式による非線形力学系を記述できる • 力学系の分岐について説明できる • 位相平面解析により，力学系の定性的振る舞いを解析できる		
授業の内容	**1.～6.　1 次元空間上でのフロー** 導入，直線上のフロー，分岐，円周上のフローなど **7.～12.　2 次元空間上でのフロー** 線形系，位相平面，リミットサイクル，分岐の再訪など **13.～15. カオス** 【学生がより深く学べるための工夫】 • 講義中に数問の演習およびその解説を行うことにより，学生の理解深化と習熟度の確認を行う • 非線形力学系は，解析的に解を得ることが困難であることが多いため，適宜数値計算を用いる • コメント用紙を配布し，適宜学生とって難しいポイントを押さえる		
時間外学習	特に必要ない		
教科書	適宜資料を配布する		
参考書	非線形ダイナミクスとカオス		
成績評価の方法 及び評価割合	レポート（４０%），期末試験（６０%）		
備考・注意事項	出席率が 70%未満の場合，全てのレポートを提出しない場合は，期末試験を受ける資格がなくなる．本講義では，コンピュータを用いる．そのため，ノートパソコンを必携とする．また，数学，物理が得意であり，パソコンの操作に慣れていることが推奨される．		

授　　業　　概　　要

授業科目名	認知言語学から見た日英語対照分析		
担当教員	橋本　美喜男	所属部局	教育学部
単　位	２単位	学期 曜日・時限	後学期 木曜　４限
担当教員の 研究室 電話・e-mail	教育学部 B 棟　５階　　097-554-7578　　mikioha@oita-u.ac.jp		
授業のねらい	本コースのねらいは，認知言語学の観点から英語と日本を比較を通して，日本語とはどんな言語なのか，英語とはどんな言語なのかをより深く理解することである。		
具体的な 到達目標	例えば，英語と日本語では視点の取り方の違いにより，同じ状況に対して異なる表現方法をとる（「ここはどこですか」　Where am I?）ことを理解することで，英語の表現能力を高めることを目標の一つとする。		
授業の内容	１　２　コース全体の説明と認知言語学についての説明 ３　４　日英語の視点の取り方の違いについて ５　６　絶対時制と相対時制 ７　８　形式的相について　単純相，進行相，完了相 ９　10　語彙的相について 達成，活動，到達，状態 11　形式的相と語彙的相における日本語と英語の類似点と相異点について 12　英語の受動態について 13　日本語の受身文について 14　使役構文について 15　全体のまとめ 【学生がより深く学べるための工夫】 関連する課題をグループで授業中に考える時間を設ける。		
時間外学習			
教科書	プリントを配布する		
参考書	講義時に知らせる。		
成績評価の方法 及び評価割合	毎回の授業中の課題　40% 最終レポート　60%		
備考・注意事項			

1. Japanese Language and Japanese Studies Courses for International Students

Course Description

Course Title	Japanese I: Grammar		
Lecturer	BURKART, Kaori I.	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring: Tuesdays 1st Period Fall: Tuesdays 2nd Period
Lecturer's Office	Kyoyo BIdg., 3rd Floor Office No. 3 097-554-6171 kburkart@oita-u.ac.jp		
Aims	Acquisition of basic Japanese grammar and language functions.		
Learning Outcomes	At the end of the course, students will be able to 1. Read and write Kana characters including both Hiragana and Katakana; 2. Understand the basic Japanese grammar and language functions and use them when expressing requests, preferences, reasons, and wishes.		
Content	Week 1: Introduction to the course (Hiragana & basic greetings) Week 2: Lesson 1 (Vocabulary/Grammar) & Introduction to Katakana Week 3: Lesson 2 Week 4: Lesson 3 Week 5: Lesson 4 Week 6: Lesson 5 Week 7: Lesson 6 Week 8: Mid-term Exam Week 9: Lesson 7 Week 10: Lesson 8 Week 11: Lesson 9 Week 12: Lesson 10 Week 13: Lesson 11 Week 14: Lesson 12 Week 15: Semester Review (Specific modes of teaching to enhance student learning) Learner-centered hands-on activities are employed to enhance basic Japanese language acquisition. Satisfactory completion of weekly homework and quizzes are required. Weekly lecture notes and handouts are provided on the class website.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend at least 3 hours of self-study time each week. It is every student's responsibility to complete all homework and to prepare for quizzes and exams.		
Textbooks	Genki I: An Introduction to Elementary Japanese (2nd ed.). The Japan Times.		
References	A dictionary of basic Japanese grammar (The Japan Times) Japanese-English Learner's Dictionary (Kenkyusha)		
Assessment Criteria	Weekly homework and quiz (30%), Mid-term exam (30%), and Final exam (40%)		
Supplementary Information	Students are required to attend more than 70% of the classes to be eligible to take the final examination.		

Course Description

Course Title	Japanese I: Conversation		
Lecturer	BURKART, Kaori I.	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring & Fall semesters Wednesdays 2nd Period
Lecturer's Office	Kyoyo BIdg., 3rd Floor Office No. 3 097-541-6171 kburkart@oita-u.ac.jp		
Aims	Acquisition of basic Japanese oral communication skills		
Learning Outcomes	At the end of the course, students will be able to: 1. Carry on basic conversations in several situations 2. Express requests, preferences, reasons, and wishes using basic vocabulary and Japanese language functions		
Content	Week 1: Introduction to the course & greetings Week 2: Lesson 1 Week 3: Lesson 2 Week 4: Lesson 3 Week 5: Lesson 4 Week 6: Lesson 5 Week 7: Lesson 6 Week 8: Mid-term Examination Week 9: Lesson 7 Week 10: Lesson 8 Week 11: Lesson 9 Week 12: Lesson 10 Week 13: Lesson 11 Week 14: Lesson 12 Week 15: Semester Review (Specific modes of teaching to enhance student learning) Learner-centered hands-on activities based on real-life situations are used to enhance oral communication skills. Satisfactory completion of weekly homework is required. Weekly lecture notes and handouts are provided on the class website.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend at least 3 hours of self-study time each week. It is every student's responsibility to complete all homework and to prepare for quizzes and exams.		
Textbooks	Genki I: An Introduction to Elementary Japanese (2nd ed.). The Japan Times.		
References	A dictionary of basic Japanese grammar (The Japan Times) Japanese-English Learner's Dictionary (Kenkyusha)		
Assessment Criteria	Weekly homework and quiz (30%), Mid-term exam (30%), and Final exam (40%)		
Supplementary Information	Students are required to attend more than 70% of the classes to be eligible to take the final examination.		

Course Description

Course Title	Japanese I: Integrated Activities		
Lecturer	BURKART, Kaori I.	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring: Thursdays 2nd Period Fall: Thursdays 1st Period
Lecturer's Office	Kyoyo BIdg., 3rd Floor Office No. 3 097-541-6171 kburkart@oita-u.ac.jp		
Aims	Acquisition of basic Japanese language skills through comprehensive learning activities		
Learning Outcomes	At the end of the course, students will be able to 1. Grasp basic Japanese grammar and language functions 2. Express requests, preferences, reasons, and wishes by using vocabulary typical in daily life		
Content	Week 1: Introduction to the course (greetings and kana review) Week 2: Lesson 1 Comprehensive learner-centered tasks and activities review practice Week 3: Lesson 2 Week 4: Lesson 3 Week 5: Lesson 4 Week 6: Lesson 5 Week 7: Lesson 6 Week 8: Mid-term Examination Week 9: Lesson 7 Week 10: Lesson 8 Week 11: Lesson 9 Week 12: Lesson 10 Week 13: Lesson 11 Week 14: Lesson 12 Week 15: Semester Review (Specific modes of teaching to enhance student learning) Learner-centered learning activities based on real-life situations are used to enhance overall language skills. Satisfactory completion of weekly homework is required. Weekly lecture notes and handouts are provided on the class website.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend at least 3 hours of self-study time each week. It is every student's responsibility to complete all homework and to prepare for quizzes and exams.		
Textbooks	Genki I: An Introduction to Elementary Japanese (2nd ed.). The Japan Times.		
References	A dictionary of basic Japanese grammar (The Japan Times) Japanese-English Learner's Dictionary (Kenkyusha)		
Assessment Criteria	Weekly homework and quiz (30%), Mid-term exam (30%), and Final exam (40%)		
Supplementary Information	Students are required to attend more than 70% of the classes to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Japanese 1 Reading		
Lecturer	NAGAIKE, Kazumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring / Fall Day of the Week: Monday Period:2nd (Spring)/ 4th (Fall)
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) BIdg., 3rd Floor Office No. 3-4 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
Aims	It aims at helping learners read and write the complete range of basic kanji characters.		
Learning Outcomes	Students will acquire Hiragana, Katakana and 145 Kanji. They will be able to write and comprehend short paragraphs consisting of the weekly assigned-kanji.		
Content	Week 1: Introduction of Hiragana (practice) and greetings. Week 2: Introduction of Katakana (practice) and Lesson 1 (vocabulary/Grammar). Week 3: Lesson 2 (vocabulary/Grammar). Week 4: Lesson 3 (vocabulary/Grammar). Week 5: Lesson 4 (vocabulary/Grammar). Week 6: Lesson 5 (vocabulary/Grammar). Week 7: Lesson 6 (vocabulary/Grammar). Week 8: Lesson 7 (vocabulary/Grammar). Week 9: Lesson 8 (vocabulary/Grammar). Week 10: Revision of Lessons 1-8 (vocabulary/Grammar). Week 11: Lesson 9 (vocabulary/Grammar). Week 12: Lesson 10 (vocabulary/Grammar). Week 13: Lesson 11 (vocabulary/Grammar). Week 14: Lesson 12 (vocabulary/Grammar). Week 15: Revision of all lessons (vocabulary/Grammar). (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Weekly assignments and tests are given to assist students to acquire Kanji.		
Recommendation for Private Study	Revision of the weekly-introduced Kanji is very important. Practice reading and writing the Kanji daily until you feel confident.		
Textbooks	*An Introduction to Elementary Japanese (Genki I)*; **Second Edition;** The Japan Times. (The **First** Edition of the Book should **not** be acceptable.)		
References	*A dictionary of basic Japanese grammar*, The Japan Times. *Japanese-English Learner's Dictionary*, Kenkyusha.		
Assessment Criteria	Weekly Tests 40%; Weekly Assignments 20%; Final Examination 40%. It is a requirement that a student should attend more than 70 % of the class time to be eligible for the final examination.		
Supplementary Information	Attendance of ALL classes is essential for a successful course outcome.		

Course Title	Japanese 2 Grammar		
Lecturer	NANRI, Keizo	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester1, Tuesday 2st Period Semester 2. Tuesday 1nd Period
Lecturer's Office	Kyoyo BIdg., 3rd Floor Office No. 5 097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
Aims	By the end of the semester, students are expected to be able to report past events in chronologically well-organised texts in short forms, to make comments on events by employing basic modal expressions, and to pay respect addressees by employing *keigo*		
Learning Outcomes	Specifically, students are expected to be able to accurately explain the temporal relation between events, to present future plans and expectations by employing volitional forms and the like, to report events caused by someone, and to properly speak to someone based on the social relationship between him/her and his/her addressee.		
Content	Weeks 1-2: Review of *te*-forms, short forms, (Students' understanding of the content of the class is monitored by weekly quizzes and assignments as well as the instructor's observation of students' performance in the class.) Week 2: With potential forms, tell us about what you can do and cannot do. Week 3: With expressions of giving-receiving, tell us about your experience of exchanging presents with friends and family members. Week 4: Give extra information to things you are talking about with embedded clauses. Weeks 5-6: With giving-receiving verbs, tell us what other people have done for you and what you have done for them. Weeks 6-7: With hear-say expressions, report what you've heard. With *tara, maeni, tekara,* give us accurate accounts of past events. Weeks 8-9: Review. Week 10: Brush up your grammatical accuracy by understanding the difference between transitive and intransitive verbs. Weeks 11-12: Learn *keigo* (i.e., honorific, extra-modest expressions, and humble expressions) so that you can speak to your addressee properly, according to the social relation between you and your address. Week 13: Tell us about your awful experience by using indirect passive expressions. Week 14-15: Report events caused by someone. (Specific modes of teaching to enhance students' learning) The class is conducted in such a way that grammatical explanation is followed by patte		
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend two hours for preparation for the class and another two hours for reviewing after the class		
Textbooks	*Genki* II*: An Integrated Course in Elementary Japanese*, The Japan Tim		
References	*A Dictionary of Basic Japanese Grammar*, The Japan Times *A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar*, The Japan Times		
Assessment Criteria	Vocabulary and Listening Quizzes 10%, Essays 1 & 2 10%, Mid-Term Reading & Writing Exam 15%, Conversation Tests1 (10%) & 2 (20%), Final Exam 25%. An Exploration of Oita 10%.		
Supplementary Information	Students are required to attend more than 70% of the classes to be eligible to sit for the final examination. This subject is requisite with Japanese 2 Conversation and Japanese 2 Integrated Activities.		

Course Title	Japanese 2 Conversation		
Lecturer	NANRI, Keizo	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semesters 1 and 2 Day of the Week: Wednesday Period: 1st
Lecturer's Office	Kyoyo BIdg., 3rd Floor Office No. 5 097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
Aims	By the end of the semester, students are expected to be able to report past events in chronologically well-organised texts in short forms, to make comments on events by employing basic modal expressions, and to pay respect addressees by employing *keigo*.		
Learning Outcomes	Specifically, students are expected to be able to spontaneously continue to talk for at least 8 minutes in a dialogic situation on one or more of the following topics: weekly schedule, distressing experience, gift-giving and receiving occasions, and my personality and performance. They will also be able to use *keigo*.		
Content	Weeks 1-2: Review of *te*-forms, short forms, (Students' understanding of the content of the class is monitored by weekly quizzes and assignments as well as the instructor's observation of students' performance in the class.) Week 2: With potential forms, tell us about what you can do and cannot do. Week 3: With expressions of giving-receiving, tell us about your experience of exchanging presents with friends and family members. Week 4: Give extra information to things you are talking about with embedded clauses. Weeks 5-6: With giving-receiving verbs, tell us what other people have done for you and what you have done for them. Weeks 6-7: With hear-say expressions, report what you've heard. With *tara, maeni, tekara,* give us accurate accounts of past events. Weeks 8-9: Review. Week 10: Brush up your grammatical accuracy by understanding the difference between transitive and intransitive verbs. Weeks 11-12: Learn *keigo* (i.e., honorific, extra-modest expressions, and humble expressions) so that you can speak to your addressee properly, according to the social relation between you and your address. Week 13: Tell us about your awful experience by using indirect passive expressions. Week 14-15: Report events caused by someone. (Specific modes of teaching to enhance students' learning) The class is conducted in such a way that grammatical explanation is followed by pattern practice and then by a product-oriented activity to consolidate the linguistic knowledge		
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend two hours for preparation for the class and another two hours for reviewing after the class.		
Textbooks	*Genki* II*: An Integrated Course in Elementary Japanese*, The Japan Times		
References	*A Dictionary of Basic Japanese Grammar*, The Japan Times *A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar*, The Japan Times		
Assessment Criteria	Vocabulary and Listening Quizzes 10%, Essays 1 & 2 10%, Mid-Term Reading & Writing Exam 15%, Conversation Tests1 (10%) & 2 (20%), Final Exam 25%. An Exploration of Oita 10%.		
Supplementary Information	Students are required to attend more than 70% of the classes to be eligible to sit for the final examination. This subject is requisite with Japanese 2 Conversation and Japanese 2 Integrated Activities.		

Course Title	Japanese 2 Integrated Activities		
Lecturer	NANRI, Keizo	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester 1, Thursday, 1st Period Semester 2, Friday, 2nd Period
Lecturer's Office	Kyoyo BIdg., 3rd Floor Office No. 5 097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
Aims	By the end of the semester, students are expected to be able to report past events in chronologically well-organised texts in short forms, to make comments on events by employing basic modal expressions, and to pay respect addressees by employing *keigo*.		
Learning Outcomes	Specifically, students are expected to be able to read and understand conversation texts whose topics are: weekly schedule, distressing experience, gift-giving and receiving occasions, and my personality and performance. They will also be able to write an essay on 'me in 10 year's times' that is 600-*ji* long in Japanese without using dictionaries.		
Content	Weeks 1-2: Review of *te*-forms, short forms, (Students' understanding of the content of the class is monitored by weekly quizzes and assignments as well as the instructor's observation of students' performance in the class.) Week 2: With potential forms, tell us about what you can do and cannot do. Week 3: With expressions of giving-receiving, tell us about your experience of exchanging presents with friends and family members. Week 4: Give extra information to things you are talking about with embedded clauses. Weeks 5-6: With giving-receiving verbs, tell us what other people have done for you and what you have done for them. Weeks 6-7: With hear-say expressions, report what you've heard. With *tara, maeni, tekara,* give us accurate accounts of past events. Weeks 8-9: Review. Week 10: Brush up your grammatical accuracy by understanding the difference between transitive and intransitive verbs. Weeks 11-12: Learn *keigo* (i.e., honorific, extra-modest expressions, and humble expressions) so that you can speak to your addressee properly, according to the social relation between you and your address. Week 13: Tell us about your awful experience by using indirect passive expressions. Week 14-15: Report events caused by someone. (Specific modes of teaching to enhance students' learning) The class is conducted in such a way that grammatical explanation is followed by pattern practice and then by a product-oriented activity to consolidate the linguistic knowledge		
Recommendation for Private Study	Students are expected to spend two hours for preparation for the class and another two hours for reviewing after the class.		
Textbooks	*Genki* II*: An Integrated Course in Elementary Japanese*, The Japan Times		
References	*A Dictionary of Basic Japanese Grammar*, The Japan Times *A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar*, The Japan Times		
Assessment Criteria	Vocabulary and Listening Quizzes 10%, Essays 1 & 2 10%, Mid-Term Reading & Writing Exam 15%, Conversation Tests1 (10%) & 2 (20%), Final Exam 25%. An Exploration of Oita 10%.		
Supplementary Information	Students are required to attend more than 70% of the classes to be eligible to sit for the final examination. This subject is requisite with Japanese 2 Conversation and Japanese 2 Integrated Activities.		

Course Title	Japanese 2 Reading		
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring / Fall Day of the Week: Mondays Period: 1
Lecturer's Office	tosakayasumi@gmail.com		
Aims	This course aims to enable students who have completed the second-level unit of elementary Japanese to acquire new words, expressions, and kanji written characters.		
Learning Outcomes	・To read and write the basic 300 Kanji ・To learn words utilizing the basic Kanji ・To read short essays (in the textbook) ・To write paragraphs		
Content	1. Orientation & Review (1) 2. Review (2) 3. Interesting Experiences in Japan (1) 4. Interesting Experiences in Japan (2) 5. Personal Advice Column 6. My Favorite Place 7. The Manga *Doraemon* 8. Mid-term Exam 9. Yoko Ono 10. College Life 11. Letters and E-mails 12. A Cat's Plate 13. Unlucky Ages 14. Tomomi's Diary 15. What Does This Face Mean? 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students are required to take a Kanji quiz each week. This will enhance students' ability to use their newly acquired written and oral vocabulary.		
Recommendation for Private Study	At least four hours of private study per week, for preparation and review, will be required. Students are expected to come to class fully (at least adequately) prepared.		
Textbooks	*Genki Ⅱ : An Integrated Course in Elementary Japanese*, The Japan Times		
References	*New Japanese-English Character Dictionary*, Kenkyusha *A Dictionary of Basic Japanese Grammar*, The Japan Times		
Assessment Criteria	Participation (10%), Homework (20%), Quiz (10%), Mid-term and Final Exams (60%). Students must attend more than 70% of the class meetings to be eligible to take the final examination.		
Supplementary Information	Attendance of ALL classes is essential for a successful course outcome. This course syllabus is subject to change.		

Course Title	Japanese 3 Grammar		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Semester: Spring/Fall Day of the Week: Thursdays / Tuesdays Period: 2
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., Floor 3rd fl. Office No.3-7 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
Aims	The first semester of Intermediate Spoken Japanese course. The course aims to review and reinforce previous knowledge of Japanese and systematically develop the patterns of expression and vocabulary needed in various situations common in daily life.		
Learning Outcomes	1. Students learn the patterns of expression and vocabulary needed in various situations of daily life. 2. Students enable to apply the grammar and the sentence patterns they learned appropriately in reality. 3. Students enable to speak accurately in order to carry out daily conversation. 4. Students enable to improve their listening comprehension and grasp the contents on various topics.		
Content	1. Introducing friends and family 2. Memories of a childhood 3. Character 4. Description of circumstance 5. Introducing home country 6. Providing advice 7. Travel 8. Life-change 9. Comparison of national character 10. Impression of Japan 11. Future Plan 12. 30 years later 13. Food and health 14. Stress release 15. Words of young people 【Specific modes of teaching to enhance students' learning】 Various activities such as pair work, role play, and so on are designed for students to acquire communicative competence in Japanese.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study about 2 hours per week on homework, practice listening and speaking, and memorize and review of vocabulary and grammatical patterns.		
Textbooks	*J Bridge to Intermediate Japanese,* Bonjinsha		
References	Recommended: *A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar*, The Japan Times		
Assessment Criteria	Lesson tests 30%, final exam 30%, vocabulary quizzes 15%, homework, class performance, and etc. 25%. It is required that a student attend more than 70% of the class time to be eligible to sit the final examination.		
Supplementary Information	Japanese 2 is a prerequisite for enrollment. Other students must pass a placement test in order to enroll. Japanese 3 Grammar and Conversation are co-requisites.		

Course Title	Japanese 3 Conversation		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Semester: Spring/Fall Day of the Week: Wednesdays Period: 2
Lecturer's Office	Kyoyo BIdg., Floor 3rd fl. Office No.3-7 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
Aims	The first semester of Intermediate Spoken Japanese course. The course aims to review and reinforce previous knowledge of Japanese and systematically develop the patterns of expression and vocabulary needed in various situations common in daily life.		
Learning Outcomes	1. Students learn the patterns of expression and vocabulary needed in various situations of daily life. 2. Students enable to apply the grammar and the sentence patterns they learned appropriately in reality. 3. Students enable to speak accurately in order to carry out daily conversation. 4. Students enable to improve their listening comprehension and grasp the contents on various topics.		
Content	1. Introducing friends and family 2. Memories of a childhood 3. Character 4. Description of circumstance 5. Introducing home country 6. Providing advice 7. Travel 8. Life-change 9. Comparison of national character 10. Impression of Japan 11. Future Plan 12. 30 years later 13. Food and health 14. Stress release 15. Words of young people 【Specific modes of teaching to enhance students' learning】 Various activities such as pair work, role play, and so on are designed for students to acquire communicative competence in Japanese.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study about 2 hours per week on homework, practice listening and speaking, and memorize and review of vocabulary and grammatical patterns.		
Textbooks	*J Bridge to Intermediate Japanese,* Bonjinsha		
References	Recommended: *A Dictionary of Intermediate Japanese Grammar*, The Japan Times		
Assessment Criteria	Lesson tests 30%, final exam 30%, vocabulary quizzes 15%, homework, class performance, and etc. 25%. It is required that a student attend more than 70% of the class time to be eligible to sit the final examination.		
Supplementary Information	Japanese 2 is a prerequisite for enrollment. Other students must pass a placement test in order to enroll. Japanese 3 Grammar and Conversation are co-requisites.		

Course Title	Japanese 3 Reading Ⅱ		
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Tuesdays Period: 1
Lecturer's Office	tosakayasumi@gmail.com		
Aims	Read short sentences at the first intermediate level about Japan and understand them.		
Learning Outcomes	1. Understand the structure of sentences. 2. Learn a coping method for dealing with unknown vocabulary and Kanji. 3. Identify necessary information in sentences quickly. 4. Learn the effective usage of conjunctions and adverbs. 5. Learn about Japanese consciousness and culture.		
Content	1. Guidance 2. My family 3. Language 4. My strange story 5. Japanese Ghost Story Ⅰ 6. Japanese Ghost Story Ⅱ 7. Rakugo 8. Mid-term Exam 9. Hero 10. Railway enthusiasts 11. Otaku 12. Image of Japan 13. Famous places in Japan 14. Japanese culture 15. Review 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Time for pair-work and short presentation will be allotted in class.		
Recommendation for Private Study	Review after every class. Preparation for presentation.		
Textbooks	Handouts will be distributed every class.		
References	References will be given as needed.		
Assessment Criteria	Participation & Homework (10%), Tasks (15%), Short Quiz (10%), Presentation (10%), Exams (55%)		
Supplementary Information	This course is for pre-intermediate level students who have successfully completed elementary level courses or students whose proficiency level in Japanese is 3 according to the result of the CIER placement test. The class will be conducted in Japanese. It is required that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Japanese 3 Writing Ⅱ		
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Mondays Period: 2
Lecturer's Office	tosakayasumi@gmail.com		
Aims	This course is designed to develop writing skills by writing 600~700 word-letter essays on familiar topics using first intermediate level vocabularies, expressions, and grammars.		
Learning Outcomes	1. Be able to write Japanese compositions using clear, developed paragraphs. 2. Understand sentence construction and write sentences that uses conjunctions and adverbs effectively. 3. Understand how to use traditional Japanese manuscript paper properly.		
Content	1. Guidance 2. My family 3. Language 4. My strange story 5. Ghost Story Ⅰ (Description) 6. Ghost Story Ⅱ (Comparison) 7. Rakugo (Write a continuation of the story) 8. Mid-term Exam 9. Hero 10. My favorite things 11. Otaku 12. Image of Japan 13. Famous places in Japan 14. Japanese culture 15. Review 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Time for pair-work and short presentation will be allotted in class.		
Recommendation for Private Study	Review after every class. Preparation for presentation.		
Textbooks	Handouts will be distributed every class.		
References	References will be given as needed.		
Assessment Criteria	Participation & Homework (10%), Tasks (20%), Presentation (15%), Exams (55%)		
Supplementary Information	This course is for pre-intermediate level students who have successfully completed elementary level courses or students whose proficiency level in Japanese is 3 according to the result of the CIER placement test. The class will be conducted in Japanese. It is required that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Extensive Reading in Japanese		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Mondays Period: 4
Lecturer's Office	Kyoyo BIdg., Floor 3rd fl. Office No.3-7 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
Aims	This course offers students at intermediate and advanced levels an opportunity to enhance their reading skills as well as developing the pleasure of reading utilizing Extensive Reading method with short stories written for learners of Japanese and authentic materials written for native speakers.		
Learning Outcomes	In this course, the emphasis is put on acquiring the skill to enjoy the contents without translation. Gradually shifting to the materials of higher levels, students will find themselves absorbing the contents without translating each word or sentence into their native language. Through this type of reading, students will develop general language competence, knowledge of vocabulary, prediction skills, as well as writing and speaking skills.		
Content	Students are guided to read as many pages as possible without using dictionaries while the instructor carefully monitors their reading behavior and gives advice and suggestions to improve their reading skills. Week 1 Introduction and orientation Week 2 extensive reading Week 3 oral book report and extensive reading Week 4 oral book report and extensive reading Week 5 oral book report and extensive reading Week 6 oral book report and extensive reading Week 7 oral book report and extensive reading Week 8 oral book report and extensive reading Week 9 oral book report and extensive reading Week 10 oral book report and extensive reading Week 11 oral book report and extensive reading Week 12 oral book report and extensive reading Week 13 preparation for the presentation of book trailer Week 14 presentation Week 15 presentation 【Specific modes of teaching to enhance students' learning】 Each students give an oral book report in their group every week followed by the question and answer session.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to read books.		
Textbooks	Materials including *Nihongo Tadoku Books* and *Japanese Graded Readers* to be provided in class.		
References	"Extensive Reading" (http://extensivereading.net/)		
Assessment Criteria	Number of books (20%), Reading log (20%), Oral book reports (20%), Booktrailer (30%), Participation and class performance (10%)		
Supplementary Information	Students must pass level 3 or higher in the placement test to be admitted to this course.		

Course Title	Japanese 4 Grammar Ⅱ		
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Tuesday Period: 2
Lecturer's Office	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
Aims	This course is designed to improve intermediate-level grammatical knowledge further.		
Learning Outcomes	Understand the meaning and usage of intermediate-level grammar points and expressions and use them accurately.		
Content	The textbook is the same as that is used in Japanese 4 Grammar Ⅰ. Lessons7 through 16 will be covered in this course. 1. Guidance, Diagnostic test, etc. 2. Structure of complex sentences 1 3. Noun modification 4. Expressions that form complex sentences 1 5. Expressions that form complex sentences 2 6. Expressions that form complex sentences 2, 3 7. Expressions that form complex sentences 3 8. Mid-term Exam 9. Expressions to deny something 10. Conveying subjective information 1 11. Conveying subjective information 1, 2 12. Conveying subjective information 2 13. Adverbs that are used like idioms 14. Adverbs that are used like idioms ／ Conjunctions 15. Conjunctions 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Time for making example sentences will be allotted in class.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study at least 2 hours per week on homework and reviewing after the class.		
Textbooks	"Chuukyuu Nihongo Bumpoo Yooten Seiri Pointo 20 " (3A-Network)		
References	References will be given as needed.		
Assessment Criteria	Participation, homework (30%) , Mid-term exam (30%), Final exam(40%) It is required that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		
Supplementary Information	This course is for intermediate level students who have successfully completed pre-intermediate level courses or students whose proficiency level in Japanese is 4 according to the result of the CIER placement test. The class will be conducted in Japanese. Students are required to have a prior knowledge of at least 500 basic kanji.		

Course Description

Course Title	Japanese 4 Speaking		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Semester: Spring / Fall Day of the Week: Tuesdays Period: 1
Lecturer's Office	Kyoyo BIdg., Floor 3rd fl. Office No.3-7 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
Aims	The second semester course of Intermediate Spoken Japanese. The course aims to develop the speaking and listening ability to communicate in various situations commonly encountered at the university level. In this course, students go to town with group members to gather information by interviewing local people and get a better understanding about Oita and Japan.		
Learning Outcomes	1. Students acquire practical communicative competence and will enable to use appropriate expressions and speak accurately and actively on general topics. 2. Students enable to speak in a length of a several paragraphs. 3. Students enable to use both formal and informal styles properly. 4. Improve students' listening comprehension.		
Content	The major functions or situations to be covered in the first half of this course are: 1. Introduction and orientation 2. borrowing 3. accepting and declining an invitation 4. asking for permission 5. changing an appointment 6. explaining how to use 7-8. speech 9. Mid-term exam In the latter half, students work with their group members for the final project. 10. My favorite Oita (1) making up questionnaire on a topic students chose 11. My favorite Oita (2) interview to Japanese students or local people 12. My favorite Oita (3) analysis of the interview 13. My favorite Oita (4) field research on their topic 14. My favorite Oita (5) preparation for the presentation 15. My favorite Oita (6) presentation 【Specific modes of teaching to enhance students' learning】 Various activities such as pair work, role-playing, speech, group work are designed for students to acquire communicative competence in Japanese. Students get feedbacks on their errors individually to help them aware of their errors and correct them by themselves.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study about 2 hours per week on homework, practice listening, making dialogues, preparing for speeches and a group project, and memorize and review of vocabulary and grammatical patterns.		
Textbooks	*Speaking Skills Learned through Listening: Japanese "Live" Pre-intermediate & Intermediate Level Volume 1,* Kurosio		
References	*15 Communication Tips for Becoming a Good Speaker and Listener,* ASK Publishing		
Assessment Criteria	Midterm exam 30%, presentation 10%, vocabulary quizzes 10%, homework 10%, interview research 20%, final project 10%, class performance, etc. 10%.		
Supplementary Information	Japanese 3 is a prerequisite. Other applicants must pass a placement test to be admitted to this course. It is required that students attend more than 70% of the class time to be eligible to join the final project.		

Course Title	Japanese 4 Reading Ⅱ		
Lecturer	KANAMORI Yumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Friday Period:1
Lecturer's Office	Arts(Kyoyo) BIdg, 3rd Floor Office No.3-6 097-554-7667 kanamori@oita-u.ac.jp		
Aims	Students will learn Japanese sense of value and way of thinking through reading stories about famous people and acquire useful cultural and social knowledge to communicate. They will develop their Japanese reading abilities with vocabulary and grammar.		
Learning Outcomes	1. Students will acquire the Japanese reading abilities at the level 2 of JLPT. 2. Students will learn the Kanji idioms, collocations and related terms according to the topic. 3. Students will make a presentation on a famous person studied in class.		
Content	1. Introduction and orientation 2. *Shotoku Taishi* 3. *Murasakisikibu* and *Seishonagon* 4. *Honda Soichiro* 5. *Son Masayoshi* 6. *Sennorikyu* 7. *Kurosawa Akira* 8. *Murakami Haruki* 9. *Tawara Machi* 10. *Hasegawa Machiko* 11. *Miyazaki Hayao* 12. *Sugihara Chiune* 13. *Sato Eisaku* 14. *Yamanaka Shinya* 15. *Ishiguro Hiroshi* (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students will find out meaning and use of new *Kanji*. They will search some more information on the person studied in class and make a presentation in the next class.		
Recommendation for Private Study	Students should write a report on new words every week. They should report interesting articles on the person.		
Textbooks	The Great Japanese 30 Stories		
References	*Ryugakusei no tameno Kanji no Kyokasho* intermediate 700 *Ryugakusei no tameno Kanji no Kyokasho* advanced 1000 Collocation *ga Mi ni tsuku Nihongo Hyogen Renshucho*		
Assessment	Examination(80%), Assignment(20%)		
Supplementary Information	Permission to attend this class depends on the result of a placement test, so please check the results on the board of Global Education and Intercultural Advancement Center. It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final examination. This course is aimed at intermediate level students. Students taking this course should know about 500 kanji, and have a vocabulary of 3000 words.		

Course Title	Japanese 4 Writing Ⅱ		
Lecturer	KANAMORI　Yumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Wednesday　Period:1
Lecturer's Office	Arts(Kyoyo) BIdg, 3rd Floor Office No.3-6 097-554-7667　kanamori@oita-u.ac.jp		
Aims	Students should always think about the best way to express precisely and clearly what they want to say. They should examine the contents of their writing and continue their efforts for brushing up their Japanese. They should spend as much time as possible writing compositions, and experience the pleasure of expressing themselves through the written word.		
Learning Outcomes	1. Students will be able to write compositions on a variety of topics. 2. Students will learn the vocabulary and sentence patterns related to various topics, and then learn how to complete interesting and easy to read compositions. 3. They will write 800 character reports on an issue of modern society.		
Content	1. Introduction and orientation 2. Self-introduction: origin of your name, expressions of character 3. Cross-cultural understanding: expressions about time, meaning of gesture 4. Interesting Japanese: onomatopoeia, expressions about numbers 5. Recommended tourist spot: explaining geography and history, local dishes 6. Story of money: money in your country, sayings 7. Funny buildings: to describe shape and condition 8. Play in your childhood: expressions about action and remembering the past 9. Advice for troubles: suggestions to a junior 10. What you study at university: explanation and comparison of educational system 11. Job hunting: honorific expressions in the workplace, procedure to get a job 12. Issues of working women: marriage, housework, childcare 13. Dietary culture: describe special dishes and explain how to cook them 14. Tale: Star festival, expressions about a sign of good or bad luck 15. Development of science: the world in 100 years (Specific modes of teaching to enhance students' learning) I will have students write an essay on a topic using sentence patterns and vocabulary learned in class every week. The essay will be returned after correcting.		
Recommendation	Students should write an essay every week.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer		
References	*Chukyu he Iko* Japanese Sentence Patterns and Expressions 55 [Second Edition] *Shin Chukyu kara Jokyu heno Nihongo,*　Level Up Japanese Grammar		
Assessment	Examination(80%), Task(20%)		
Supplementary Information	Permission to attend this class depends on the result of a placement test, so please check the results on the board of Global Education and Intercultural Advancement Center. It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final examination. This course is aimed at intermediate level students. Students taking this course should know about 500 kanji, and have a vocabulary of 3000 words.		

Course Title	Japanese 4 Contextual Japanese Ⅱ		
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Mondays Period: 1
Lecturer's Office	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
Aims	This course is designed to enhance practical Japanese language skills. It places an emphasis on encouraging students to put their already acquired Japanese skills into practice by using them in various context-specific environments.		
Learning Outcomes	Students will acquire necessary skills to participate in discussions in Japanese, as well as learning how to fluently express their own opinions and analysis in Japanese.		
Content	1. Orientation 2. Learning from media materials 1 3. Learning from media materials 2 4. Learning from media materials 3 5. Learning from media materials 4 6. Learning from media materials 5 7. Learning from media materials 6 8. Learning from media materials 7 9. Learning from media materials 8 10. Learning from media materials 9 11. Independent Project 1 12. Independent Project 2 13. Independent Project 3 14. Independent Project 4 15. Presentation 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students are required to actively participate in the discussion session in Japanese.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study at least 2 hours per week on homework and reviewing after the class.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer.		
References	References will be given as needed.		
Assessment Criteria	Participation (20%)、Project (20%)、Assignments (30%) Examination (30%)		
Supplementary Information	It is recommended that students who wish to enroll in this course have taken or simultaneously take other level 4 Japanese courses. Students must attend more than 70% of the class meeting to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Japanese 5 Speaking		
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring / Fall Day of the Week: Monday Period: 2
Lecturer's Office	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
Aims	This course is for advanced learners. It is designed to improve speaking skills.		
Learning Outcomes	Students will be able to do the following : 1. To deliver a 3-minute speech composed of many paragraphs. 2. To describe and explain complicated matters. etc. 3. To speak appropriately in a polite manner. 4. To accept different thoughts and opinions, etc.		
Content	１． Guidance ２． Introducing yourself effectively ３． How I started to do ～ ４． Talking about your experience of losing something ５． Talking about your home town ６． Explaining the sequence of movement ７． Talking about the interesting aspects of your hobby, sports, and the like ８． Mid-term Exam ９． Paraphrasing 10. Comparing and contrasting 11. Story-telling 1 12. Story-telling 2 13. Talking about recent incidents 14. Talking about health problems 15. Talking about your dream 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Time for pair-work, group-work, and peer-teaching will be allotted in class.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study at least 2 hours per week on homework and reviewing after the class.		
Textbooks	Nihongo jookyuu washa e no michi, 3A-Network		
References	References will be given as needed.		
Assessment Criteria	Participation, homework (30%) , Mid-term exam (30%), Final exam(40%) It is required that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		
Supplementary Information	This course is for students whose proficiency level in Japanese is 5 according to the result of the CIER placement test or students who have successfully completed Japanese 4 Speaking Course (Grade B or above).		

Course Title	Japanese 5 Reading / Writing Ⅱ		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Wednesdays Period: 1
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., Floor 3rd fl. Office No.3-7 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
Aims	This course aims to introduce academic papers and modern Japanese literature in the original, and which are different from the texts provided in Japanese 5 Reading/Writing I, in order to develop a higher level of reading competency. Students will learn the basic skills of academic writing as well.		
Learning Outcomes	1. Students read academic reports and papers ranging from 1200 words to 2000 words in length step by step, and learn vocabulary and expressions used in academic fields. 2. Students learn the structures and expressions of academic papers, and enable to grasp the content and get the necessary information quickly. 3. Students read modern Japanese literature and enable to explain the content. 4. Students get insight into Japanese society and how Japanese think. 5. Students learn the structures of paragraphs, and enable to write summaries and opinions.		
Content	I. Reading: read a variety of literary texts, general reports and technical material in academic fields. Structures each week include the followings: 1. written language 2. structures of a paragraph 3. outline and complex sentences 4. theory evolution and sentence structure 1 5. theory evolution and sentence structure 2 6. summary 7. Mid-term II. Writing: structures each week include the followings: 8. learn fundamental way of writing papers 9. learn how to describe situation and express opinions 10. learn how to compare and contradict 11. learn how to write cohesive summaries III. Read short novels in the original, and learn vocabulary and expressions. 12-15. Fiction reading 【Specific modes of teaching to enhance students' learning】 Feedbacks of compositions will be given by both a peer and an instructor in order to help students to rewrite compositions.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study about 2 hours per week on such as checking the meaning of words, reading texts, and writing and rewriting compositions.		
Textbooks	*Japanese for International College / Graduate Students 3: Reading Essays*, ALC		
References	*Japanese for International College / Graduate Students 4: Writing Essays*, ALC		
Assessment Criteria	Mid-term exam 30%, Final exam 30%, composition 15%, homework 15%, class performance, etc. 10%.		
Supplementary Information	In order to take this course, students are expected to be at JLPT N1 level. Japanese 5 Reading/Writing I is not a prerequisite. It is required that students attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Japanese 5 Grammar / Function Ⅱ		
Lecturer	KANAMORI　Yumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Friday　Period:2
Lecturer's Office	Arts(Kyoyo) BIdg, 3rd Floor Office No.3-6 097-554-7667　kanamori@oita-u.ac.jp		
Aims	Students will acquire the ability to understand and appropriately use intermediate and advanced patterns of expression, which are different from usages in daily life and necessary to understand the lecture at university.		
Learning Outcomes	1. Students will be able to choose a proper expression from several options. 2. Students will be able to explain the difference between similar expressions and use them appropriately. 3. Students will acquire the knowledge of Japanese grammar and vocabulary equivalent to that tested at level 1 of the JLPT.		
Content	1. Introduction and Orientation 2. Emphatic Expressions / Topics 3. Contradiction / Concession 4. Causes and Reasons 5. Hypothetical Conditions / Definite Conditions / Negative Hypothetical Conditions 6. Impossibility / Possibility 7. Difficulty / Easiness 8. Tendency / State / Condition / Appearance 9. Process / Conclusion 10. Negatives / Partial Negation 11. Conveying Information / Expressing Certainty and Uncertainty 12. Emphasizing Feelings / Compulsion 13. Invitations / Advice / Warnings / Prohibitions 14. Assertion / Decision 15.Exclamatory Expressions / Expressing Wishes (Specific modes of teaching to enhance students' learning) I will have students write a sentence using patterns on the board and check each others' work. If a pattern is misused, the whole class will consider the cause.		
Recommendation	Students should prepare next lesson.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer		
References	Essential Japanese Expressions, A Guide to Useful Japanese Sentence Patterns, *NIHONGO HYOGEN BUNKEI JITEN*		
Assessment	Examination (80%), Participation (10%)		
Supplementary Information	Permission to attend this class depends on the result of a placement test, so please check the results on the board of Global Education and Intercultural Advancement Center. It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final examination. This course is aimed at upper level students. Knowledge of Japanese grammar equivalent to that tested at level 2 of the Japanese Language Proficiency Test is a prerequisite.		

Course Title	Special Japanese 11 (Japanese Popular Culture 1)		
Lecturer	Kazumi Nagaike	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring: Wednesday 4th Period
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) BIdg., 3rd Floor Office No. 3-4 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
Aims	The contemporary debate about Japanese popular culture has provided various important perspectives from which to deal with questions concerning Japanese society and culture. In this course, we will examine Japanimation (Japanese animations) and films and discuss the impact of these genres within both the Japanese socio-cultural and global contexts. Acquiring academic Japanese language (both writing and speaking) is also targeted within this course		
Learning Outcomes	1. Understanding the value of Japanese popular culture: After taking this course, students will be able to explain the cultural values expressed in Japanese popular culture and to consider the ways in which Japanese popular culture reflects Japanese socio-cultural structures. 2. Acquiring academic Japanese language (both writing and speaking) is targeted within this course		
Content	1) Introduction and Orientation 2) History of Japanese Anime 3-7) Analysis of Japanese Anime (e.g. *Sailor Moon, Ghost in the Shell,* and the Anime of Miyazaki Hayao) 8) History of Japanese Films 9-13) Analysis of Modern and Contemporary Japanese Films (Kurosawa Akira, Ōshima Nagisa, and Kitano Takeshi) 14-15) Presentations (Specific modes of teaching to enhance students' learning) This course includes three modes of teaching; lectures, group discussions, and presentations. Students are required to actively participate in class activities.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to carefully read the assigned readings, and summarize each of them in advance. At least four hours of private study per week, for preparation and review, will be required.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer.		
References	To be provided by Lecturer.		
Assessment	Participation: 20% Group Project: 30% Examination: 50%		
Supplementary Information	Students must attend more than 70% of the class meetings to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Introduction to Japanese History, Culture and Society		
Lecturer	Kazumi Nagaike	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring/Fall Day of the Week: Friday/Wednesday Period: 2nd/4th
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) BIdg., 3rd Floor Office No. 3-4 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
Aims	This is an introductory course designed for international students to acquire basic knowledge of Japan (history, culture, and society).		
Learning Outcomes	1. Becoming familiar with Japanese history 2. Understanding the specific nature of Japanese culture (especially in the pre-modern period) 3. Discussing the socio-cultural situation in contemporary Japan, based on our understanding of pre-modern Japan 4. Experiencing traditional Japanese culture (e.g. the tea ceremony)		
Content	1) Orientation 2~5) History of Japan 6) Japanese Performing Arts 7) Japanese Performing Arts 8) Family and the Concept of *Ie* 9~10) Experiencing Japanese Culture 11~12) Japanese Companies and Labor Relations 13) Religion and *Dō* 14) Japanese Pre-modern Literature and Aesthetics 15) Review (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students' progress is constantly assessed by means of quizzes. The primary components of this course are lectures and discussions. Students are required to actively participate in these class discussions.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to carefully read the assigned readings, and summarize each of them in advance. At least four hours of private study per week, for preparation and review, will be required.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer.		
References	To be prepared and provided by Lecturer.		
Assessment Criteria	Participation: 30% Quiz: 30% Examination: 40%		
Supplementary Information	Students must attend more than 70% of the class meetings to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Independent Research Project Ⅰ		
Lecturer	NAGAIKE, Kazumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Fridays Period: 5
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 3rd floor Offfice No. 4 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
Aims	This course will provide students with necessary research skills and experience in the field in which students have been engaged.		
Learning Outcomes	Students will gain further knowledge and understanding of the area that they have chosen for the research project.		
Content	Interested students should have a clear idea of the topic on which they intend to conduct research; they should have some basic knowledge (or skills) of the area they plan to investigate in their research project. Students are expected to complete a research project by the end of the semester. The procedure is as follows: 1. Choose a topic for the project (the choice should be made by the end of the first week of the semester); 2. Make a project plan with your supervisor; 3. Engage in the research under the guidance of your supervisor; 4. Submit a final report for assessment at the conclusion of the project. (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Weekly assignments and tests are given in order to assist students to acquire grammar. A supervisor is able to monitor his student's progress.		
Recommendation for Private Study	Students should start the project as early as possible and they should work on it every week. Whenever they encounter a problem, seek their supervisor immediately.		
Textbooks	None.		
References	To be provided by supervisor.		
Assessment Criteria	Final Report (a minimum of 2500 words and a maximum of 3000 words) 100% Note: Penalties will be incurred for late submission.		
Supplementary Information	Important Note: Students should provide an outline of their proposal with Prof. Nagaike by the first Friday of the Semester at the latest.		

Course Description

Course Title	Preparatory Course in Japanese for Pre-Postgraduate Students		
Lecturer	Instructors of GAIA	Faculty	GAIA
Credit	To be announced	Timetable	To be announced
Lecturer's Office	Kyoyo BIdg., Floor 3rd fl.		
Aims	This is a six-month beginners' Japanese course for Japanese Government (MEXT) Scholarship holders. Students study the basic Japanese to acquire listening, speaking, reading and writing skills. Basic English language ability is required. All seven classes are co-requisites.		
Learning Outcomes	・To learn basic daily conversation skills ・To be able to read and write hiragana, katakana, and basic kanji ・To be able to read and write short passages		
Content	Grammar, expression, and vocabulary will be taught in close relationship to the associated language functions. Some of the major functions to be covered in this course are: 1. greetings 2. self-introduction 3. counting and telling time 4. shopping 5. telling your schedule 6. making a plan 7. inviting 8. describing location 9. telling what you did 10. expressing likes and dislikes 11. telling reasons 12. making requests 13. giving permission 14. prohibiting 15. identifying people 【Specific modes of teaching to enhance students' learning】 Various activities such as pair work, role play, and so on are designed for students to acquire communicative competence in Japanese.		
Recommendation for Private Study	Revision and preparation of each lesson.		
Textbooks	*Genki I: An Integrated course in Elementary Japanese,* The Japan Times *Genki I Workbook,* The Japan Times		
References	Recommended: *A Dictionary of Basic Japanese Grammar*, The Japan Times		
Assessment Criteria	Spoken test 30%, Weekly tests and Assignments 30%, Final Exam 40%		
Supplementary Information	This course is offered for Japanese Government (MEXT) Scholarship holders (Preparatory Course in Japanese for Pre-Postgraduate Students).		

Course Title	Japanese 3 Reading Ⅰ		
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Thursdays Period: 1
Lecturer's Office	tosakayasumi@gmail.com		
Aims	Read short sentences at the first intermediate level about Japan and understand them.		
Learning Outcomes	1. Understand the structure of sentences. 2. Learn a coping method for dealing with unknown vocabulary and Kanji. 3. Identify necessary information in sentences quickly. 4. Learn the effective usage of conjunctions and adverbs. 5. Learn about Japanese consciousness and culture.		
Content	1. Guidance 2. Self-introduction 3. Food culture 4. Past and Present 5. Disaster Prevention 6. Image of Japan 7. Life style 8. Mid-term Exam 9. Invention 10. Eco-activities 11. My experience 12. Work style 13. Politeness 14. Social media 15. Review 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Time for pair-work and short presentation will be allotted in class.		
Recommendation for Private Study	Review after every class. Preparation for presentation.		
Textbooks	Handouts will be distributed every class.		
References	References will be given as needed.		
Assessment Criteria	Participation & Homework (10%), Tasks (15%), Short Quiz (10%), Presentation (10%), Exams (55%)		
Supplementary Information	This course is for pre-intermediate level students who have successfully completed elementary level courses or students whose proficiency level in Japanese is 3 according to the result of the GAIA placement test. The class will be conducted in Japanese. It is required that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Japanese 3 Writing Ⅰ		
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Mondays Period: 2
Lecturer's Office	tosakayasumi@gmail.com		
Aims	This course is designed to develop writing skills by writing 600~700 word-letter essays on familiar topics using first intermediate level vocabularies, expressions, and grammars.		
Learning Outcomes	1. Be able to write Japanese compositions using clear, developed paragraphs. 2. Understand sentence construction and write sentences that uses conjunctions and adverbs effectively. 3. Understand how to use traditional Japanese manuscript paper properly.		
Content	1. Guidance 2. Self-introduction 3. Food culture 4. Past and Present 5. Disaster Prevention 6. Image of Japan 7. Life style 8. Mid-term Exam 9. Proud of my country 10. Eco-activities 11. My experience 12. Work style 13. Politeness 14. Social media 15. Review 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Time for pair-work and short presentation will be allotted in class.		
Recommendation for Private Study	Review after every class. Preparation for presentation.		
Textbooks	Handouts will be distributed every class.		
References	References will be given as needed.		
Assessment Criteria	Participation & Homework (10%), Tasks (20%), Presentation (15%), Exams (55%)		
Supplementary Information	This course is for pre-intermediate level students who have successfully completed elementary level courses or students whose proficiency level in Japanese is 3 according to the result of the CIER placement test. The class will be conducted in Japanese. It is required that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Japanese 4 Grammar Ⅰ		
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Monday Period: 1
Lecturer's Office	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
Aims	This course is designed to improve intermediate-level grammatical knowledge further.		
Learning Outcomes	Understand the meaning and usage of intermediate-level grammar points and expressions and use them accurately.		
Content	The textbook is the same as that is used in Japanese 4 Grammar Ⅱ. Lessons1 through 6 and Lessons17 through 20 will be covered in this course. 1. Guidance, Diagnostic test, etc. 2. Particles with various functions 3. Topicalization 4. Phrases used like grammatical particles 1 5. Phrases used like grammatical particles 1, 2 6. Phrases used like grammatical particles 2 7. Phrases used like grammatical particles 3 8. Mid-term Exam 9. How to nominalize verbs and adjictives 1 10. How to nominalize verbs and adjictives 2 ／ Expanding your vocabulary 1 11. Expanding your vocabulary 2 ／ Formal sentences 1 12. Formal sentences 2 ／ Polite expressions 1 13. Polite expressions 2 14. Cohesion in conversation and written language 1 15. Cohesion in conversation and written language 2 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Time for making example sentences will be allotted in class.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study at least 2 hours per week on homework and reviewing after the class.		
Textbooks	"Chuukyuu Nihongo Bumpoo Yooten Seiri Pointo 20 " (3A-Network)		
References	References will be given as needed.		
Assessment Criteria	Participation, homework (30%) , Mid-term exam (30%), Final exam(40%) It is required that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		
Supplementary Information	This course is for intermediate level students who have successfully completed pre-intermediate level courses or students whose proficiency level in Japanese is 4 according to the result of the CIER placement test. The class will be conducted in Japanese. Students are required to have a prior knowledge of at least 500 basic kanji.		

Course Description

Course Title	Japanese 4 Speaking		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Semester: Spring / Fall Day of the Week: Tuesdays Period: 1
Lecturer's Office	Kyoyo BIdg., Floor 3rd fl. Office No.3-7 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
Aims	The second semester course of Intermediate Spoken Japanese. The course aims to develop the speaking and listening ability to communicate in various situations commonly encountered at the university level. In this course, students go to town with group members to gather information by interviewing local people and get a better understanding about Oita and Japan.		
Learning Outcomes	1. Students acquire practical communicative competence and will enable to use appropriate expressions and speak accurately and actively on general topics. 2. Students enable to speak in a length of a several paragraphs. 3. Students enable to use both formal and informal styles properly. 4. Improve students' listening comprehension.		
Content	The major functions or situations to be covered in the first half of this course are: 1. Introduction and orientation 2. borrowing 3. accepting and declining an invitation 4. asking for permission 5. changing an appointment 6. explaining how to use 7-8. speech 9. Mid-term exam In the latter half, students work with their group members for the final project. 10. My favorite Oita (1) making up questionnaire on a topic students chose 11. My favorite Oita (2) interview to Japanese students or local people 12. My favorite Oita (3) analysis of the interview 13. My favorite Oita (4) field research on their topic 14. My favorite Oita (5) preparation for the presentation 15. My favorite Oita (6) presentation 【Specific modes of teaching to enhance students' learning】 Various activities such as pair work, role-playing, speech, group work are designed for students to acquire communicative competence in Japanese. Students get feedbacks on their errors individually to help them aware of their errors and correct them by themselves.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study about 2 hours per week on homework, practice listening, making dialogues, preparing for speeches and a group project, and memorize and review of vocabulary and grammatical patterns.		
Textbooks	*Speaking Skills Learned through Listening: Japanese "Live" Pre-intermediate & Intermediate Level Volume 1,* Kurosio		
References	*15 Communication Tips for Becoming a Good Speaker and Listener,* ASK Publishing		
Assessment Criteria	Midterm exam 30%, presentation 10%, vocabulary quizzes 10%, homework 10%, interview research 20%, final project 10%, class performance, etc. 10%.		
Supplementary Information	Japanese 3 is a prerequisite. Other applicants must pass a placement test to be admitted to this course. It is required that students attend more than 70% of the class time to be eligible to join the final project.		

Course Title	Japanese 4 Reading Ⅰ		
Lecturer	KANAMORI Yumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Friday Period:1
Lecturer's Office	Arts(Kyoyo) BIdg, 3rd Floor Office No.3-6 097-554-7667 kanamori@oita-u.ac.jp		
Aims	Students will get into the habit of reading the newspaper every day and take an increasing interest in issues of Japanese society and the world. They will acquire basic knowledge on various issues and develop their Japanese abilities through analyzing the data and summarizing the article.		
Learning Outcomes	1. Students will study about the structure of newspapers and acquire the basic knowledge and vocabulary about the topics treated in newspaper. 2. Students will get the information through rapid reading. 3. Students learn to read newspapers, using a dictionary by themselves, and to write a summary.		
Content	1. Introduction and orientation 2. Basic knowledge about newspapers: national and local newspapers 3. Structure of a newspaper: compare the front pages of various newspapers 4. Predicting the contents: predicting the content with headlines and confirming by reading the lead 5. Reading data: grasping the content of an article by a graph, a table, a chart and so on. 6. Reading information: collecting necessary information by finding key words 7. Opinions of readers: reading letters to the editor 8. Articles about daily life 9. Articles about education 10. Articles about culture 11. Articles that report conditions overseas 12. Articles about science 13. Articles about economics 14. Articles about law and politics 15. Editorial (Specific modes of teaching to enhance students' learning) I will have students write a summary of an article on the same topic as taken up in class. In other words, students should look for an another article on the topic, read it and then sum it up.		
Recommendation for Private Study	Students should write a summary every week. They should read newspapers and report on interesting articles.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer		
References	*Ryugakusei no tameno Journalism no Nihongo, SHINBUN no DOKKAI* News *de huyasu JYOKYU heno GOI/HYOGEN*		
Assessment	Examination(80%), Summaries of newspaper articles(20%)		
Supplementary Information	Permission to attend this class depends on the result of a placement test, so please check the results on the board of Global Education and Intercultural Advancement Center. It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final examination. This course is aimed at intermediate level students. Students taking this course should know about 500 kanji, and have a vocabulary of 3000 words.		

Course Title	Japanese 4 Writing Ⅰ		
Lecturer	KANAMORI　Yumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester:Fall Day of the Week:Thursday　Period:2
Lecturer's Office	Arts(Kyoyo) BIdg, 3rd Floor Office No.3-6 097-554-7667　kanamori@oita-u.ac.jp		
Aims	It is necessary for students to improve writing skills for college level work and to become able to write reports, mail, and so forth. Special attention will be given to grammar and expressions where international students tend to often make mistakes. Beginning with practice writing sentences, this course aims to have students be able to write completed compositions.		
Learning Outcomes	1. Students will be able to introduce themselves. 2. Students should send an E-mail in the proper form depending on the situation 3. Students will be able to write an 800 character report.		
Content	1. Introduction and orientation 2. Resume writing；Self-introduction 3. Poster；Introduction of hometown 4. Formal E-mails 5. E-mails depending on the situation 6. Advice；Life in Oita 7. Explanation；Origin and meaning of common expression 8. Summarization；Read a short text and summarize it 9. Report an event；Write a newspaper article 10. Difference of style；Spoken and written Japanese 11. Presentation；Make a manuscript using data 12. Opinion；Distinguish between impressions and opinion, clarify one's stand or position, cite evidence, and then support the opinion 13. Structure of a report；Paragraph 14. Logical coherence；Conjunctions and Demonstratives 15. Raise issues；Modern society (Specific modes of teaching to enhance students' learning) A variety of useful expressions will be offered. Students should write an essay using them according to the given situation or condition. The essay will be returned after correcting.		
Recommendation	Students should write an essay every week.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer		
References	*BUNSHO HYOGEN no* Rule, *NIHONGO* Writing, *Sho-ronbun heno 12 no step*		
Assessment	Examination(80%), Task(20%)		
Supplementary Information	Permission to attend this class depends on the result of a placement test, so please check the results on the board of Global Education and Intercultural Advancement Center. It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final examination. This course is aimed at intermediate level students. Students taking this course should know about 500 kanji, and have a vocabulary of 3000 words.		

Course Title	Japanese 4 Contextual Japanese Ⅰ		
Lecturer	OTSUBO, Minako	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Tuesdays Period: 2
Lecturer's Office	mohtubo@nm.beppu-u.ac.jp		
Aims	This course is designed to enhance practical Japanese language skills. It places an emphasis on encouraging students to put their already acquired Japanese skills into practice by using them in various context-specific environments.		
Learning Outcomes	Students will acquire necessary skills to participate in discussions in Japanese, as well as learning how to fluently express their own opinions and analysis in Japanese.		
Content	1. Orientation 2. Learning from media materials 1 3. Learning from media materials 2 4. Learning from media materials 3 5. Learning from media materials 4 6. Learning from media materials 5 7. Learning from media materials 6 8. Learning from media materials 7 9. Learning from media materials 8 10. Learning from media materials 9 11. Independent Project 1 12. Independent Project 2 13. Independent Project 3 14. Independent Project 4 15. Presentation 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students are required to actively participate in the discussion session in Japanese.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study at least 2 hours per week on homework and reviewing after the class.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer.		
References	References will be given as needed.		
Assessment	Participation (20%)、Project (20%)、Assignments (30%) Examination (30%)		
Supplementary Information	It is recommended that students who wish to enroll in this course have taken or simultaneously take other level 4 Japanese courses. Students must attend more than 70% of the class meeting to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Japanese 5 Reading / Writing Ⅰ		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Thursdays Period: 1
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., Floor 3rd fl. Office No.3-7 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
Aims	This course aims to introduce academic papers and modern Japanese literature, and develop a higher level of reading competency. Students will learn the basic skills of academic writing as well.		
Learning Outcomes	1. Students read academic reports and papers ranging from 1200 words to 2000 words in length step by step, and learn vocabulary and expressions used in academic fields. 2. Students learn the structures and expressions of academic papers, and enable to grasp the content and get the necessary information quickly. 3. Students read modern Japanese literature and enable to explain the content. 4. Students get insight into Japanese society and how Japanese think. 5. Students learn the structures of paragraphs, and enable to write short paper.		
Content	I. Reading: read a variety of literary texts, general reports and technical material in academic fields. Structures each week include the followings: 1. written language 2. topic, main idea, and particles 3. main sentences and subordinate sentences, demonstrative phrases 4. quotation, conjunction 5. facts and ideas 6. paragraph construction 7. Mid-term II. Writing: structures each week include the followings: 8. learn fundamental way of writing papers 9. learn how to use written language 10. learn how to presenting topics 11. learn how to define and classify III. Read short novels in the original, and learn vocabulary and expressions. 12-15. fiction reading 【Specific modes of teaching to enhance students' learning】 Feedbacks of compositions will be given by both a peer and an instructor in order to help students to rewrite compositions.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to study about 2 hours per week on such as checking the meaning of words, reading texts, and writing and rewriting compositions.		
Textbooks	*Japanese for International College / Graduate Students 3: Reading Essays*, ALC		
References	*Japanese for International College / Graduate Students 4: Writing Essays*, ALC		
Assessment Criteria	Mid-term exam 30%, Final exam 30%, composition 15%, homework 15%, class performance, etc. 10%.		
Supplementary Information	In order to take this course, students are expected to be at JLPT N1 level. It is required that students attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Japanese 5 Grammar / Function Ⅰ		
Lecturer	KANAMORI　Yumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Friday　Period:2
Lecturer's Office	Arts(Kyoyo) BIdg, 3rd Floor Office No.3-6 097-554-7667　kanamori@oita-u.ac.jp		
Aims	Students will acquire the ability to understand and appropriately use intermediate and advanced patterns of expression, which are different from usages in daily life and necessary to understand the lecture at university.		
Learning Outcomes	1. Students will be able to choose a proper expression from several options. 2. Students will be able to explain the difference between similar expressions and use them appropriately. 3. Students will acquire the knowledge of Japanese grammar and vocabulary equivalent to that tested at level 1 of the JLPT.		
Content	1. Introduction and Orientation 2. Objects of Action 3. Purpose / Methods and Means 4. Starting and Ending Points / Limits / Range 5. Time and Place of an Action 6. Concurrent Actions / Sequential Actions 7. Midterm Exam 8. Progressive Actions / Correlations 9. With / Without 10. Limiting Conditions / Non-limitation / Additions 11. Comparison / Contrast / Superlatives 12. Standpoint of Judgment / Viewpoint of Evaluation 13. Basis of Action / Dependency / Correspondence 14. Unrelated Conditions / Ignoring 15. Exceptions / Giving Examples (Specific modes of teaching to enhance students' learning) I will have students write a sentence using patterns on the board and check each others' work. If a pattern is misused, the whole class will consider the cause.		
Recommendation	Students should prepare next lesson.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer		
References	Essential Japanese Expressions A Guide to Useful Japanese Sentence Patterns, *NIHONGO HYOGEN BUNKEI JITEN*		
Assessment	Examination (80%), Participation (10%)		
Supplementary Information	Permission to attend this class depends on the result of a placement test, so please check the results on the board of Global Education and Intercultural Advancement Center. It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final examination. This course is aimed at upper level students. Knowledge of Japanese grammar equivalent to that tested at level 2 of the Japanese Language Proficiency Test is a prerequisite.		

Course Title	Special Japanese 5 (Academic Writing)		
Lecturer	KANAMORI Yumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Thursday Period:3
Lecturer's Office	Arts(Kyoyo) BIdg, 3rd Floor Office No.3-6 097-554-7667 kanamori@oita-u.ac.jp		
Aims	Students will recognize differences between academic, informal essays, and a brief recordings of impression; and further learn the features of the formal thesis. They should consider how to write an interesting and persuasive report, keeping their eye on the choice of topic and the structure of the text.		
Learning Outcomes	1. Students should recognize differences between spoken and written Japanese. 2. Students will acquire basic expressions used in academic writing. 3. Students will be able to design a logically constructed 5000 character essay		
Content	1. Genre and structure of text: paragraph/outline 2. Analysis of errors: expressions that are easy to misuse 3. Styles of academic writing : from polite form to written form 4. Vocabulary: collocation and effective use of the internet 5. Writing an article introducing your country: subjective and objective forms of expressions 6. Argumentative essay: brainstorming/tools of thought 7. Explanation based on date: using graphs/number/change and movement 8. Preface: explaining the background / presenting the problem 9. Body: expressing opinions 10. Conclusion: conclusion of the essay/topics for further consideration 11. Research plan: topic/motivation/purpose/significance 12. Presentation manuscript: presentation using PPT 13. Constructing a logical essay①: clear expressions/agreement of expressions 14. Constructing a logical essay②: coherence 15. Mutual evaluation of essays (Specific modes of teaching to enhance students' learning) I will indicate mistakes in an essay which students write and let them correct these by themselves. I will correct and comment on the essay which they rewrite.		
Recommendation	Students should write an essay using academic writing style every month.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer		
References	Passport to good writing, *Report & Ronbun Hyogen Handbook*, *Ronbun Workbook*		
Assessment	Examination(60%), Task(40%)		
Supplementary Information	Permission to attend this class depends on the result of a placement test, so please check the results on the board of Global Education and Intercultural Advancement Center. It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final examination. This course is for superior learners. It is designed to improve academic writing skills required in seminars at university. Class enrollment will be limited to 20 students.		

Course Title	Special Japanese 12 (Japanese Popular Culture 2)		
Lecturer	Kazumi Nagaike	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Fall: Friday 3rd Period
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) BIdg., 3rd Floor Office No. 3-4 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
Aims	The contemporary debate about Japanese popular culture has provided various important perspectives from which to deal with questions concerning Japanese society and culture. In this course, we will examine Japanese manga comic books and discuss the impact of this popular genre within both the Japanese socio-cultural and global contexts. Acquiring academic Japanese language (both writing and speaking) is also targeted within this course		
Learning Outcomes	1. Understanding the value of Japanese popular culture: After taking this course, students will be able to explain the cultural values expressed in Japanese popular culture and to consider the ways in which Japanese popular culture reflects Japanese socio-cultural structures. 2. Acquiring academic Japanese language (both writing and speaking) is targeted within this course		
Content	1) Orientation 2) Japanese "Soft Power" 3-5) Theoretical Perspectives on Manga Drawing (1)~(3) 6) Analysis of Shōnen (boys) manga 7) Analysis of Shōjo (girls) manga 8) Analysis of Ladies' Comics 9) Analysis of Boys' Love Manga 10) Data-Based Consumption and Manga 11) Censorship and Manga 12) Racial Issues in Manga 13) Analysis of Yuri Manga 14) Globalization and Manga 15) Review (Specific modes of teaching to enhance students' learning) This course includes three modes of teaching; lectures, group discussions, and presentations. Students are required to actively participate in class activities.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to carefully read the assigned readings, and summarize each of them in advance. At least four hours of private study per week, for preparation and review, will be required.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer.		
References	To be provided by Lecturer.		
Assessment	Participation: 20% Group Project: 30% Examination: 50%		
Supplementary Information	Students must attend more than 70% of the class meetings to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Independent Research Project Ⅱ		
Lecturer	NAGAIKE, Kazumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Fridays Period: 5
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 3rd floor Offfice No. 4 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
Aims	This course will provide students with necessary research skills and experience in the field in which students have been engaged.		
Learning Outcomes	Students will gain further knowledge and understanding of the area that they have chosen for the research project.		
Content	Interested students should have a clear idea of the topic on which they intend to conduct research; they should have some basic knowledge (or skills) of the area they plan to investigate in their research project. Students are expected to complete a research project by the end of the semester. The procedure is as follows: 1. Choose a topic for the project (the choice should be made by the end of the first week of the semester); 2. Make a project plan with your supervisor; 3. Engage in the research under the guidance of your supervisor; 4. Submit a final report for assessment at the conclusion of the project. (Specific modes of teaching to enhance students' learning) A supervisor is able to monitor his student's progress.		
Recommendation for Private Study	Students should start the project as early as possible and they work on it every week. Whenever they encounter a problem, seek their supervisor immediately.		
Textbooks	None.		
References	To be provided by supervisor.		
Assessment Criteria	Final Report (a minimum of 2500 words and a maximum of 3000 words) 100% Note: Penalties will be incurred for late submission.		
Supplementary Information	Important Note: Students should provide an outline of their proposal with Prof. Nagaike by the first Friday of the Semester at the latest.		

2. Oita Studies Courses for International and Japanese Students (offered in either English, Japanese, or an integration of both)

Course Title	Learning Oita Through *Kyogen*		
Lecturer	Keizo, Nanri & Yumi, Kanamori	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester 1 Day of the Week: Tuesday Period: 4th Period
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 3rd Floor Office No. 5 097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp Kyoyo Bldg., 3rd Floor Office No. 6 097-554-7667 kanamori@oita-u.ac.jp		
Aims	This course aims to provide students with knowledge and experience sound enough to appreciate traditional Japanese society and current Oita culture through writing a script for *kyogen* play and role-playing the scenario in the script on the *noh* stage. The course is taught in Japanese.		
Learning Outcomes	By the end of the semester, students will be able to (1) talk about the history of *kyogen*, (2) understand basic patterns of *kyogen* dance (known as *komai*) and phonation, (3) be sensitive to some cultural issues in Oita, and (4) write a short *kyogen* script.		
Content	Week1: Orientation, the History and plots of *Kyogen* Weeks 2-5: *Komai*: This is how *kyogen* players perform on the stage. Weeks 4-6: Script Writing Week 7-9: Script Revision Week 9: The Basic Knowledge of *kyogen, Kyogen* workshop @ Nogakudo (June 14) Weeks 10-14: Script Revision and Performing Week 14: Performance Examination @ Nogakudo (July 14) (Specific modes of teaching to enhance students' learning) The course provides students not only with knowledge from reading materials but with opportunities where they can actually perform *kyogen* on the sage under the guidance of a professional *kyogen* player. Students are also encouraged to actively conduct a research on Oita local culture.		
Recommendation for Private Study	2 to 4 hours per week are required to practice *komai* dancing and phonation. About 3 hours per week will be required to draft a *kyogen* scenario		
Textbooks	Hand-outs will be provided in the class.		
References	A list of references will be provided in the class.		
Assessment Criteria	3 Essays: a general introduction to *kyogen* (10%), *phonation* and *komai* (10%), the significance of performing a *kyogen* in modern Japanese society (10%); class performance (3% x 15、the session in Week 14 counts as two sessions); final performance (25%); Extra 5% for those who have attended the *Kyogen* Workshop,		
Supplementary Information	Students who fail to attend 70% of the classes fail this course, and are not eligible to sit for the performance examination. This course will accept no more than 10 local students, and the maximum number of students to be enrolled is 30.		

Course Title	Studies on Oita		
Lecturer	KANAMORI Yumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Wednesday Period:2
Lecturer's Office	Arts(Kyoyo) BIdg, 3rd Floor Office No.3-6 097-554-7667 kanamori@oita-u.ac.jp		
Aims	The aim of this course is to study and appreciate the unique points of Oita and to encourage students to make positive contribution to Oita Prefecture. Students will get information from books, newspapers, magazines, television and so on. In addition, two field trips will give students good opportunities to see Oita, get more understanding and feel closer to it.		
Learning Outcomes	1. Students will acquire basic knowledge about Oita and be able to explain that knowledge. 2. Students should introduce the places where they visit in the two field trips. 3. Students should make a recommendation to revitalize Oita from the perspective of history, geography, culture, economy and so on.		
Content	1..Geographiy；Prefectures in Japan/Main cities in Oita 2.Origin of Oita； *Fudoki/Buzen and Bungo/Haihanchiken* 3. *Usa*-shrine；*Hachiman/*Syncretization of Shinto with Buddhism/Incident of sign in *Usa* 4.Peninsula *Kunisaki*；*Rokugomannzann/*Globally Important Agricultural Heritage Systems 5.Dialect；*Kichomu,/Yugata nashika/*Grammatical features 6.Fieldtrip ① 7.Interesting Oita; Introduction of Oita with PPT by students 8.Folk tales; *Kumano-magaibutsu/Himeshima/Ao-no-domon* 9.*Otomo Sorin*；The age of provincial wars/*Nanban* trade/Christian *Daimyo* 10.*Fukuzawa Yukichi*；*Gakumon-no-susume*/*Keio-gijuku/Datsu-a-ron* 11.Stage of story；The location for films 12. One village one product；Governor *Hiramtsu/*Three principles/Effect on Asia 13.Hot spring and Tourism；History of *Beppu/*Challenge in *Yufuin* 14.Fieldtrip ② 15.Recommendation to *Oita*；Presentations by students (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students should prepare for two kinds of presentations in a group.		
Recommendation for Private Study	Students will write four reports on Oita. Students should research the town before a fieldtrip and write an essay after the trip. Students should prepare for a presentation to recommend *Oita.*		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer		
References	*Oitagaku,Oiitaken-nazotoki-sanpo,Oyako-de-yomu Oita-ijinn-den,*Series of *Han* story		
Assessment Criteria	Examination(60%),Presentation(20%),Report(20%) Students should write 4 reports on the topics treated in the class.		
Supplementary Information	It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time including two field trips on Saturday to be eligible for the final examination. Field trip destinations will be announced in the class. Class enrollment will be limited to 40 students.		

Course Title	Project Planning, Volunteering and Internship in Oita 2		
Lecturer	NANRI, Keizo NAGAIKE, Kazumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: 1 Day of the Week: Friday. Period: 4
Lecturer's Office	Kyoyo BIdg., 3rd Floor Office No. 5 097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp Kyoyo BIdg., 3rd Floor Office No. 4 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
Aims	This course aims to explore the possibility of revitalizing the local economy from the viewpoint of tourism; and to promote local communities especially in *Kunisaki* by utilizing homepage and SNS.		
Learning Outcomes	By the end of the course, students are expected to have a good understanding of how depopulation has led to a deterioration in the rural economy in Japan; on this basis, students will develop insights into what kind of (food)culture needs to be created in order for this economic issue to be resolved.		
Content	Session 1: Orientation. Session 2: An Introduction to *Kunisaki*. Sessions 3-4: Utilizing Homepage and SNS Session 5: Field Trip 1 (*Tsrugawa, Kunisaki*) Session 6: Homepage Presentation 1 Session 7: Demise of local shopping streets and economic globalization Session 8: Field Trip 2 (*Tashibu no sho, Bungo Takada*) Session 9-10: Characteristics and Functions of Facebook, Twitter, and Instagram Session 11: Field Trip 3 Session 12: Homepage editing. Session 13: Presentation 2. (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students' progress will be monitored with weekly quizzes. Their acquisition of new knowledge will be substantiated through field trips and their documentation of their research on urban agriculture and food innovation in *Kunisaki*.		
Recommendation for Private Study	2 hours weekly will be needed for class preparation, and one hour for reviewing class content. A field trip counts as 2.5 sessions respectively (except for Field Trip 2).		
Textbooks	Handouts to be provided in class.		
References	A list of references to be provided in class.		
Assessment Criteria	HP presentation 1 (Session 6, 20%), HP Presentation 2 (Session 13: 35%), field work summaries (Sessions 5, 8, 11: 15% x 3).		
Supplementary Information	Students are required to attend at least 70% of the classes, in order to pass this course.		

Course Title	Social Networks and Introduction of Oita to the World Ⅱ		
Lecturer	NANRI, Keizo	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester 2 Day of the Week: Tuesday Period: 3rd Period
Lecturer's Office	Kyoyo BIdg., 3rd Floor Office No. 5 097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
Aims	This Course aims to provide students with a basic training to disseminate information on the Internet by making use of blogs and homepages after having conducted some research on local communities in Oita. Students are encouraged to positively participate in group discussion. The class is conducted in Japanese and English.		
Learning Outcomes	By the end of this semester, students are expected to (1) acquire a sound understanding of the netiquette and the basic knowledge of blog and homepage article writing and (2) to find out the characteristics of the Satoyama system, the ecosystem founded on the symbiotic relationship between the nature and the people living there. A greater emphasis is placed on group activities in this course.		
Content	Session 1: Orientation, finding group member, session summary 1 Session 2: An introduction to the Internet 1; getting to know blogs, session summary 2. Session 3: An introduction to the Internet 2, session summary 3. Session 4: Getting to know the life in mountainous areas in Japan. Session 5: Field Strip 1: Exploring the *Nagatani* area. Session 6: Blog presentation Session 7: The Satoyama, session summary 4. Session 8: Launch a Wix Hompage, session summary 5. Session 9: Preparation for field trip 2 Session 10: Field trip 2 (*Yufuin*, provisional destination) Session 11: Edit a homepage. Session 12: Summary Session 13: Homepage presentation. (Specific modes of teaching to enhance students' learning) The knowledge introduced in the class will be consolidated through group discussion. The last 10 or 15 minutes of the session will be spend to summarize the content of the class; each student submit their summary to the lecturer in the following session, which enables them to monitor students understanding of the class.		
Recommendation for Private Study	2 hours are needed for class preparation and one hour for reviewing the class content. Field trips 1 and 2 will last 8 hours. One field trip accounts as two sessions.		
Textbooks	Handouts to be provided in class		
References	A list of references to be posted on a blog.		
Assessment Criteria	Class summaries (10 marks), field work (1st 10 marks, 2nd 15 marks), launching a blog (20 marks), launching a homepage (20 marks), the final report (25 marks). Students who attend less than 70% of the sessions will not pass this course; marks allocated the field works and the final report will not be included in their final marks. 2 marks are deduced from you total marks for each absence from the session.		
Supplementary Information	International students learn with local students in this course. The course accepts up to 18 ***local*** students, and accepts no more than 58 students in total.		

Course Title	Project Planning, Volunteering and Internship in Oita 3		
Lecturer	NANRI, Keizo NAGAIKE, Kazumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: 2 Day of the Week: Friday. Period: 4
Lecturer's Office	Kyoyo BIdg., 3rd Floor Office No. 5 097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp Kyoyo BIdg., 3rd Floor Office No. 4 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
Aims	This course aims to explore the possibility of revitalizing the local economy by means of crafts and craft production; this exploration will primarily be accomplished through field trips.		
Learning Outcomes	By the end of the course, students are expected to have a good understanding of how depopulation has led to a deterioration in the rural economy in Japan; on this basis, students will develop insights into what kind of art culture needs to be created in order for this economic issue to be resolved.		
Content	Session 1: Orientation. Session 2: An Introduction to Magazine Editing and Photo Composition Sessions 3-4: *Kunisaki*'s history, landscape and arts. Session 5: Field Trip 1 (*Kunimi, Kunisaki*) Session 6: Presentation 1. Session 7: Discussion and brainstorming. Session 8: Anatomy of *Kagura*, a Japanese traditional performing art Session 9: Field Trip 2 (*Musashi, Kunisaki*) Session 10: Religions in the *Kunisaki* Peninsula Session 11: Magazine editing Sessions 12: Presentation 2. (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students' progress will be monitored with weekly quizzes. Their acquisition of new knowledge will be substantiated through field trips and their documentation of their research on crafts and craft production in *Kunisaki*.		
Recommendation for Private Study	2 hours weekly will be needed for class preparation, and one hour for reviewing class content. A field trip counts as 2.5 sessions.		
Textbooks	Handouts to be provided in class.		
References	A list of references to be provided in class.		
Assessment Criteria	Presentation 1 (Session 5, 10%), Presentation 2 (Session 6, 20%), field work summaries (Sessions 5 and 12, 15% x 2), and an electronic magazine file (Week 14, 40%).		
Supplementary Information	Students are required to attend at least 70% of the classes, in order to pass this course.		

3. Global Courses for International and Japanese Students (offered in either English or Japanese)

Course Title	Intercultural Communication		
Lecturer	Kazumi Nagaike	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring/Fall Day of the Week: Monday Period: 3rd
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) BIdg., 3rd Floor Office No. 3-4 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
Aims	Exploring new types of knowledge and analyzing the structures of cultural activities are both required, in order to enchance cross-cultural communication in this contemporary era of internationalization. In this course, we will attempt to understand the kinds of ideological conceptwhich are required to cultivate intercultural communication; this will mainly involve discussing such issues as Japanese ways of thinking, the structure of Japanese society, globalization, multiculturalism, and so forth.		
Learning Outcomes	1. Understanding the specific nature of Japanese society and culture: After taking this course, students will be able to explain key concepts concerning Japanese sociocultural structures. 2. Acquiring theoretical perspectives on intercultural communication: After taking this course, students will be able to explain key theories of intercultural communication. 3. Broadening the scope of multiculturalism: After taking this course, students will be able to analyze specific sociocultural circumstances within a broader multicultural context.		
Content	1) Introduction and Orientation 2) What is Intercultural Communication? 3-5) The Analysis of Japanese Society and the Psychology of Japanese People (honne and tatemae, uchi and soto, giri, shudanishiki, zoto, senpai and kohai, amae, etc) 6) Gesture and Non-Verbal Communication 7) Orientalism and Techno-Orientalism (e.g. the analysis of Hollywood Movies) 8) Nationalism and Imagined Community (e.g. the analysis of the movie titled The Great Wall) 9) Multiculturalism (e.g. issues of Ainu people) 10) Communication and Mass Media (e.g. stereotypical images of foreigners in Japanese mass media) 11) Culture Shock 12-13) Japan in Asia and in the World (e.g. issues of Yasukuni Shrine) 14-15) Group Project (Specific modes of teaching to enhance students' learning) This course includes three modes of teaching; lectures, group discussions, and presentations. Students are required to actively participate in class activities.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to carefully read the assigned readings, and summarize each of them in advance. At least four hours of private study per week, for preparation and review, will be required.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer.		
References	To be provided by Lecturer.		
Assessment	Participation: 20% Presentation and Project: 30% Final Examination: 50%		
Supplementary Information	Students must attend more than 70% of the class meetings to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Business Japanese Seminar 3		
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Mondays Period: 3
Lecturer's Office	tosakayasumi@gmail.com		
Aims	This course is for students from Jianghan University "3+1" program. In the course, students will work towards developing and enhancing not only their reading skills but also describing and expressing their own opinions of newspaper articles, news and topics related mainly to economics.		
Learning Outcomes	・Choose appropriate information ・Organize, summarize and accurately communicate the newspaper articles ・Communicate clearly the contents of newspaper articles ・Critique objectively on the newspaper articles ・Utilize appropriate objectively information and express opinions		
Content	1. Orientation and outline of course 2. Significance of selecting media information (media literacy) 3. Read newspaper articles 4. Summarize newspaper articles after reading 5. Critique on newspaper articles after readings 6. Listen to news items 7. Summarize news items after listening 8. Critical listening 9-13. Select information to describe and express opinions 14. Presentations 15. Feedback (Specific modes of teaching to enhance students' learning) ・Obtain appropriate information from web-based news and other sources, and investigate. ・Hold team discussions and debate. ・Record the presentations; obtain feedback via a self-evaluation rubric.		
Recommendation for Private Study	Get into the habit of watching Japanese news.		
Textbooks	Economic news and movies from websites, newspaper articles and handouts		
References	Japanese dictionaries, other. To be instructed in class.		
Assessment Criteria	Participation & Homework (15%), Listening (10%), Reading & Writing (15%), Presentation (15%), Final exam (45%)		
Supplementary Information	The course is also open to other students.		

Course Title	Business Japanese Seminar 4		
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Fridays Period: 1
Lecturer's Office	tosakayasumi@gmail.com		
Aims	This course is for students from Jianghan University "3+1" program. In the course, students will work towards developing and acquiring necessary speaking and conversational skills together with writing skills in business settings through understanding and analyzing themselves.		
Learning Outcomes	・Utilize various resources in collecting information ・Summarize information and communicate comprehensively ・Conduct conversation in business settings ・Formulate and write business documents (E-mail or documents)		
Content	1. Orientation and outline 2-3. Industry, occupation and the company 4. Decide a subject corporation for research 5. Formulate a project plan by the team 6-9. Collect data and conduct online or e-mail negotiations 10-13. Summary and report writing 14. Presentations 15. Feedback (Specific modes of teaching to enhance students' learning) ・In a team, research a company, negotiate, visit the company, and conduct an interview. ・In addition to creating a team report, also create an individual report.		
Recommendation for Private Study	Get into the habit of watching Japanese news.		
Textbooks	Handouts		
References	Japanese dictionaries, other. To be instructed in class.		
Assessment Criteria	Participation (10%), Tasks (20%), Presentations (25%), Final exams (45%)		
Supplementary Information	The course is also open to other students.		

Course Title	Analysis of Japanese Grammar		
Lecturer	KANAMORI Yumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Tuesday Period:2
Lecturer's Office	Arts(Kyoyo) BIdg, 3rd Floor Office No.3-6 097-554-7667 kanamori@oita-u.ac.jp		
Aims	Students will learn to recognize and analyze the unique characteristics of any language, not only Japanese. Students will consider Japanese from a variety of viewpoints, and will discuss points of interest that they themselves raise. Through this process students will ideally develop a deeper knowledge of Japanese, beyond the surface level.		
Learning Outcomes	1. Students will learn basic ideas of cognitive linguistics and analyze Japanese using them. 2. Students will compare and explain the similarities and differences between Japanese and other languages. 3. Students should demonstrate how to teach Japanese as a foreign language effectively.		
Content	1. Introduction and Orientation 2. Dictionaries: Japanese dictionary, synonym dictionary, *"Hune-o-amu"* 3. Language and thought: language cut and divide the world 4. Introduction to cognitive linguistics①: experience and schema 5. Introduction to cognitive linguistics②: meaning and metaphor 6. Japanese vocabulary①: onomatopoeia 7. Japanese vocabulary②: collocation 8. Japanese expression forms①: basic sentence patterns and particles 9. Japanese expression forms②: structure and function of predicates 10.Comparative research①: similarities and differences between Japanese and other languages 11.Comparative research②: analysis of mistakes by Japanese learners 12. Language and culture; Japanese in the literature and J-pop 13. Communication: verbal and nonverbal, interpersonal relations, misunderstandings 14. Teaching Japanese Method: analysis and development of textbooks for Japanese as a foreign language 15. Japanese lesson: If I were a Japanese teacher… (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Japanese and international students will research Japanese and other languages in groups. In the last class students will teach a Japanese simulated lesson.		
Recommendation for Private Study	Students should collect Japanese sentences from newspaper or literature. Students should research how to use modern Japanese through questionnaires and interviews. Students should prepare for a presentation in group.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer		
References	An Introduction to Applied Cognitive Linguistics for Language Teachers First Steps to Japanese Language Studies, Second Edition Start line of teaching Japanese		
Assessment	Examination(80%), Trial class(20%)		
Supplementary Information	It is a requirement that a student should attend more than 70% of the class time to be eligible for the final examination. In the case of international students, knowledge of Japanese grammar equivalent to that tested at level 1 of the Japanese Language Proficiency Test is a prerequisite.		

Course Title	Sustainability and Glocal Development in Oita Ⅱ		
Lecturer	BURKART, Kaori I.	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Spring: Thursdays 4th period
Lecturer's Office	Kyoyo BIdg., 3rd Floor Office No. 3-3 kburkart@oita-u.ac.jp		
Aims	The main purpose of this course is to discuss key sustainable development issues in the world and in Oita. The course is intended to develop knowledge, attitudes, and values essential to creating a sustainable future through familiar societal themes related to our immediate surroundings. It is also designed to motivate and empower students to reconsider their own behaviors and make collaborative decisions to support sustainable development from a democratic perspective.		
Learning Outcomes	At the end of the semester, students should be able to • Conduct their own research to construct deeper knowledge • Compare and contrast cultural elements behind the international relationships • Carry out research projects with peers who have different cultural values		
Content	1. Week 1: Orientation & Introduction to the class and overview of group project 2. Week 2: Theme 1-1 100-yen shop 1 3. Week 3: Theme 1-2 100-yen shop 2 4. Week 4: Theme 2-1 Japanese convenience store 1 5. Week 5: Theme 2-2 Japanese convenience store 2 6. Week 6: Special Lecture by guest speakers 7. Week 7: Oita City Environmental Faire Visit 8. Week 8: Group discussions and mid-term report 9. Week 9: Theme 3-1 Wars triggered by your mobile phone 1 10. Week 10: Theme 3-2 Wars triggered by your mobile phone 2 11. Week 11: Theme 4-1 Poverty issues 1 12. Week 12: Theme 4-2 Poverty issues 2 13. Week 13: Special Lecture by guest speakers 14. Week 14: Final presentation 15. Week 15: In-class discussion (Final presentation if needed) (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students will practice critical thinking skills through planned in and outside of class learning activities. Learning activities may include role play, online and in-class discussions, playing games, and knowledge building through reading news articles and academic papers. Students will give two presentations during the semester. Possibilities of site visits.		
Recommendation for Private Study	Minimum of 3 hours each week for preview and review are needed to successfully complete this course. Interviewing, field observations, and other creative research methods are also part of the course activities.		
Textbooks	To be provided by the instructor		
References	Additional materials are provided on the class website. Please check periodically.		
Assessment Criteria	Mid-term Report 30% Homework & online discussion 20% Final (individual) presentation 20% Final paper 30%		
Supplementary Information	In this course, International students learn alongside local students. It is required for students to attend 70% of the (at least 10) class meetings to be even considered for submitting the final paper for passing the course.		

Course Title	Japanese Grammar and Discourse		
Lecturer	NANRI, Keizo	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semesters 2: Day of the Week: Friday Period: 3rd Period
Lecturer's Office	Kyoyo BIdg., 3rd Floor Office No. 5 097-554-7635 keizo-nanri@oita-u.ac.jp		
Aims	This course aims to explore the Japanese language from two perspectives: sentence construction and discourse construction. The sentential exploration will be conducted by focusing on 5 case markers (*o*, *ni*, *to*, *e*, *de*) the topic marker *wa*, the subject marker *ga*, and serial verb construction. The discourse exploration will be conducted from the perspective of schema.		
Learning Outcomes	By the end of the semester, students are expected to be able to improve their linguistic performance in Japanese by understanding (a) the function of the foregoing 5 case markers, (b) the mechanism of Japanese serial verb construction, (c) how the particle *wa* contributes to text construction, and (d) some Japanese ways of text creation (which will be explored from the perspective of schema).		
Content	Week 1: Orientation & an Overview of the Japanese Language. Week 1 Week 2. Parts of Speech. Weeks 3-7: Experiential Function and Sentence Structure I, 2 weekly quizzes Week 8. Short Presentation and Feedback Week 9. Experiential Function and Sentence Structure II, 1 weekly quiz Weeks 10-12: Interpersonal Function and Serial Verbal Construction. Weeks 13-14: The Function of *Wa*,Text structure, and Japanese Culture Week 15: Long Presentation and Feedback Week 16: Final examination (Specific modes of teaching to enhance students' learning) The class is conducted in an interactive manner. An emphasis is placed on discussion. Two or three topics are presented for discussion in each session. Students are encouraged to analyze provided data and find out theories behind it. Students will be navigated from the discussion of parts of speech through to that of Japanese culture from the viewpoint of schema. Three weekly quizzes help students to consolidate their knowledge of Japanese case markers, two presentations help them to learn how to give a presentation in an academically acceptable way.		
Recommendation for Private Study	Reading lists are posted on the blog used for this course. Students are encouraged to explore the Japanese language by reading online articles linked from those reading lists. They are expected to spend two hours for class preparation and another two for reviewing the class.		
Textbooks	Handouts to be provided in the class		
References	To be provided in the class.		
Assessment Criteria	Small Quizzes 15 marks, First Presentation 20 marks, Second Presentation 30 marks, and Final Examination 35 marks. Students who fail to attend more than 70% fail the course and are not eligible to sit for the final examination.		
Supplementary Information			

Course Title	Japanese Popular Culture C: Anime and Film Studies		
Lecturer	Kazumi Nagaike	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Wednesday: Period: 3rd
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) BIdg., 3rd Floor Office No. 3-4 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
Aims	This is an introductory course concerning Japanese films and animation. Japanese films and animation are so diverse that they need to be analyzed with a particular emphasis on Japanese cultural development (or transformation). In this course, we will discuss works which have been labeled as belonging to the Japanese aesthetic 'canon' of each period and examine the major recurring (literary and artistic) themes in these works. This course will also encourage students to analyze Japanese films and animation in terms of their global (and comparative) aspects (e.g. the reactions of American audiences and critics to Kurosawa Akira's *Rashōmon*).		
Learning Outcomes	1. Understanding the value of Japanese popular culture: After taking this course, students will be able to explain the cultural values expressed in Japanese popular culture and consider the ways in which Japanese popular culture reflects Japanese socio-cultural structures. 2. Understanding the transnationality and globalization of Japanese popular culture: After taking this course, students will have acquired cross-cultural perspectives on Japanese popular culture. 3. Acquiring theoretical frameworks for popular-culture studies: After taking this course, students will understand a variety of theoretical frameworks in relation to popular culture studies (e.g. audience- and fan-studies, in particular).		
Content	1) Introduction and Orientation 2) History of Japanese Anime 3-7) Analysis of Japanese Anime (e.g. *Sailor Moon, Ghost in the Shell,* and the Anime of Miyazaki Hayao) 8) History of Japanese Films 9-13) Analysis of Modern and Contemporary Japanese Films (Kurosawa Akira, Ōshima Nagisa, and Kitano Takeshi) 14-15) Presentations (Specific modes of teaching to enhance students' learning) This course includes three modes of teaching: lectures, group discussions, and presentations. Students are required to actively participate in class activities.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to carefully read the assigned readings and summarize each of them before class. At least four hours of private study per week will be required for preparation and review.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer.		
References	To be provided by Lecturer.		
Assessment	Participation: 20% Presentation: 30% Examination: 50%		
Supplementary Information	Students must attend more than 70% of classes to be eligible to take the final examination.		

Course Description

Course Title	Globalization of Japan's Economy		
Lecturer	Shigeki SHIBATA	Faculty	Economics
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Monday Period: 4
Lecturer's Office	Lecture Room 419, 4th. fl, Faculty of Economics Building, TEL: 097-554-7715 , Email: sshiba@oita-u.ac.jp		
Aims	The aim of this course is to give international students a series of basic knowledge regarding globalization of Japan's Economy		
Learning Outcomes	At the end of the course, students should have 1. Obtained basic knowledge regarding globalization of Japan's economy 2. Become capable at evaluating economic policies in this domain. 3. Improved their ability to participate in discussions.		
Content	This course will concentrate on analyzing and explaining globalization of Japan's economy while reading textbooks. 1. Concepts of global economy 2. Development of Japan's economy 3. Globalizing Japan's economy by reading case studies (some articles) Students need to read assignments and prepare presentations.		
Recommendation for Private Study	To be provided by lecturer based on students' interests		
Textbooks	To be provided by lecturer		
References	To be provided by lecturer		
Assessment Criteria	Attendance and participation: 50% Power-point presentation: 50%		
Supplementary Information			

Course Title	Ethnographic Study on Rural Japan		
Lecturer	KUBOTA, Ryo	Faculty	Economics
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Thursdays Period: 3
Lecturer's Office	Kyoyo Bldg., 4th Floor Office No.10 097-554-7730 yuralria@oita-u.ac.jp		
Aims	This class provides students with opportunity to learn the contemporary rural Japan. By visiting communities, talking to locals, seeing what is going on "out there" with your own eyes, as well as reading articles on dynamics of cultures and societies in Japan, students will know various problems that people living in the rural area face. Students also know how they deal with those problems by using local resources such as cultural traditions, social relationship and geographic features.		
Learning Outcomes	1) To demonstrate understanding of issues rural communities face. 2) To analyze the ethnographic data in relation to literature on rural communities 3) To collaborate with students who have different cultural backgrounds.		
Content	***The following schedule is tentative*** 1) Introduction 2) Anthropology, Culture and Society 3) Leaning Culture/ What is ethnographic fieldwork? 4) Cultures and Peoples in Japan 5) Some cultural and social features of rural Japan 6) Bibliographic survey and discussion on sustaining rural communities in Japan 7) Field trip #1 8) Bibliographic survey and discussion on local historical resource. 9) Field trip #2 10) Bibliographic survey and discussion on local correspondence to inbounds tourists. 11) Field trip #3 12) Bibliographic survey and discussion on community events in rural Japan 13) Discussion 14) Presentation of final product (1). 15) Presentation of final product (2). (Specific modes of teaching to enhance students' learning) To work on class activities diligently is more than welcome.		
Recommendation for Private Study			
Textbooks	Reading assignments will be uploaded on a cloud service called "Moodle".		
References	Additional materials will be provided in class.		
Assessment Criteria	Presentation (10%) Preparation and contributions to class discussion (60%) Final product (20%)		
Supplementary Information	At least two field trips (day trips and one day trip) are planned on weekend. It is required that students participate in these field trips to be eligible for the class evaluation. Also this class is open not only for international students but also Japanese students.		

Course Title	The Politics and Economics of the EU		
Lecturer	Day Stephen	Faculty	Economics
Credit	2	Timetable	Semester: Spring Day of the Week: Thursdays Period: 3
Lecturer's Office	Faculty of Economics BIdg., 2rd Floor, Office No. 2-1, 097-534-6676 srday@oita-u.ac.jp		
Aims	The goal of this module is to provide learners with: an in-depth understanding of the historical and contemporary development of the European Union, its key institutions and a selection of EU policies.		
Learning Outcomes	A) Facilitate the ability of learners to critically discuss and evaluate some of the arguments advanced by the political mainstream and Eurosceptics vis-à-vis the EU and European integration; B) Familiarize learners with the significance of the key institutional actors of the EU and the role that they play within the EU institutional architecture; C) Facilitate the ability to discuss, in a cogent manner, future possible scenarios for the EU.		
Content	**Introduction** 1. Course Overview 2-3 – Background political and economic factors **Historical and contemporary developments** 4-6. Introducing the EU? Why was it established? Key institutions and key policies 7-9. Understanding the process of integration - from an FTA to a political union **Contemporary Case Studies** 10-13. Case Study. The UK and the EU – thinking about BREXIT 14-15. Case Study. 2019 European Parliamentary election - Mainstream and Eurosceptic views on the future of the EU 16. Final Exam (Specific modes of teaching to enhance students' learning) As an interactive class, there will be a number of individual and small-group task-based exercises. This will include: quizzes, exercises in applying theory to real-world scenarios and evaluations of various types of media reports.		
Recommendation for Private Study	Michelle Cini, Nieves Pérez-Solórzano Borragán (eds) *European Union Politics*, Sixth Edition, 2019		
Textbooks	For absolute beginners, I would recommend - John Pinder and Simon Usherwood (2018), *The European Union: a very short introduction*, (4th edition) Oxford: Oxford University Press.		
References			
Assessment Criteria	1. Final exam (70 percent) 2. Class-room based activities (20 percent) 3. Attendance (10 percent)		
Supplementary Information	The determination to study the European Union (EU), via English, and a willingness to participate in classroom-based activities. Preparatory reading prior to class so as to aid understanding and facilitate discussion is recommended. We will make use of newspaper, video and web-based material during the module.		

Course Title	Presentation Skill		
Lecturer	KANAMORI Yumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Tuesday Period:4
Lecturer's Office	Arts(Kyoyo) BIdg, 3rd Floor Office No.3-6 097-554-7667 kanamori@oita-u.ac.jp		
Aims	The purpose of this course is to master public speaking. Students should discover how to properly express their ideas and convey information to listeners. This class presents a good opportunity for Japanese and international students to work together to share opinions about various problems faced by modern society.		
Learning Outcomes	1. Students will be able to make presentations properly using power point. 2. Students will cooperate with students of different cultures and make presentations. 3. Students will learn how to express their opinion effectively by providing feedback and constructive criticism.		
Content	1. Introduction and Orientation 2. Basic techniques of oral presentation 3. Speeches of explanation or introduction 4. Speeches of raising a problem 5. Making power point presentations and the basic skill of Presentation 6. Presentation ① 7. Presentation ② 8. Presentation ③ 9. Basic skills and presentation for panel-discussion 10. Panel-discussion ① 11. Panel-discussion ② 12. Panel-discussion ③ 13. Preparation for presentations on a free topic in group 14. Presentation 15. Feedback (Specific modes of teaching to enhance students' learning) I will encourage students by providing a question or a comment after each presentation. I will also give students an opportunity to review and improve their presentation through talking about good and bad points every time.		
Recommendation for Private Study	Students should prepare manuscripts for their speeches and presentations. Students should decide a topic early, collect and examine materials, and make a handout for the class when there are discussions.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer		
References	*Koto-happyo to Toron no gijuts,* Skills and training for using logical properly Japanese Building Skills for presentations in English		
Assessment Criteria	Speech (20%), Presentation(20%), Discussion(20%), Free Task(20%), Manuscript and handout(20%)		
Supplementary Information	Students should make enough time in advance to prepare for presentation in group. In order to provide ample time for presentations class enrollment will be limited to 30 students, who will apply themselves diligently.		

Course Title	Japanese Linguistics I		
Lecturer	SAKAI, Mieko	Faculty	GAIA
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Thursdays Period: 2
Lecturer's Office	Kyoyo BIdg., Floor 3rd fl. Office No.3-7 097-554-7516 msakai@oita-u.ac.jp		
Aims	This course aims at offering a basic overview of Japanese linguistics and showing how linguists analyze language. This course also provides beginning students with a solid grounding in basic Japanese linguistic concepts in the fields of phonetics, vocabulary, grammar, dialect, and so on.		
Learning Outcomes	1. To observe carefully in basic Japanese linguistic concepts in the fields of phonetics, vocabulary, grammar, dialect, and so on, and acquire a solid grounding. 2. To research and analyze an area of interest.		
Content	1. Overview 2. Japanese compared with other languages 3. Grammar 4. Phonetics: the sound of language 5. Phonetics: the sound of language 6. Phonology: the function and patterning of sounds 7. Contraction 8. Dialect 9. Mid term 10. Vocabulary 11. Corpus and research on language 12. Phase 13. Grammar 14. Group presentation 15. Group presentation and feedback 【Specific modes of teaching to enhance students' learning】 Students regularly exchange their ideas and opinions in group. They have to work with each other to collect examples and find language rules and characteristics.		
Recommendation for Private Study	Students will be assigned homework on a regular basis to consolidate the topic covered in class.		
Textbooks	Handouts to be provided in class.		
References	Iori, Isao (2012) *Atarashii Nihongogaku Nyumon*, 3A Network.		
Assessment Criteria	Mid-term exam 30%, Group project work 20%, Essay 20%, Homework and presentation 20%, Class performance, etc. 10%.		
Supplementary Information	In order to take this course, students are expected to have passed JLPT N1. Japanese students can take this course too. The class size is limited to 40 students. It is required that students attend more than 70% of the class time to be eligible to take the final examination.		

Course Title	Business Japanese Seminar 1		
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Mondays Period: 3
Lecturer's Office	tosakayasumi@gmail.com		
Aims	This course is for students from Jianghan University "3+1" program. In the course, students will work towards developing and acquiring reading skills based on mainly economic topics, but also strive in describing and expressing their own opinions.		
Learning Outcomes	・Choose appropriate information ・Read newspaper articles and organize the contents ・Accurately and comprehensibly communicate the contents of newspaper articles ・Utilize the selected information to express their opinions		
Content	1. Orientation and outline of course 2-10. Reading of newspaper articles ・Summarization of newspaper articles after reading ・Description and expression of opinions on selected information ・Significance of selecting information 11-14. Presentations 15. Feedback (Specific modes of teaching to enhance students' learning) ・Obtain appropriate information from web-based news and other sources, and investigate. ・Hold team discussions and debate. ・Record the presentations; obtain feedback via a self-evaluation rubric.		
Recommendation for Private Study	Get into the habit of reading Japanese newspaper.		
Textbooks	Economic related news and movies from websites, newspaper articles and handouts		
References	Japanese dictionaries, other. To be instructed in class.		
Assessment Criteria	Participation & Homework (15%), Listening (10%), Reading & Writing (15%), Presentation (15%), Final exam (45%)		
Supplementary Information	The course is also open to other students.		

Course Title	Business Japanese Seminar 2		
Lecturer	TOSAKA, Yasumi	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Tuesdays Period: 2
Lecturer's Office	tosakayasumi@gmail.com		
Aims	This course is for students from Jianghan University "3+1" program. In the course, students will work towards developing and acquiring speaking and writing skills in business settings through understanding and analyzing themselves.		
Learning Outcomes	・Develop the ability to objectively analyze oneself and communicate politely. ・In addition to a focus on conversation ability in a business setting, other skills such as writing ability and Japanese business etiquette will be developed. ・Understand the circumstances of employment for Japanese people as well as the Japanese mindset as it relates to work.		
Content	1. Orientation and outline of course 2-9. Research into Japanese job market and their views of jobs 10. Presentations 11-13. Self-analysis 14. Interview 15. Feedback (Specific modes of teaching to enhance students' learning) ・Conduct team-based investigation (survey or interviews). ・Conduct mutual evaluation in mock interviews. ・In addition to the team report, also create an individual report.		
Recommendation for Private Study	Reflect on one's personality and history in order to develop an ability to promote one's own value. Additionally, foster an interest in Japanese university students' job-hunting activities and their attitudes towards work. Furthermore, develop communication skills for use in formal settings and aggressively execute on those skills.		
Textbooks	Handouts		
References	Japanese dictionaries, other. To be instructed in class.		
Assessment Criteria	Participation (10%), Tasks (20%), Presentations (25%), Final exams (45%)		
Supplementary Information	The course is also open to other students.		

Course Title	Sustainability and Glocal Development in Oita		
Lecturer	BURKART, Kaori I.	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Fall: Tuesdays 4th period
Lecturer's Office	Kyoyo BIdg., 3rd Floor Office No. 3-3 kburkart@oita-u.ac.jp		
Aims	The main purpose of this course is to discuss key sustainable development issues in the world and in Oita. The course is intended to develop knowledge, attitudes, and values essential to creating a sustainable future through familiar environmental themes related to our immediate surroundings. It is also designed to motivate and empower students to reconsider their own behaviors and make collaborative decisions to support sustainable development from a democratic perspective.		
Learning Outcomes	At the end of the semester, students should be able to • Conduct their own research to construct deeper knowledge • Compare and contrast cultural elements behind the international relationships • Carry out research projects with peers who have different cultural values		
Content	1. Week 1: Orientation & Introduction to the class and overview of group project 2. Week 2: Theme 1-1 Nature world sustainability What do you know?! 3. Week 3: Theme 1-2 Nature world sustainability Anything to do with you!? 4. Week 4: Theme 2-1 Tempra Udon is NOT Japanese food!? 5. Week 5: Theme 2-2 Blueberries cause global warming!? 6. Week 6: Special Lecture by guest speakers 7. Week 7: Oita City Environmental Faire Visit 8. Week 8: Group discussions and mid-term report 9. Week 9: Theme 3-1 Potato chips kill elephants!? 1 10. Week 10: Theme 3-2 Potato chips kill elephants!? 2 11. Week 11: Theme 4-1 Hamburgers will take over the world?! 1 12. Week 12: Theme 4-2 Hamburgers will take over the world?! 2 13. Week 13: Individual presentation prep. and rehearsal 14. Week 14: Final presentation 15. Week 15: In-class discussion (Final presentation if needed) (Specific modes of teaching to enhance students' learning) Students will practice critical thinking skills through planned in and outside of class learning activities. Learning activities may include role play, online and in-class discussions, playing games, and knowledge building through reading news articles and academic papers. Students will give two presentations during the semester. Possibilities of site visits.		
Recommendation for Private Study	Minimum of 3 hours each week for preview and review are needed to successfully complete this course. Interviewing, field observations, and other creative research methods are also part of the course activities.		
Textbooks	To be provided by the instructor		
References	Additional materials are provided on the class website. Please check periodically.		
Assessment Criteria	Mid-term Report 30% Homework & online discussion 20% Final (individual) presentation 20% Final paper 30%		
Supplementary Information	In this course, International students learn alongside local students. It is required for students to attend 70% of the (at least 10) class meetings to be even considered for submitting the final paper for passing the course.		

Course Title	Japanese Popular Culture D: Manga Studies		
Lecturer	Kazumi Nagaike	Faculty	Global Education and Intercultural Advancement Center
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Wednesday Period: 3rd
Lecturer's Office	Arts (Kyoyo) BIdg., 3rd Floor Office No. 3-4 097-554-7953 nagaike@oita-u.ac.jp		
Aims	The contemporary debate concerning Japanese manga culture provides various important perspectives on questions concerning Japanese society and culture. In this course, we will examine a variety of Japanese manga genres and discuss the socio-cultural impact of these genres, within both the Japanese and global contexts. The specific design characteristics and motifs of each manga genre will also be analyzed.		
Learning Outcomes	1. Understanding the value of Japanese popular culture: After taking this course, students will be able to explain the cultural values expressed in Japanese popular culture and consider the ways in which Japanese popular culture reflects Japanese socio-cultural structures. 2. Understanding the transnationality and globalization of Japanese popular culture: After taking this course, students will have acquired cross-cultural perspectives on Japanese popular culture. 3. Acquiring theoretical frameworks for popular-culture studies: After taking this course, students will understand a variety of theoretical frameworks in relation to popular culture studies (e.g. audience- and fan-studies, in particular).		
Content	1) Orientation 2) Japanese "Soft Power" 3-5) Theoretical Perspectives on Manga Drawing (1)~(3) 6) Analysis of Shōnen (boys) manga 7) Analysis of Shōjo (girls) manga 8) Analysis of Ladies' Comics 9) Analysis of Boys' Love Manga 10) Data-Based Consumption and Manga 11) Censorship and Manga 12) Racial Issues in Manga 13) Analysis of Yuri Manga 14) Globalization and Manga 15) Review (Specific modes of teaching to enhance students' learning) This course includes three modes of teaching; lectures, group discussions, and presentations. Students are required to actively participate in class activities.		
Recommendation for Private Study	Students are expected to carefully read the assigned readings and summarize each of them before class. At least four hours of private study per week will be required for preparation and review.		
Textbooks	To be prepared and provided by Lecturer.		
References	To be provided by Lecturer.		
Assessment	Participation: 20% Presentation: 30% Examination: 50%		
Supplementary Information	Students must attend more than 70% of classes to be eligible to take the final examination.		

Course Title	The Politics and Economics of Globalization		
Lecturer	DAY Stephen	Faculty	Economics
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Thursdays Period: 3
Lecturer's Office	Faculty of Economics BIdg., 2nd Floor Office No. 2-1, 097-534-6676 srday@oita-u.ac.jp		
Aims	The purpose of this module is to provide learners with an understanding of globalization from a political, economic and cultural perspective as it continues to dominate our lives – for good or for ill. In what ways has it changed the way we live, impacted upon the nature of state sovereignty, domestic party politics and facilitated the role that global-level institutions play?		
Learning Outcomes	A) Familiarize learners with the key debates and provide the means to assess and comment upon those debates in a critical and lucid fashion; B) Enable learners to articulate the pros and cons of globalization by drawing together theoretical and real-world experiences; C) Enable learners to evaluate and comment upon the impact of globalization in a cogent and concise manner		
Content	**Introductory overview** 1-2. Introductory overview - The evolving political and economic landscape post-1945 **Globalization in Context** 3-5. Are you optimistic or pessimistic about the state of global politics? 6-8. Thinking about the impact of globalization **Understanding Globalization** 9-10. Understanding globalization – alternative viewpoints **Contemporary Developments** 11-13. Is Globalization in reverse gear? 14-15. The impact of globalization on domestic party politics – the growth of populism 16. Final Exam As an interactive class, there will be a number of individual and small-group task-based exercises. This will include: quizzes, exercises in applying theory to real-world scenarios and evaluating a wide range of media reports.		
Recommendation for Private Study	Manfred B. Steger (2017), *Globalization: A Very Short Introduction*, (4th edition) Oxford: Oxford University Press		
Textbooks	Manfred B. Steger (2017), *Globalization: A Very Short Introduction*, (4th edition) Oxford: Oxford University Press		
References			
Assessment Criteria	Final Exam - 70 percent Class-based exercises - 20 percent Attendance - 10 percent		
Supplementary Information	Learners will be expected to have a determination to study in English and a willingness to participate in classroom-based activities. Preparatory reading prior to class so as to aid understanding and facilitate discussion is recommended. We will make use of newspaper, video and web-based material during the module.		

Course Description

Course Title	Nonlinear Dynamical Theory		
Lecturer	KATO, Hideyuki	Faculty	Science and Technology
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Thursday Period: 4
Lecturer's Office	BIdg. Riko9, Floor 3 Office No. 3-1 097-554-7799 h-kato@oita-u.ac.jp		
Aims	The behavior of nonlinear dynamical systems is interesting. But it is hard for us to obtain analytical solutions of a nonlinear dynamical system, that are basically investigated with numerical simulations. However, using techniques such as the phase plane analysis, we can understand the geometrical topology and the qualitative behavior of the dynamical system if they are low-dimensional. In this class, students learn and apply these techniques to some instances and then make it better to understand nonlinear dynamical systems.		
Learning Outcomes	• Describing a nonlinear dynamical system with a differential or a difference equation • Explaining the bifurcation of dynamical systems • Analyzing the qualitative behavior of dynamical systems with the phase plain analysis.		
Content	1.～6. One-dimensional flows Introduction, flows on a line, bifurcations, flows on a circle 7.～12. Two-dimensional flows Linear systems, phase plain, limit cycles, revisit of bifurcations 13.～15. Chaos (Specific modes of teaching to enhance students' learning) • Some exercises and their explanations in the lectures to encourage student's understanding • Numerical simulations if necessary because of the difficulty to obtain the analytical solution of nonlinear dynamical systems • Comments paper to know something difficult for students to understand		
Recommendation for Private Study	No need something special		
Textbooks	To be provided when needed		
References	NONLINER DYNAMICS AND CHAOS		
Assessment Criteria	Reports (40%), Final examination (60%)		
Supplementary Information	Students should attend at least 70% of the classes and should present all reports. If not, the students are not eligible to take the final examination. In the classes, the computer will be used. So, students should bring a laptop computer. Also students are recommended to be good at mathematics, physics and using the computer.		

Course Title	Introduction to Japanese Management (日本型経営入門)		
Lecturer	Kunio Ikari	Faculty	Economics
Credit	2	Timetable	Semester: Second semester Day of the Week: Friday Period: 3
Lecturer's Office	Economics BIdg., 4th Floor, Office No. 15, 097-554-7711, kunioik2@oita-u.ac.jp		
Aims	The purpose of this course is to learn basic knowledges on traditional and cultural uniqueness of Japanese corporations.		
Learning Outcomes	- Understanding historical and social background of Japanese corporations - Learning typical working styles and careers of Japanese employees - Appreciating current trends of globalizing Japanese business - Improving the strategic thinking and planning skills through making presentations		
Content	1. Introduction 2. Positioning Japan for the twenty-first century 3. The challenge to Japan's economy in an evolving world 4. Challenges facing Japan's science and technology 5. Guest Speech # 1 "Entrepreneurship in Japan" 6. Cool Japan strategy and issues 7. Guest Speech # 2 "Career of international persons in Japan" 8. [Exercise] How to train Oita University students to be more globalized? 9. Guest Speech # 3 "The global talents in Japan" 10. [Case study] Global corporations in Japan 11. Global strategy of a local company at Oita 12. Preparation for final presentation 13. Rehearsal for final presentation 14. Final presentation (Specific modes of teaching to enhance students' learning) This course requires two kind of personal presentation: (1) Short presentation (two times per students, (2) Final presentation toward a local corporation in Oita		
Recommendation for Private Study	Prepare for a class: reading specified chapters in a textbook and collecting information about Japanese corporations from newspapers, magazines, TV programs and web site.		
Textbooks	Mouer, Ross. (Eds.). (2015). *Globalizing Japan: Striving to Engage the World*, Australia: Transpacific press.		
References	Abegglen, J. C., & Stalk, G. (1985). *Kaisha Japanese Corporation*. Basic Books. Jacoby, S. M. (2007). *The Embedded Corporation: Corporate Governance and Employment Relations in Japan and the United States*. Princeton University Press.		
Assessment Criteria	Participation: 20%, Short presentation: 20%, Case presentation: 60%		
Supplementary Information	All students have to attend over 70 % of this course.		

Course Title	Contrastive Analysis of Semantic Structures in English and Japanese within the framework of Cognitive Linguistics		
Lecturer	HASHIMOTO, Mikio	Faculty	Education and Welfare Science
Credit	2	Timetable	Semester: Fall Day of the Week: Thursday Period: 4
Lecturer's Office	5th fl. Education and Welfare Science Building B 097-554-7578 mikioha@oita-u.ac.jp		
Aims	This course provides an integrated introduction to Cognitive Linguistics. One of the main goals is to help you understand an overview of the theoretical model in relation to language learning.		
Learning Outcomes	You will understand the interconnectedness between language, cognition, culture and society while you study Cognitive Linguistics.		
Content	1 2 Overview of the course, what is Cognitive Linguistics? 3 4 Perspectives 5 6 Tense 7 8 Grammatical Aspects 9 10 Lexical Aspects 11 12 Comparison Japanese lexical aspects with English ones 12 English Passives 13 Japanese Passives 14 Causatives 15 Summary (Specific modes of teaching to enhance students' learning) You will discuss relevant topics in groups of two or more to deepen your knowledge or understanding of them.		
Recommendation for Private Study			
Textbooks	Handouts to be provided in class		
References			
Assessment Criteria	Weekly assignment 40% Essay 60%		
Supplementary Information			